機能操作ガイド

■ リモコンのボタンと主な機能

■ テレビを見る
- テレビを操作する
- 便利な機能を使う

■ 録画機器を使う
- 録画機器の準備をする
- 録画・予約をする
- 再生する

■ 接続機器を使う
- 外部接続機器を使う
- 動画 / 音楽 / 写真を再生する

■ インターネットを楽しむ
- インターネットに接続するための設定をする
- クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ

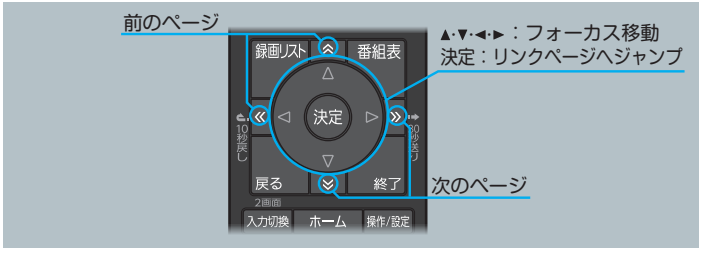
■ 設定・調整をする
- 映像を調整する
- 音声を調整する
- その他の設定をする
- 設定メニュー 一覧

■ さまざまな情報

■ 困ったときには

操作方法

1. 左記の目次から確認したい項目を選択する。
2. 下記の操作で閲覧する。



スマートフォン・タブレットを使うと
テレビを操作しながらご覧いただけます。

https://cs.regza.com/mnul/search_category_list2.php?ec1=15

※ 記載しているイラストは X990S のものです。
イラストや画面表示はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

機種名を表すマークについて

操作ガイド中では、機種特有の機能については、以下のマークで表します。

X990S :X990S　X770S :X770S　ZX1S/ZX2S :ZX1S/ZX2S
ZX3S :ZX3S　Z990S :Z990S　Z890S :Z890S
Z770S :Z770S/E770S

⇦トップにもどる

リモコンのボタンと主な機能

● 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです
（ボタンによっては通常の操作と異なる使い方をすることがあります）。

X990S Z990S Z890S

X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S

電源		電源を入れる/待機にする
My.Choice		あらかじめ登録しておいた機能に切り換える
画面表示		番組名やチャンネル名、放送時間などを見る
ネット動画ボタン		動画配信サービスやアプリの画面に切り換える
地デジ、BS/CS、4K		放送の種類を切り換える
1 ～ 12（数字ボタン）		チャンネルを選ぶ
チャンネル∧ ／ ∨		チャンネルを順番に選ぶ
消音		音を消す
番組ガイド		番組ガイドを表示する
シーンリスト 出演者		シーンや出演者のリストを表示する
音量 ＋ ／ －		音量を調節する
始めにジャンプ	X990S Z990S Z890S	再生番組の始めにジャンプする
●録画	X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S	録画を開始する
過去番組表	X990S Z990S Z890S	タイムシフトマシン録画の過去番組表を表示する
タイムシフトリンク	X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S	タイムシフトリンクメニューを表示する
ざんまい		ざんまいスマートアクセス画面を表示する
録画リスト		録画リストを表示する
番組表		番組表を表示する
▲・▼・◀・▶（矢印ボタン）		フォーカスを移動する

⇦トップにもどる

X990S　Z990S　Z890S

X770S　ZX1S/ZX2S　ZX3S　Z770S

≪・≫ ≪(10秒戻し) ≫(30秒送り)		番組表などでページを切り換える ワンタッチリプレイ(10秒戻す) ワンタッチスキップ(30秒飛ばす)
決定		選択した項目を決定する
戻る		一つ前の画面に戻る
終了		操作を終了する
入力切換(2画面)		外部入力機器やメディアプレーヤー画面、2画面表示に切り換える
ホーム		ホーム画面を表示する
操作/設定		操作/設定メニューを表示する
青、赤、緑、黄(カラーボタン)		多様な用途があります
dデータ		データ放送を見る
ボイス		ボイス機能を使う
音声切換		音声を切り換える
▶/再生		再生、早見早聞再生をする
◀◀、▶▶		早送り、早戻しをする
⏮、⏭		チャプタースキップをする
■、❚❚(静止)		録画や再生を停止させる 再生を一時停止させる 放送画面を静止させる

⇦トップにもどる

テレビを見る　— テレビを操作する —

■ テレビ番組を操作する

リモコンで番組を選ぶ
音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる
本体ボタンによる操作について
操作ガイドについて
操作メニューについて

■ 番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る
番組説明を見る

■ 番組表で番組を探す

番組表を使う
番組表を便利に使う

■ 条件を絞りこんで番組を探す

■ データ放送やラジオ放送を楽しむ

連動データ放送を楽しむ
独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

■ まるごとチャンネルで見る

まるごとチャンネルを使う
まるごとチャンネルの表示を設定する
まるごとチャンネルで番組説明を見る
まるごとチャンネル中にできるリモコン操作

⇦トップにもどる

テレビ番組を操作する

● 本体ボタンによるテレビ番組の操作方法については、「本体ボタンによる操作について」≫をご覧ください。

リモコンで番組を選ぶ

1 放送切換ボタン(【地デジ】、【BS/CS】、【4K】)で放送の種類を選ぶ

● 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。
● 【BS/CS】をくり返し押すと、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送を交互に切り換えることができます。

2 チャンネルを選ぶ(選局する)

● 以下の3とおりの選局方法があります。

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

● ワンタッチ選局ボタン(数字ボタン)で選局します(「お知らせ」をご覧ください)。

チャンネル∧/∨ボタンで選局する(順次選局)

● チャンネル∧/∨ボタンでチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

● チャンネル番号は番組表で確認できます。

❶ 【操作/設定】を押し、「さらに表示」を押して「チャンネル番号入力」を選ぶ

- チャンネル番号入力表示の上部に放送の種類が並んで表示されます。
  ◀·▶で放送を切り換えられます。

⇦トップにもどる

❷ 数字ボタン【1】～【10】でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇨【1】、【10】、【3】の順に押します（「0」は【10】で入力）。

- ◀·▶で放送を切り換えられます。

❸ 【決定】を押すと選択したチャンネルに切り換わります

- 地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときは、複数のチャンネルが表示されます。
  ▲·▼で選んでから【決定】を押して選びます。

お知らせ

- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表で確認することができます。
- 数字ボタンでワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです（「チャンネルをお好みに手動で設定する」≫で変更できます）。
  - 地上デジタル放送→「はじめての設定」で各ボタンに登録されたチャンネル。
  - BSデジタル放送、BS·110度CS 4K放送→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
  - 110度CSデジタル放送→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル（「1」と「2」だけ）。
  - 一つの放送局が複数のチャンネルで番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押すことでチャンネルを順番に選局できます。
    ≫「チャンネルをお好みに手動で設定する」
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは「番組の視聴を制限する」≫をご覧ください。

⇦トップにもどる

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

❶ リモコンの【音量 +】/【音量 −】を押す

音を一時的に消す

❶ リモコンの【消音】を押す

● 画面右下に音声バーが表示され、消音のアイコンが表示されます。もう一度【消音】を押すと音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

❶ 【操作/設定】を押し、「さらに表示」を押して「字幕」を選ぶ

❷ ▲·▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選ぶ

※ 放送によっては、「字幕オン」ではなく「日本語字幕」「英語字幕」などが表示されることがあります。

⇦トップにもどる

本体ボタンによる操作について

● 電源が「入」のときに本体ボタンを押すと本体ボタンメニューが表示され、本体ボタンで「電源」「音量」「チャンネル」「放送切換」「入力切換」「リモコンコード切換」の操作ができます。

1 本体ボタンを押す

● 本体ボタンメニューが表示されます。

2 本体ボタンを押して機能を選ぶ

● メニュー表示中にボタンを押すとフォーカスが左から右へ移動します。
● ボタンを長押しするとフォーカスされている機能の画面が開きます。

- **電源**..... 電源を「待機」にします。
- **音量ー、音量＋**..... 音量を調節します。
- **チャンネルー、チャンネル＋**... チャンネルを切り換えます。
- **放送切換**..... 放送の種類を切り換えます。
- **入力切換**..... 外部入力に切り換えます。
- **リモコンコード切換**..... 本機が受け付けるリモコンコードを切り換えます。

3 画面に従い本体ボタンを操作する

● メニューを抜けるときはしばらく放置します。

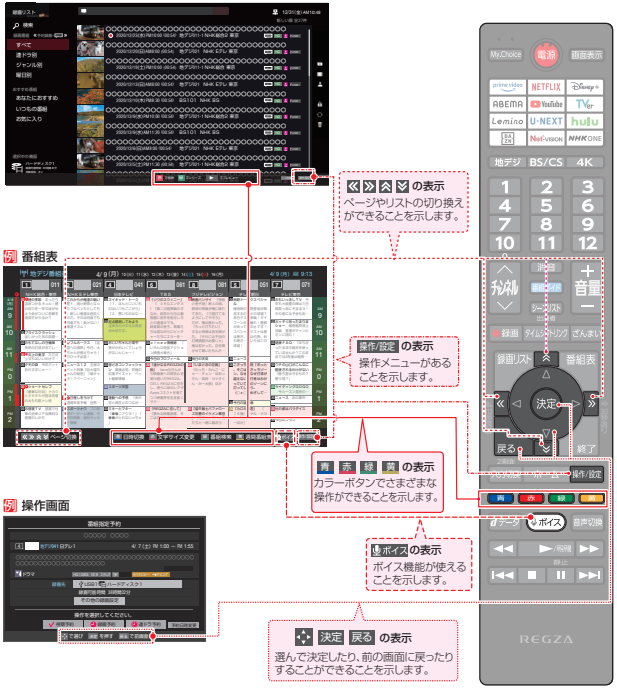
お知らせ

● 本機の状態により、一部の機能が動作しないことがあります。
● ソフトウェアの更新中は本体ボタンは動作しません。

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(【青】、【赤】、【緑】、【黄】)や【操作/設定】に割り当てられています。

例 録画リスト



⇦トップにもどる

操作メニューについて

- 【操作/設定】を押して操作メニューを表示すると、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 操作メニューは、「設定」と「操作」、「クイック設定」の3種類があります。

例

※ 状態によって、「設定」と「操作」、「設定」と「クイック設定」など、表示内容が変わります。

設定

- 設定メニューを表示します。

操作

- 動作している状態によって操作項目が変わります。

※ 視聴状態によって、操作項目が表示されない場合があります。

- 操作項目の数によっては、「さらに表示」が表示され、項目すべてが表示されていない場合があります。
  「さらに表示」を選ぶと表示されていなかった項目が表示され、「さらに表示」は「表示を隠す」に変わります。
  「表示を隠す」を選ぶと「表示を隠す」より後ろの項目が非表示になり、「表示を隠す」は、「さらに表示」に変わります。
  ※ 操作メニューにクイック設定がない状態（設定と操作のみ）や「操作」の項目が少ない場合は、「さらに表示」、「表示を隠す」は表示されません。

クイック設定

- よく使う設定項目を選択し、呼び出すことができます。クイック設定は表示する項目を編集できます。

※ 選択できない項目は、薄くなって表示されます。

⇦トップにもどる

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

画面サイズセレクト	放送を表示するサイズを変更できます。
録画	録画ができます。
まるごとｃｈ	まるごとチャンネル画面を表示します（X990S Z990S Z890S）。
連ドラ予約	連ドラ予約画面を表示します。
予約リスト	予約リストを表示します。
番組説明	視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。
字幕	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。
画面サイズ切換	見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局します。
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。
音声信号切換	一つの番組で複数の音声が送られている場合に切り換えられます。
音多切換	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。
降雨対応放送切換	豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。
ﾀｲﾑｼﾌﾄﾏｼﾝ録画の一時停止	タイムシフトマシン録画を一時停止させたり、再開させたりすることができます（X990S Z990S Z890S）※。
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。
データ放送終了	データ放送の視聴を終了します。
ﾃﾚﾋﾞ/ﾗｼﾞｵ/ﾃﾞｰﾀ切換	視聴する放送メディアを切り換えます。
本機の情報	本機のソフトウェアバージョンを確認します。

※ タイムシフトマシン録画の停止中は、「タイムシフトマシン録画の再開」になります。

例 番組表を表示中

番組説明	番組の詳しい情報を確認できます。
予約リスト	予約リストを表示します。
番組検索	番組を検索します。
1チャンネル表示/マルチ表示	BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビ放送だけ)では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。
連ドラ予約	連ドラ予約画面を表示します。
番組情報の取得	番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新することができます。
表示ﾁｬﾝﾈﾙ数	番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。
ﾁｬﾝﾈﾙ並び順	番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。
番組概要表示	番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。
ジャンル色分け	番組のジャンル(分野)別に色分けする設定ができます。
番組記号一覧	番組記号の説明を見ることができます。
視聴制限一時解除	番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。
ﾃﾚﾋﾞ/ﾗｼﾞｵ/ﾃﾞｰﾀ切換	独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えることができます。
文字サイズ変更	番組表の文字のサイズを変更します。

クイック設定

映像設定	映像設定を表示します。≫「お好みの映像に調整する」
映像メニュー	映像メニューを選択できます≫「お好みの映像メニューを選ぶ」
画面の明るさ	画面の明るさを調整できます。≫「画面の明るさ」
音声設定	音声設定を表示します。≫「お好みの音声に調整する」
音声メニュー	音声メニューを選択できます。≫「お好みの音声メニューを選ぶ」
ＡＩボイスフィルター	人の声とその他の音を分離し、人の声を小さくしたり、人の声以外を小さくしたりする機能です。≫「人の声と背景音のバランスを調整する」
スピーカー出力切換	テレビスピーカーで聴くかオーディオシステムで聴くか選べます。≫「オーディオ機器のスピーカーで聴く」
親切ヘッドホン音量	ヘッドホンの音量を調節します。≫「ヘッドホンで聴く」
レグザサウンドシステム設定	テレビから接続機器に対して設定ができます。≫「レグザサウンドシステム設定」
消画	画面を一時的に消します。≫「映像を一時的に消す」
スリープタイマー	スリープタイマーの設定ができます。≫「自動で電源が切れるようにする」
オフタイマー	オフタイマーの設定ができます。≫「指定した時刻に電源が切れるようにする」
オンタイマー	オンタイマーの設定ができます。≫「指定した時刻に電源が入るようにする」
時計	時計の表示/非表示を切り換えます。≫「時計を表示する」
Bluetooth設定	Bluetooth®の設定やペアリング済のBluetooth®機器が選べます。≫「Bluetooth®設定をする」
ネットワーク接続設定	ネットワークの設定ができます。≫「インターネットに接続するための設定をする」
サーバー機能設定	ホームサーバー機能の設定ができます。≫「ホームサーバー機能の設定をする」
機能操作ガイド	機能操作ガイドを表示できます。
節電モード	節電モードを選べます。≫「省エネ設定をする」
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。≫「お知らせを見る」
編集	クイック設定の設定項目を表示する、表示しないを編集できます。

⇦トップにもどる

クイック設定で表示する項目を編集する

● クイック設定で表示される項目を編集できます。

1 操作メニューでクイック設定の「編集」を選ぶ

● クイック設定画面が編集モードに切り換わり、項目の表示の上にチェックボックスが表示されます。

2 以下の手順でクイック設定に表示したい項目を追加する

表示する項目を設定する

❶ **表示したい項目を選択し、【決定】を押す**

● 【決定】を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。
● チェックを付けた項目がクイック設定画面に表示されます。

項目を並べ替える

❶ **移動させる項目を選び、▲を押す**

● 選択している項目が上にずれて、並び替えモードになります。

❷ **◀·▶を押して項目の位置を入れ替える**

❸ **変更が終了したら、▼を押す**

● 並べ替えが終了して、編集モードに戻ります。

3 変更が終了したら、【終了】または【戻る】を押す

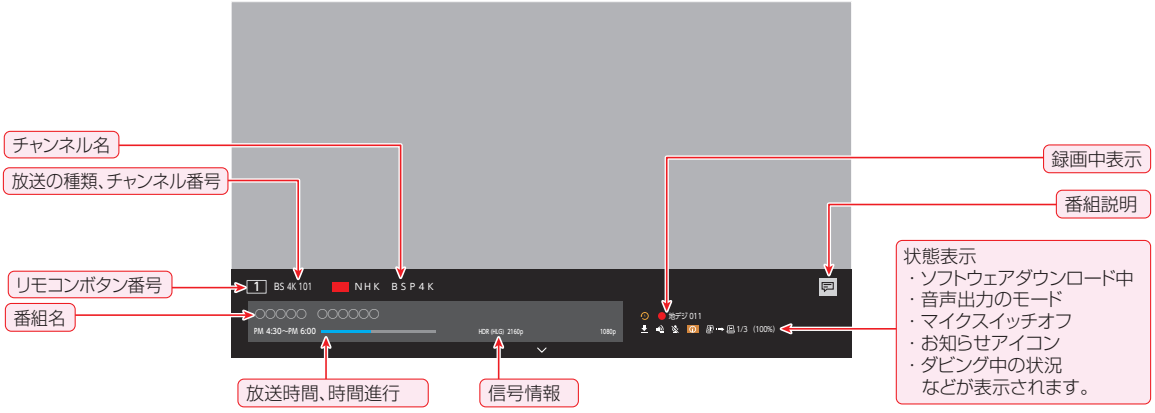
● 編集モードが終了します。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 【画面表示】を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます（表示は数秒後に消えます）。
- 表示を消すには、もう一度【画面表示】を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



- 表示中に▼を押すと『放送中番組』リストが表示されます。◀･▶で番組を選び、【決定】を押すと番組を切り換えられます。

番組説明を見る

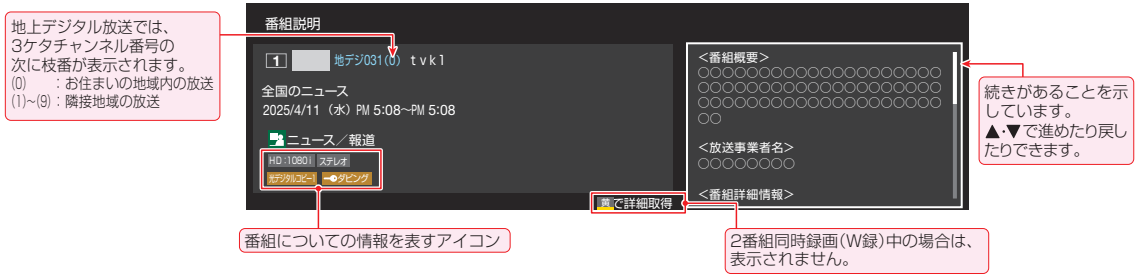
1 番組の視聴中、または番組表を表示中に【操作/設定】を押し、「番組説明」を選ぶ

- 番組情報に「番組説明」アイコンが表示されているときに、【決定】を押しても番組説明を表示できます。

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、【黄】を押します。
  - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
  - 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、【決定】を押す



お知らせ

- 画面に表示されるアイコン(ステレオ、HD:1080iなどの記号)についての説明は、「アイコン一覧」≫をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかることがあります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限されることがあります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

⇦トップにもどる

番組表で番組を探す

番組表を使う

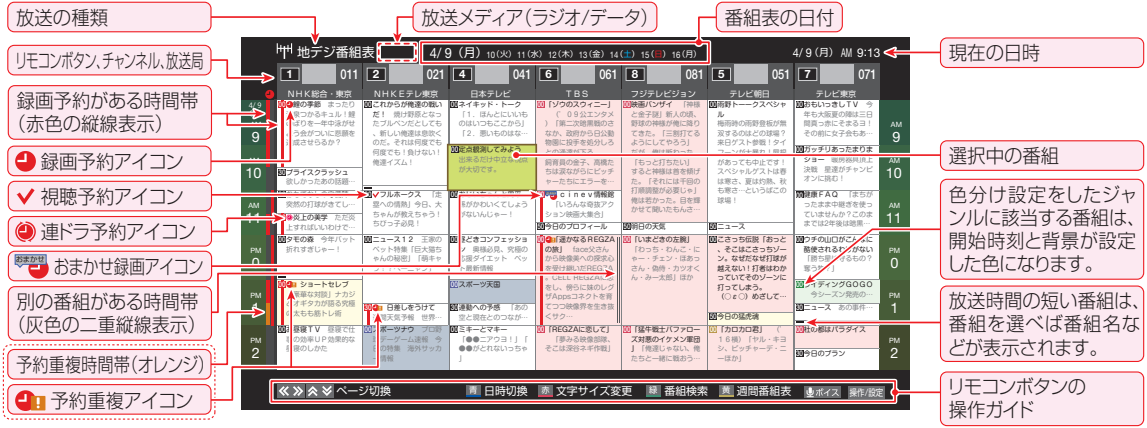
- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「待機」にすることをおすすめします。
- 視聴年齢制限されている番組は、伏せ字(「****」)で表示されます。

1 【番組表】を押す

- 通常番組表が表示されます(「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」≫をご覧ください)。
- 放送の種類を変えるときは、【地デジ】、【BS/CS】、【4K】を押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、操作メニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」で選びます。
- 番組表を消すときは、【終了】を押します。

2 番組を選ぶ

[通常番組表画面：7チャンネル表示の例]



⇦トップにもどる

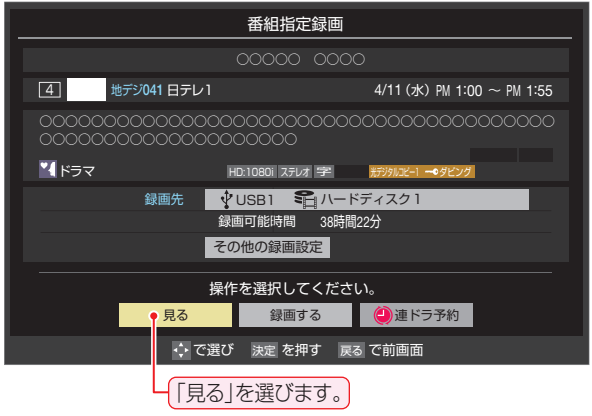
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには◀·▶または【≪】・【≫】を押します。

3 【決定】を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。「番組表で予約をする」≫の手順3をご覧ください。
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、【決定】を押し、数字ボタンで暗証番号を入力します。

4 現在放送中の番組を見るときは「見る」を選び、【決定】を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。
- 番組指定録画画面からは、録画、連ドラ予約の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、視聴予約、録画予約、連ドラ予約の設定ができます。



お知らせ

⇦トップにもどる

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」≫の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」≫で、スキップを「する」に設定したチャンネルは番組表に表示されません。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、操作メニューの「データ放送終了」でデータ放送を終了させてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 「放送メディア」は、操作メニューの「テレビ/ラジオ/データ切換」≫で「ラジオ」または「データ」を選んでいるときに表示されます。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「番組の視聴を制限する」≫をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」≫をご覧ください。

番組表を便利に使う

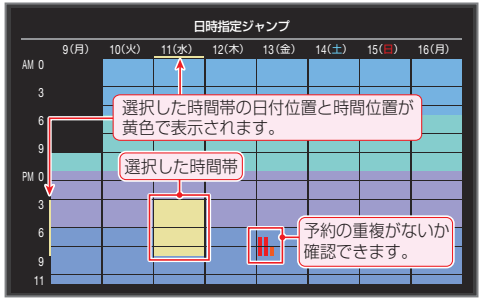
- カラーボタンや番組表の操作メニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表が表示されているときに以下の操作をします。

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 【青】(日時切換)を押す

2 日時を選び、【決定】を押す



⇦トップにもどる

週間番組表を表示させる

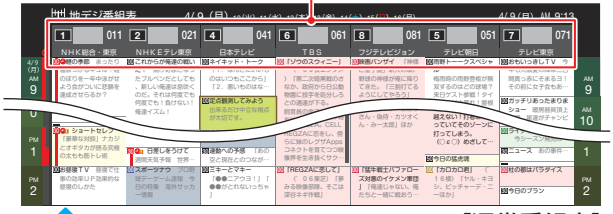
● 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

1 週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、【黄】(週間番組表)を押す

● 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。

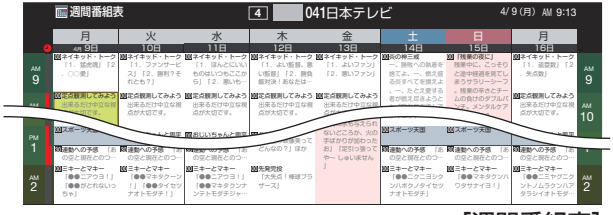
● 番組表の表示を週間番組表にしているときは、「マルチ表示」≫に切り換えることはできません。

一週間分の番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。



[通常番組表]

黄 を押すたびに切り換わります



[週間番組表]

番組説明を見る

● 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1 【操作/設定】を押し、「番組説明」を選ぶ

番組表を更新する

● 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 【操作/設定】を押し、「番組情報の取得」を選ぶ

番組情報の取得中に表示されます。

※ 番組情報の取得中は音声が出ないことがあります。
※ BS･110度CSの4K放送録画中は、BS･110度CS 4K放送の番組情報の取得ができません。
※ 2番組同時録画（W録）中は、番組情報の取得ができません。

● 番組表で選択している放送局の情報が更新されます（更新の範囲は、放送の運用により、一部例外や将来変更されることがあります）。
- BSデジタル放送は番組表全体が更新されます。
- 110度CSデジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
- 地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。
- BS･110度CSの4K放送は選択した番組が含まれるチャンネルが更新されます。

● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に【操作/設定】を押し、操作メニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

⇦トップにもどる

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

● BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビ放送だけ)では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、【操作/設定】を押す

2 「1チャンネル表示」(または「マルチ表示」)を選ぶ

● 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。

● 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

● 「マルチ表示」での番組予約については、
「マルチ表示の番組表で予約するとき」≫をご覧ください。

[1チャンネル表示]

[マルチ表示]

⇦トップにもどる

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 【赤】を押して文字の大きさを切り換える

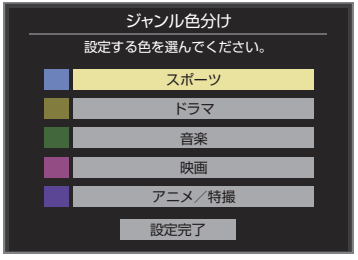
- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。
  文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

1 【操作/設定】を押し、「ジャンル色分け」を選ぶ

2 設定する色を選ぶ



⇦トップにもどる

3 ジャンルを選ぶ

- 【決定】を押すと手順**2**の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

4 設定が完了したら、「設定完了」を選ぶ

番組記号の説明を見る

- 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 【操作/設定】を押し、「番組記号一覧」を選ぶ

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、【決定】を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

- 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 【操作/設定】を押し、「表示チャンネル数」を選ぶ

2 表示させるチャンネル数を選ぶ

⇦トップにもどる

チャンネルの並び順を設定する

● 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 【操作/設定】を押し、「チャンネル並び順」を選ぶ

2 以下のどちらかを選ぶ

- **通常**
  放送局推奨の並び順になります。
- **チャンネルボタン優先**
  ワンタッチ選局ボタン【1】～【12】の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

● 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 【操作/設定】を押し、「番組概要表示」を選ぶ

2 「表示する」、「表示しない」のどちらかを選ぶ

⇦トップにもどる

番組表の放送メディアを切り換える

- 番組表に表示させる放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)を選びます。
- 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 【操作/設定】を押し、「テレビ/ラジオ/データ切換」を選ぶ

2 「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選ぶ

番組表で視聴制限を一時解除する

- 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 【操作/設定】を押し、「視聴制限一時解除」を選ぶ

- 暗証番号入力画面が表示されます。

※ 「放送視聴制限設定」を「20歳(制限しない)」に設定している場合は、「視聴制限一時解除」は表示されません。

※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合、暗証番号を設定していない場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

2 数字ボタン【1】～【10】で暗証番号を入力する

- 番組表の視聴制限が一時解除されます。

⇦トップにもどる

条件を絞りこんで番組を探す

● 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

お知らせ

● 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
● 「チャンネルスキップ設定」≫で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
● 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

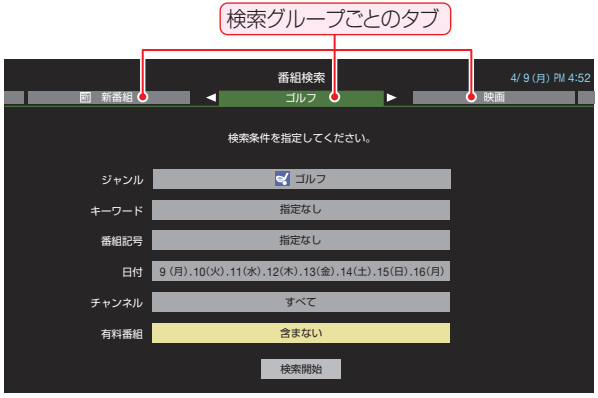
1 【番組表】を押して、番組表を表示させる

2 【緑】(番組検索)を押す

● 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを選ぶ

● 以降の手順で指定する検索条件のうち、「日付」以外は検索グループごとに記憶されます。



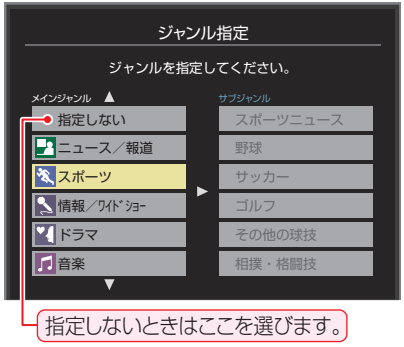
4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するとき

❶ 「ジャンル」を選ぶ

❷ 指定するジャンルを一つ選ぶ

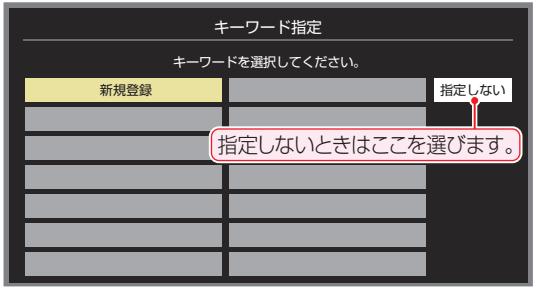


「キーワード」を指定するとき

❶ 「キーワード」を選ぶ

❷ 指定するキーワードを選ぶ

- お買い上げ時は登録されていません。



■ 新しいキーワードを登録する場合

① 「新規登録」を選ぶ

- 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して、【決定】を押す

- 文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。
- キーワードは14個まで登録できます。

■ キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを選び、【青】を押す

② キーワードを編集して、【決定】を押す

■ キーワードを削除する場合

① 削除するキーワードを選び、【赤】を押す

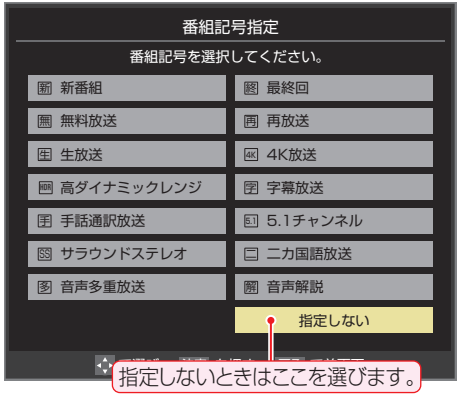
② 「はい」を選ぶ

⇦トップにもどる

「番組記号」を指定するとき

❶ 「番組記号」を選ぶ

❷ 指定する番組記号を選ぶ



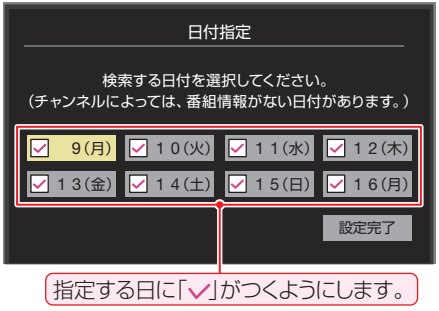
「日付」を指定するとき

❶ 「日付」を選ぶ

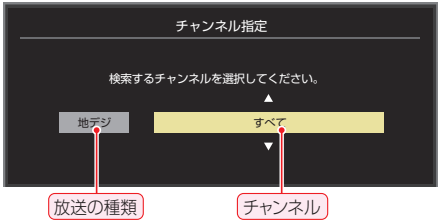
❷ 指定する日付を選ぶ

- 【決定】を押すたびに、☑(指定する)と□(指定しない)が交互に切り換わります。
- 7日先まで指定できます。

❸ 指定が終わったら、「設定完了」を選ぶ



「チャンネル」を指定するとき



❶ 「チャンネル」を選ぶ

❷ 指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**…… すべて／ BS ／ CS ／ BS/CS 4K ／地デジ
- **チャンネル**…… 指定した放送の種類のメディアがテレビのチャンネルの中で、選択した1チャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、【決定】を押す

「有料番組」を指定するとき

● 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。

❶ 「有料番組」を選ぶ

❷ 「含む」、「含まない」のどちらかを選ぶ

---

5 「検索開始」を選ぶ

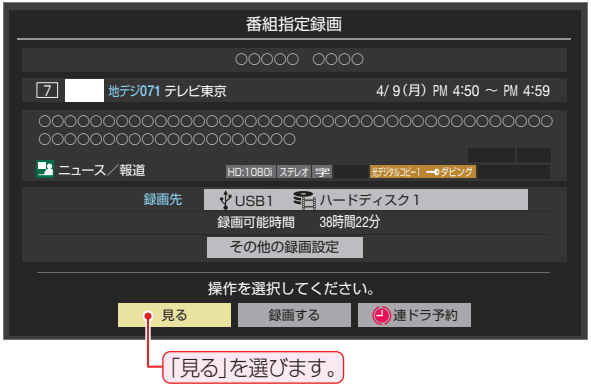
● 選択中のタブの検索グループに、手順*4* で指定した検索条件が上書きで保存されます。

---

6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を選ぶ

- 現在放送中の番組を選んだときは、「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。「番組表で予約をする」≫の手順3をご覧ください。
- すべての放送が表示されているときに、【地デジ】を押すと地デジ放送だけ、【4K】を押すとBS・110度CSの4K放送だけの検索結果になります。
- 【BS/CS】を押すたびにBS放送だけ、110度CS放送だけの検索結果に切り換わります。

7 「見る」を選ぶ



- 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます（本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません）。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

非リンク型サービス
放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。（文字表示は数秒で消えます）

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用されている場合は、本機で放送を聴くことができます。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 【dデータ】を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、【操作/設定】を押し、「データ放送終了」を選ぶ

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ

- BSデジタル放送の独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、【BS/CS】を押してBSデジタル放送に切り換えます。

2 【操作/設定】を押し、「テレビ/ラジオ/データ切換」を選ぶ

3 「データ」または「ラジオ」を選ぶ

- チャンネルボタンで他のチャンネルに切り換えられます。
  チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、【dデータ】は「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示されることがあります。
- データ放送は録画できません。

■ **双方向サービスについて**

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットを利用するための接続(製品同梱の取扱説明書)とインターネットを利用するための設定 ≫をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
- 無線LANをご使用の場合、セキュリティが「Open System」で通信データが暗号化されていないときは、利用できません。

まるごとチャンネルで見る

X990S Z990S Z890S

まるごとチャンネルを使う

X990S Z990S Z890S

● 主画面で放送や録画番組を楽しみながら、副画面では放送中の最大6チャンネル分の地上デジタル放送番組を、同時に表示することができます。
※ 副画面は約2コマ／秒の画像更新となります。
● 副画面で放送中の番組を選ぶと、そのチャンネルが選局され、主画面で楽しむことができます。

1 【操作/設定】を押し、「まるごとch」を選ぶ

● まるごとチャンネル画面が表示されます。

2 副画面から番組を選ぶ

3 【決定】または【始めにジャンプ】を押す

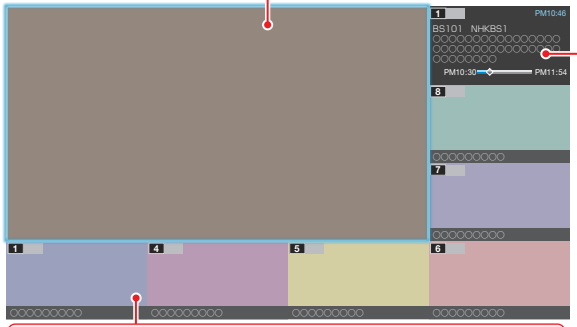
（【始めにジャンプ】はタイムシフトマシン録画中の場合のみ有効）

● 【決定】を押した場合
- 副画面で選択した番組が主画面に表示されます。
- 手順**2**で主画面を選択したときは、主画面の映像が全画面表示に切り換わります。

● 【始めにジャンプ】を押した場合
- 副画面で選択した番組がタイムシフトマシン録画中の場合、主画面にて頭出し再生されます。
- 手順**2**で主画面を選択したときは、主画面がタイムシフトマシン録画中または再生中の場合、頭出し再生されます。

例

主画面
地上デジタル／BS／CS／BS/CS 4K／外部入力／通常録画番組／タイムシフトマシン録画番組／タイムシフトリンク録画番組が表示されます。



情報表示エリア
主画面の情報が表示されます。

副画面
設定された地上デジタル放送の番組が最大6番組まで表示されます。放送中の番組画像が約2コマ／秒で更新されます。

4 【終了】を押す

- 主画面の番組が全画面に切り換わります。

お知らせ

- 録画番組のダビング中やタイムシフトマシン録画番組の保存中は、まるごとチャンネルは表示できません。
- タイムシフトマシン機能が「使用しない」に設定されている場合は、まるごとチャンネルは表示できません。
- 一部のケーブルテレビの自主放送などコンテンツ権利保護専用方式（RMP方式）を採用していない番組は、副画面に表示することができません。
- 公衆に視聴させることを目的として、飲食店、ホテルなどで、まるごとチャンネル画面表示をすると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

まるごとチャンネルの表示を設定する

X990S Z990S Z890S

- まるごとチャンネルに表示するチャンネルを変更したいときに設定します。
- 最大6つの地上デジタル放送のチャンネルを表示できます。
- タイムシフトマシン録画に設定しているチャンネルは、自動的にまるごとチャンネルに表示されます。
  タイムシフトマシン録画に6チャンネルを設定している場合は、まるごとチャンネルのチャンネルは変更できません。
- あらかじめタイムシフトマシン録画のチャンネルを設定しておくことをおすすめします。

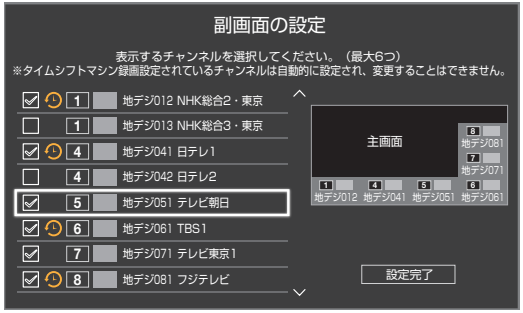
1 まるごとチャンネル画面の表示中に【操作/設定】を押し、「副画面の設定」を選ぶ

- チャンネル設定画面が表示されます。

2 表示するチャンネルを選ぶ

- 【決定】を押すたびに、☑(指定する)と□(指定しない)が交互に切り換わります。
- タイムシフトマシン録画に設定されているチャンネルは⏲が表示され自動で設定されます。タイムシフトマシン録画の設定については
「タイムシフトマシン録画の設定をする」≫をご覧ください。

3 「設定完了」を選ぶ



まるごとチャンネルで番組説明を見る

X990S Z990S Z890S

● 主画面または副画面で、選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1 まるごとチャンネル画面の表示中に【操作/設定】を押し、「番組説明」を選ぶ

● 番組説明が表示されます。

まるごとチャンネル中にできるリモコン操作

X990S Z990S Z890S

放送の種類やチャンネルを変える

● 主画面の放送の種類やチャンネルを変えることができます。詳しくは「リモコンで番組を選ぶ」≫をご覧ください。

主画面または副画面がタイムシフトマシン録画中のとき

● 番組の冒頭から見たり(≫「始めにジャンプ」)、少し戻って見たり(≫「ちょっとバック」)することができます。
● 主画面の番組を、頭出し再生、またはちょっとバック再生ができます。
● 副画面で選択した番組を、主画面にて頭出し再生ができます。

主画面がタイムシフトマシン再生中の番組のとき

● リモコン操作については、「タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作」≫をご覧ください。
● 【始めにジャンプ】を押して、番組の冒頭に戻ることもできます。

主画面が通常録画用USBハードディスクに録画した番組を再生中のとき

● リモコン操作については、「録画番組の再生中にできるリモコン操作」≫をご覧ください。
※ まるごとチャンネルでは、▲·▼のシーンリスト表示と 青 のシーン利用/チャプター利用切り換え機能は使用できません。
● 【始めにジャンプ】を押して、番組の冒頭に戻ることもできます。

テレビを見る　— 便利な機能を使う —

■ 便利な機能を使う

2 画面で楽しむ
画面サイズを切り換える
降雨対応放送について
他の映像・音声に切り換える
映像を静止させる
映像を一時的に消す
映像の詳細情報を表示させる
省エネ設定をする
人の動きを検出して設定を切り換える（センシング機能）
声を聴き取りやすくする
人の声と背景音のバランスを調整する
ヘッドホンで聴く
指定した時刻に電源が入るようにする
指定した時刻に電源が切れるようにする
自動で電源が切れるようにする
お知らせを見る

便利な機能を使う

2画面で楽しむ

● テレビ画面に2つの映像を映して楽しむことができます。

1 【入力切換】を押し、「2画面」を選ぶ

● 2画面表示になります。

2画面表示（例）

画面の大きさを変える

● ▲ を押すと、選択中の画面が段階的に大きくなります。もう一方の画面は縮小されます。

● ▼ を押すと、選択中の画面が段階的に小さくなります。もう一方の画面は拡大されます。

※ AirPlayのPortrait Mode（縦長の画面表示）で表示中は画面の大きさを変更できません。

画面を操作する

● 左画面を選択中に ◀ を押すと左画面の、右画面を選択中に▶ を押すと右画面の2画面メニューが表示されます。
2画面メニューのアイコンを選択して【決定】を押すことで、以下の操作ができます。

音声を切り換える

● 「🔊」で音声を出力する画面を切り換えることができます。【決定】を押すごとに交互に音声を出力している画面の左右が切り換わります。
※ 音声が出力されている画面の上には、「🔊」のアイコンが表示されます。

チャンネルや入力を切り換える

● 「⇄」でチャンネルや入力を切り換えることができます。
● 最近使用した2画面の組合せも選択が可能です。選択すると、左右の画面を一度に切り換えられます。
●左画面と右画面に映せる機能一覧は以下のとおりです。

左画面	右画面
放送、外部入力、YouTube、録画リスト、再生画面、ざんまい、番組ガイド	放送、動画配信サービス、AirPlay、スクリーンミラーリング

放送:地上デジタル／ BS ／ 110度CS ／ BS 4K
外部入力:HDMI 1 ～ 4
動画配信サービス:
YouTube/Prime Video/TVer/ABEMA/Disney+/DAZN/Lemino/U-NEXT/hulu/FIFA+/DMM TV/Rakuten TV/Net-VISION

⇦トップにもどる

※ 動画配信サービス、AirPlay、スクリーンミラーリングで4K映像は表示できません。
※ Dolby Visionの映像やDolby Atmosの音声は出力できません。
※ 右画面はBS4KやHDRの映像を表示できません。
※ データ放送はご利用いただけません。
※ 接続する機器によっては、映像や音声が正しく出力されない場合があります。
※ スクリーンミラーリングを表示中はネットワーク接続が必要な機能との同時表示ができません。
※ YouTubeは左右両画面での同時表示やHDRの映像を表示できません。
※ テレビの状態や環境によって、動作が遅くなったり、画面や音声が一時的に乱れることがあります。
※ ストリーミングサービス提供元の方針により、2画面表示でサービスがご利用いただけなくなる場合があります。

放送画面のチャンネルを切り換えるとき

●「リモコンで番組を選ぶ」≫の操作をします。

字幕を表示する

● 「⊟」で字幕の切換えができます。押すごとに字幕が切り換わります。
※ 音声が出力されている画面に字幕が表示されます。

2画面を終了する

● 「⊠」を選ぶと2画面を終了し、選択している画面の一画面表示に戻ります。
● 【終了】を押すと、音声が出力されている画面の一画面表示に戻ります。

画面内の操作をする

- YouTubeやAirPlayなど、画面内で操作をする場合には、画面を選択した状態で【決定】を押します。
  画面操作モードに切り換わり、選択した画面内での操作ができるようになります。
- 画面操作モードを終了するには、【終了】を押します。

※ 放送では画面操作モードに切り換わりません。

お知らせ

- W録中は右画面に放送を表示できません。
- 左画面と右画面では画質が異なります。
- 2画面中は、音声は2chにダウンミックスされて出力されます。
- AirPlayを表示して、AirPlayの音声を出力している状態で2画面を終了した場合、通常とは異なる画質で表示されます。
- スクリーンミラーリングを表示して、スクリーンミラーリングの音声を出力している状態で2画面を終了した場合、通常とは異なる画質で表示されます。
- 左画面が放送、再生画面、録画リスト、ざんまい、番組ガイド以外の際にワンタッチプレイの動作が制限されます。

HDMI入力の２画面時動作モード切換を設定する

● 2画面切換時にHDMIの動作モードを切り換えるための設定をします。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「外部入力・HDMI連動設定」⇨「外部入力設定」の順に進む

2 設定する外部入力を選ぶ

2 「２画面時動作モード切換」を選ぶ

3 設定を以下から選ぶ

- **する**……2画面でのHDMI接続機器の視聴にあわせた設定に切り換えます。設定が切り換わることで、HDMI接続機器の動作が継続できなくなる場合や、切換に時間がかかる場合があります。
- **しない**……2画面でのHDMI接続機器の視聴にあわせた設定に切り換えません。2画面時に対応していない信号が入力された場合、正しく視聴できない場合がありますが、HDMI接続機器の動作や信号が途切れることなくスムーズに2画面を起動･終了できます。

画面サイズを切り換える

● 視聴している映像の種類に応じて、画面の表示方法やサイズを切り換えることができます。

画面の表示方法を切り換える

1 【操作/設定】を押し、「画面サイズ切換」を選ぶ

2 「画面サイズ」を選び、お好みの画面サイズを選ぶ

● 画面の見えかたについては、「画面サイズについて」≫をご覧ください。

スキャンモードを切り換える

● 映像によっては、スキャンモードを切り換えることができます。必要に応じて以下の操作をします。

❶ **「スキャン切換」を選ぶ**

❷ **お好みのモードを選ぶ**

- **ジャストスキャン** …… 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
- **オーバースキャン** …… 16:9の映像を少し大きめに表示させます。

⇦トップにもどる

画面の表示サイズを切り換える

- テレビ画面中に表示する映像のサイズを指定して、表示することができます。
- テレビ放送とHDMI入力の映像を視聴しているときに、画面サイズを変更できます。

1 【操作/設定】を押し、「画面サイズセレクト」を選ぶ

2 ◀·▶で表示するサイズを選択する。

- 【決定】を押すと、調整方法をV型と%を切り換えることができます。
  - ※ %表示は30～95%、100%の調整ができます。
  - ※ V型表示は、テレビのサイズによって選べるサイズが異なります。
- ▲·▼で、表示位置を上下に変更できます。
- 【赤】を押すと、100%の表示サイズに戻ります。
- 調整中のスライダーの画面は一定の時間でミニ表示に変更になります。何かのキーを押下すると調整スライダーの画面に戻ります。

3 【戻る】または【終了】を押して設定を終了する

- テレビ放送とHDMI入力以外の画面に切り換えると、画面サイズは100%に戻ります。

※ 操作メニューなどの画面は縮小されません。
※ 画面サイズセレクト画面で動作中はデータ放送、ハイブリッドキャストは動作しません。
※ ゲーミングメニューの照準機能は使用できません。(照準表示が「オン」に設定されている場合も表示されません。)
※ まるごとch、2画面などアプリでは動作しません。

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送およびBS･110度CSの4K放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。

※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。

電波の受信状態が良くありません。
［操作メニュー］から「降雨対応放送」に切り換えられます。

コード：E201

1 【操作/設定】を押し、「降雨対応放送切換」を選ぶ

2 「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声に切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主:副を切り換えることができます。
- 番組説明画面に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 【音声切換】を押す

→ 主音声 → 副音声 → 主：副 →

- 【音声切換】を押すたびに右のように切り換わります。
- 【操作/設定】を押し、操作メニューの「音多切換」でも音声の切り換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 【音声切換】を押す

→ 音声1 → 音声2 → 音声3… →

- 【音声切換】を押すたびに右のように切り換わります。
- 【操作/設定】を押し、操作メニューの「音声信号切換」でも音声の切り換えができます。

映像、音声を切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像がある場合があり、お好みで選択することができます。
- 番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 【操作/設定】を押し、切り換える信号を選ぶ

- 視聴中の番組で切り換えのできない信号は、薄くなって表示されます。

2 視聴したい映像、音声を選ぶ

- 操作メニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、【音声切換】で選択する機能と同じです。

お知らせ

■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます（基本の信号を選択した状態になります）。
  ただし音多切換では、選局しても状態は取り消されません。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 【静止】を押す

- 解除するときは、もう一度【静止】を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 視聴中番組のデータ放送の状態によっては、静止画にできない場合があります。
- 外部入力の映像は静止画にできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として飲食店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

映像を一時的に消す

● 音声を出力したまま、画面の映像を表示しないように設定できます。

1 操作メニューで「消画」を選ぶ

● テレビの映像が消えます。画面が消えても音声は出力されます。
● 【音量 +】/【音量 −】、【消音】以外の操作を行うと、消画が解除されて映像が表示されます。

※ YouTubeを視聴中は、消画にできません。

映像の詳細情報を表示させる

- 【画面表示】を押したときに、視聴している映像の詳細な信号フォーマット情報が表示されるように設定することができます。
- お買い上げ時は表示されないように設定されています。表示させたい場合は、「オン」に設定してください。

例

信号情報

解像度	: 1920 × 1080 i
垂直周波数	: 60Hz
色深度	: 24bit
RGB／YUV	: YUV　4 : 2 : 0
映像フォーマット	: H.264/AVC
音声フォーマット	: AAC／ステレオ

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「信号フォーマット詳細表示設定」の順に進む**

2 **「オン」または「オフ」を選ぶ**

- **オン** …… 【画面表示】を押したときに信号フォーマットの詳細な情報が表示されます。
- **オフ** …… 信号フォーマットの詳細な情報は表示されません。

⇦トップにもどる

省エネ設定をする

● 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「省エネ設定」の順に進む

● 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を選ぶ

3 お好みの設定を選ぶ

● 以降の説明を参照し、設定してください。

節電モード

● 画面の明るさをおさえることで本機の節電ができます。
● 【操作/設定】を押し、操作メニューの「節電モード」でも変更ができます。
● 「節電1」、「節電2」に切り換えた場合、画面の明るさをおさえて、その明るさに適した画質に自動調整されます。

- **標準** ……標準の明るさです。
- **節電1** ……画面の明るさを「標準」よりもおさえて、節電します。
- **節電2** ……画面の明るさを「節電1」よりもおさえて、さらに節電します。

⇦トップにもどる

番組情報取得設定

● 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」で使用することをおすすめします。

- **取得する**
  電源が「待機」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
- **取得しない**
  番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

- **待機にする**
  本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**
  テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエアー無信号オフ

- **待機にする**
  放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**
  無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

※外部入力を選んでいるときは機能しません。

外部入力無信号オフ

- **待機にする**
  外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**
  無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

人の動きを検出して設定を切り換える(センシング機能)

X990S ZX1S/ZX2S Z990S

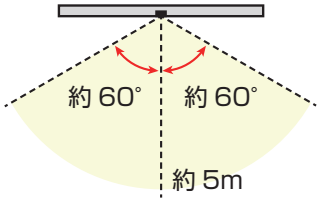
● **センシング機能について**

センシング機能は、人感センサー (ミリ波レーダー)を使用した機能です。
視聴者の位置を検出して、省エネモードや映像･音声などの調整をします。

※ テレビの電源起動後の数十秒間は、視聴者の位置を検出できない場合があります。

● **人感センサー (ミリ波レーダー)の検知範囲について**

本機に搭載しているミリ波レーダーの検出範囲は、おおむね下の図の範囲になります。



お知らせ

● 人感センサー（ミリ波レーダー)の周りに金属などの遮蔽物を置かないでください。
● ペットを検出する場合があります。
● 検知範囲内で動いているもの(扇風機やカーテンなど)を検知する場合があります。

⇦トップにもどる

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「センシング設定」の順に進む

● 「センシング設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を選ぶ

3 お好みの設定を選ぶ

● 以降の説明を参照し、設定してください。

⇦トップにもどる

センシング機能

● 視聴者の位置を検出する機能を使用するかを設定します。

- **使用する**
  センシング機能を使用します。
- **使用しない**
  センシング機能を使用しません。

センシング感度調整

● 検出範囲や、検出感度を設定します。

❶ 設定する項目を選ぶ

検出エリア設定

● 検出範囲のうち、検出対象から除外する範囲を設定します。カーテンや家具などの人以外のものを検出しているエリアを除外することで、より正確に人物の検出ができます。

(1) ▲·▼·◀·▶で除外する位置を選び、【決定】を押す

- 【決定】を押すごとに除外ポイントの設定/解除が切り替わります。
- 除外するポイントは、最大20箇所まで設定できます。

(2) 「設定完了」を選び、【決定】を押す

検出感度

● センサーの検出感度を設定します。

(1) 「強」「中」または「弱」から選ぶ

センシング映像調整

● 「映像メニュー」が「おまかせAI」や「あざやか」のときに、視聴距離の変化に応じて自動的に画質を調整する機能を設定します。

- **オート**
  テレビと視聴者との距離に応じて画質を調整します。
- **オフ**
  この機能を使用しません。

視聴距離明るさ調整

● テレビの前から人が離れているとき、画面の明るさを調整する機能です。

❶ 設定する項目を選ぶ

視聴距離明るさモード

● 「映像メニュー」が「おまかせAI」や「あざやか」のときに自動で明るさを切り換える機能です。

(1) **「オート」または「オフ」を選ぶ**

- **オート**……テレビと視聴者との距離に応じて自動で明るさが切り換わります。
- **オフ**……この機能を使用しません。

明るさ補正

● 視聴距離明るさ調整での明るさを調整します。

(1) **◀·▶で調整し、【決定】を押す**

● −15 ～ +15の範囲で明るさを調整します。

視聴距離設定

● 自動で明るさを切り換える視聴距離を設定します。

※ 設定した視聴距離以上離れると「明るさ補正」で設定されている明るさに調整されます。

(1) **「1.5m」「3m」「4m」または「5m」から選ぶ**

⇦トップにもどる

センシング音声調整

● 視聴位置の変化にあわせ自動で音質を調整する機能を設定します。

❶ 設定する項目を選ぶ

視聴距離補正

● 視聴距離にあわせて人の声を聴きやすく調整します。

(1) 「オート」または「オフ」を選ぶ

- **オート**……テレビと視聴者との距離にあわせて音量が調整されます。
- **オフ**……この機能を使用しません。

視聴距離補正レベル

● 視聴距離補正動作時の補正レベルを調整します。

(1) ◀·▶で調整し、【決定】を押す

● 1 ～ 10の範囲で補正レベルを調整します。大きくなるほど、補正の度合いが大きくなります。

視聴角度補正

● 視聴位置にあわせて音質を自動調整します。

(1) 「オート」または「オフ」を選ぶ

- **オート**……視聴者の位置にあわせて自動で音質が調整されます。
- **オフ**……この機能を使用しません。

スマートちょっとタイム設定

● テレビの前から人が離れたときにそのシーンを記憶したり、一時停止する機能の設定をします。

❶ 設定する項目を選ぶ

スマートちょっとタイム

● 現在録画(タイムマシン録画含)中の番組および録画番組の再生中に、テレビの前から人が離れたときのシーンを記憶し、人が戻ってきたときに記憶したシーンから再生する機能の設定をします。

(1) 「使用する」または「使用しない」を選ぶ

- **使用する**……離席を検出すると離席時シーンを記憶し、戻ってきたときに離席したシーンから再生できます。
  ≫「離席したシーンから番組を再生する(スマートちょっとタイム)」
- **使用しない**……この機能を使用しません。

離席時一時停止

● テレビの前から人がいなくなったときに一時停止する機能の設定をします。

(1) 「する(放送+録画番組)」「する(録画番組)」または「しない」を選ぶ

- **する(放送+録画番組)**……現在録画(タイムマシン録画含)中の番組および録画した番組の再生中に、視聴者が不在になると再生を一時停止します。
- **する(録画番組)**……録画番組の再生中に、視聴者が不在になると再生を一時停止します。
- **しない**……この機能を使用しません。

⇦トップにもどる

スマート省エネ

● テレビの前から人が離れたとき、省エネスクリーンセーバーを起動する機能の設定をします。
※センサーの検知外からテレビを見るときは、スマート省エネをオフにしてください。

- **オン**
  省エネスクリーンセーバーを使用します。
- **オフ**
  省エネスクリーンセーバーを使用しません。

※ 省エネスクリーンセーバーを起動後、テレビの前の人を検知したとき、またはテレビを操作したとき、省エネスクリーンセーバーを消去します。
※ 省エネスクリーンセーバーの状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
※ 本機の動作状態によっては、テレビの前から人が離れたときでも、省エネスクリーンセーバーが起動しない場合があります。

スクリーンセーバー起動までの時間

● 省エネスクリーンセーバー起動までの時間を設定します。

- **1分**
- **3分**
- **5分**
- **10分**

※ 時間はだいたいの目安です。設定した時間より1分程度遅れて省エネスクリーンセーバーが起動することがあります。

⇦トップにもどる

離席したシーンから番組を再生する(スマートちょっとタイム)

- 「スマートちょっとタイム」を「使用する」に設定すると、現在録画(タイムマシン録画含)中の番組および録画番組の再生中に、テレビの前から人が離れたときのシーンを記憶し、人が戻ってきたときに記憶したシーンから再生ができます。
- 離席時シーンが記憶されている状態で視聴者の増加を検出すると、画面の下部にメッセージが表示されます。

※ 出入りが5秒程度までの短い時間の場合は、視聴者の増減としてカウントしません。

1 メッセージが表示されている状態で【⌃】を押す

- 記憶されているシーンのリストが表示されます。
- シーンは最大3つまで記憶されます。

2 再生したいシーンを選ぶ

- 選択したシーンから再生が開始されます。

声を聴き取りやすくする

● 人の声を強調して背景の音を抑え、声を聴きやすくします。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「音声設定」⇨「音声メニュー」の順に進む

2 「クリア音声」を選ぶ

● 「クリア音声」にすると、人の声が強調されます。

お知らせ

● テレビを公衆に視聴させることを目的として飲食店、ホテルなどで「クリア音声」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

人の声と背景音のバランスを調整する

● 人の声と背景音のバランスを調整できます。

1 【操作/設定】を押し、操作メニューの「ＡＩボイスフィルター」を選ぶ

2 調整する項目を選ぶ

3 以降の手順で調整する

ＡＩボイスフィルター

❶ 【決定】を押してオン／オフを切り換える

- **オン**……人の声と背景音のバランスを調整できます。
- **オフ**……この機能は働きません。

❷ お好みの調整をする

ボイスレベル調整

● AIボイスフィルターのボイスレベルを調整します。
「−5」～「+5」の範囲で調整できます。大きくするほど人の声が大きくなります。

エフェクト調整（X990S ZX1S/ZX2S Z990S）

● 音声の広がり感を調整します。

- **ノーマル**……人の声を聞き取りやすくします。
- **ワイド**……音に広がり感を持たせます。

※ AIボイスフィルターが動作している場合は、音量操作や画面表示を行うと下記のようなアイコンが表示されます。

お知らせ

- 放送、録画番組やネット動画などでご利用できます。
  （コンテンツの音声によっては、効果がわかりにくい場合や適切な効果が反映されない場合があります。）
- 放送視聴から録画番組を再生したり、入力切換、アプリなどの表示をすると「AIボイスフィルター」は「オフ」になります。
- AIボイスフィルターが動作しているときは、チャンネル切換が遅くなります。
- AIボイスフィルターが動作しているときは、字幕より映像の方が遅く出力される場合があります。
- ヘッドホン端子、オーディオシステム、Bluetooth®機器で音声を出力しているときは、AIボイスフィルターは動作しません。
- AIボイスフィルターと、ダビングや保存や配信は同時に動作できません。
- 「AIボイスフィルター」が「オン」の場合、Dolby Atmosはオフになります。
- 映像メニューが「ゲーム」や「ピュアダイレクト」が「オン」の設定では動作できません。
- AirPlay、2画面など、一部のアプリでご利用できない場合があります。
- AIボイスフィルターが動作しているときは、「早見早聞」の操作はできません。
- AIボイスフィルターが動作しているときは、メディアプレーヤーで動画を視聴すると、映像・音声が乱れることがあります。
- メディアプレーヤーで動画を視聴すると、「AIボイスフィルター」を「オフ」に変更する場合があります。

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホンで聴くときの音のでかたを設定します。
- 親切ヘッドホン設定には「通常モード」と「親切モード」があります。
  お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「音声設定」⇨「音声詳細設定」⇨「親切ヘッドホン設定」の順に進む

2 お好みのモードを選ぶ

- **通常モード**
  ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。
- **親切モード**
  ヘッドホンとテレビスピーカーまたはヘッドホンとオーディオシステムの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、テレビスピーカーやオーディオシステムの音声が聞き取りにくい人が ヘッドホンまたはイヤホン、Bluetooth®ヘッドホンなどで聴くというような使いかたができます。

- 「親切モード」を選択しているとき、操作メニューの「親切ヘッドホン音量」からヘッドホンの音量を調整できます。

❶ 【操作/設定】を押し、操作メニューの「親切ヘッドホン音量」を選ぶ

- クイック設定に「親切ヘッドホン音量」が表示されない場合は、「クイック設定で表示する項目を編集する」で「親切ヘッドホン音量」を表示させてから選択します。

❷ 【音量＋】/【音量－】でヘッドホンの音量を調整する

※ テレビの音量を操作したい場合、「親切ヘッドホン音量」を終了した後に音量＋/音量－で調整してください。

⇦トップにもどる

音量アイコンについて

● 接続しているヘッドホンによって、親切ヘッドホン音量アイコンが変わります。

ヘッドホンプラグに接続	Bluetooth®ヘッドホンを接続	「親切モード」時のテレビスピーカー音量

お知らせ

■ 左右バランス機能について

● 「音声設定」の「音声詳細設定」の「左右バランス」は、「テレビスピーカー」と「ヘッドホン端子」のみ効果を反映します。
「オーディオシステム」、「Bluetooth機器」には、効果が反映されません。

指定した時刻に電源が入るようにする

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- 目覚まし時計として使うこともできます。

1 【操作/設定】を押し、操作メニューの「オンタイマー」を選ぶ

2 以下の手順で設定する

オンタイマー

- オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶ **「オンタイマー」を選ぶ**

❷ **「使用しない」、「1回」、「毎週」または「毎日」から選択する**

- オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の操作で「使用しない」を選びます。

曜日

- 「オンタイマー」で「毎週」を選択した場合に設定します。
- 曜日ごとに異なる設定ができます。

❶ **設定したい曜日を選び、【決定】を押す**

- 【決定】を押すたびに、○と✓が交互に切り換わります。
  オンタイマーを使用する曜日に✓をつけます。

❷ **時刻やチャンネルを変更する場合は、設定したい曜日の「＞」を選ぶ**

- 詳細設定が表示されます。

詳細設定

● 「オンタイマー」の動作の詳細を設定します。

❶ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で設定を変更する

時刻

●オンタイマーで電源が「入」になる時刻を設定します。

音量

●オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。

●【黄】を押すと、選んだ音量を聴くことができます。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

※【黄】を押してオンタイマーの音量を確認中は、設定音量値の上にスピーカーアイコンを表示します。

※オンタイマー設定時にBluetooth®、オーディオシステムから音声が出力されている場合は、【黄】を押すとスピーカーアイコンは表示しますが、音量は変わりません。

※オンタイマーで電源が「入」になったときにテレビスピーカー以外の音声出力(Bluetooth®、オーディオシステム、ヘッドホン)から音声が出力されている場合は、オンタイマーで設定した音量にはなりません。

信号

●オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映す信号を設定します。

・**信号の種類:**ラストチャンネル／地デジ／BS／CS／ BS/CS 4K ／ HDMI1 ～ 4

※ ラストチャンネルは、電源を待機にする前に見ていたチャンネルになります(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)。

※ 「地デジ」、「BS」、「CS」、「BS/CS 4K」を選択した場合は、放送のチャンネルを選択します。

❷ 設定が終わったら、【決定】を押す

⇦トップにもどる

お知らせ

■ 「オンタイマー」について

- オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。
- オンタイマーと番組予約が重なっていた場合には、ラストチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。
- オンタイマーを「1回」に設定し、指定した時刻に電源がはいっていた場合、オンタイマーは次の日に延期されます。
- 信号に「HDMI」を選択した場合、本機と同時に起動する機器があります。
- オンタイマーと視聴予約が重なっていた場合には、視聴予約が優先されます。

指定した時刻に電源が切れるようにする

- 設定した時刻に本機の電源が「待機」になります。

1 【操作/設定】を押し、操作メニューの「オフタイマー」を選ぶ

2 以下の手順で設定する

オフタイマー

- オフタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶ 「オフタイマー」を選ぶ

❷ 「使用しない」、「1回」、「毎週」または「毎日」から選択する

- オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、上記の操作で「使用しない」を選びます。

⇦トップにもどる

曜日

- 「オフタイマー」で「毎週」を選択した場合に設定します。
- 曜日ごとに異なる設定ができます。

❶ 設定したい曜日を選び、【決定】を押す

- 【決定】を押すたびに、○と✓が交互に切り換わります。
  オフタイマーを使用する曜日に✓をつけます。

❷ 時刻を変更する場合は、設定したい曜日の「＞」を選ぶ

- 詳細設定が表示されます。

詳細設定

- 「オフタイマー」の動作の詳細を設定します。

❶ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で時刻を変更する

❷ 設定が終わったら、【決定】を押す

お知らせ

■ 「オフタイマー」について

- オフタイマーの設定時刻を「1分後」に設定し、指定した場合、オフタイマーは次回に延期されます。
- オフタイマーを「1回」に設定し、指定した時刻に電源がはいっていなかった場合、オフタイマーは次の日に延期されます。
- オフタイマーと視聴予約が重なっていた場合には、視聴予約が優先され電源オフになりません。

自動で電源が切れるようにする

● スリープタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 【操作/設定】を押し、操作メニューの「スリープタイマー」を選ぶ

2 電源が切れるまでの時間を選ぶ

● 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
● スリープタイマーが設定されているときに【操作/設定】を押すと、「スリープタイマー」の項目に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
● スリープタイマーを設定したあとにスリープタイマーを解除する場合は、上記の操作で「使用しない」を選びます。

スリープタイマー
電源待機までの時間を選んでください。
使用しない
あと30分
あと60分
あと90分
あと120分

お知らせ

■ 「スリープタイマー」について
● 設定後に電源を「待機」にすると、設定が取り消されます。

時計を表示する

● 画面上の時計の表示/非表示を切り換えます。

1 【操作/設定】を押し、操作メニューの「時計」を選ぶ

2 「オン」または「オフ」を選ぶ

● 「オン」に設定すると、画面の右上に時計が表示されます。

お知らせを見る

- お知らせには、「本機に関するお知らせ」、「放送局からのお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
- 未読のお知らせ（「ボード」を除きます）があると、チャンネル切換時や【画面表示】を押したときに、画面に「お知らせアイコン」 が表示されます。

1 【操作/設定】を押し、「お知らせ」を選ぶ

2 お知らせの種類を選ぶ

- **本機に関するお知らせ**……本機が発行したお知らせです。
- **放送局からのお知らせ**……デジタル放送局からのお知らせです。
- **ボード**……110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 読みたいお知らせを選ぶ

- 選択したお知らせの内容が表示されます。

画面に「本機のお知らせを確認」が表示されたときは

❶ 【青】を押す

青 本機のお知らせを確認

- 「本機に関するお知らせ」が表示されます。
- お知らせが複数件ある場合は、「本機に関するお知らせ」一覧が表示されます。
  ▲·▼で確認するお知らせを選び、【決定】を押して表示させます。

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶ 「本機に関するお知らせ」の画面で「すべて削除する」を選び、【決定】を押す

❷ 「はい」を選ぶ

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

※「本機に関するお知らせ」の画面で【青】を押しても削除できます。

お知らせ

■「お知らせ」について

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が10通まで、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送が合わせて24通まで、BS 4K放送が10通まで、CS 4K放送が10通まで記憶されます。
  放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。
- 「お知らせアイコン」は、未読のお知らせが1件でも残っていると表示されます。

⇦トップにもどる

録画機器を使う ― 録画機器の準備をする ―

■ タイムシフトマシン録画の設定をする

手動でタイムシフトマシン設定をする
タイムシフトマシン機能を使う / 停止する
タイムシフトマシン録画機能を初期化する
タイムシフトリンクに関連する機能

■ 録画・予約機能について

録画できる機器と番組
接続・設定と録画前の準備

■ USB ハードディスクの設定をする

USB ハードディスクを本機に登録する
USB ハードディスクの設定をする

■ 録画の基本的な設定をする

録画に使用する機器を設定する
チャプター分割のしかたを設定する

■ レグザリンクダビングの接続・設定をする

レコーダーと本機を接続する
レコーダーと本機を設定する

タイムシフトマシン録画の設定をする

X990S Z990S Z890S

手動でタイムシフトマシン設定をする

X990S Z990S Z890S

- タイムシフトマシン録画で使用する機器や録画するチャンネル、録画する時間帯などを手動で設定できます。

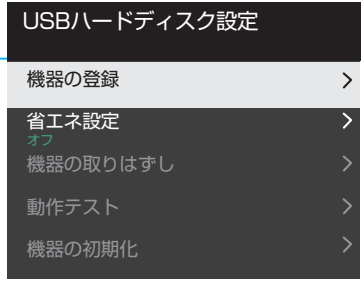
USBハードディスクの設定をする

X990S Z990S Z890S

● USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「USBハードディスク設定」の順に進む

2 設定する項目を選び、以降の手順で設定する



タイムシフトマシン録画用機器の登録

● 製品同梱取扱説明書の「かんたんタイムシフトマシン設定をする」の手順*1*で「いいえ」を選んだときなど、タイムシフトマシン録画用A端子、増設用B端子に接続したUSBハードディスクをあとから登録するときは以下の手順で操作します。

● 登録した機器を解除することもできます。

登録するとき

※ 登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

❶ タイムシフトマシン録画用機器の登録画面で、【決定】を押す

❷ 登録の確認画面で、「はい」を選ぶ

❸ 初期化の確認画面で、「はい」を選ぶ

- 初期化と登録の処理が始まります。

❹ 終わったら、登録結果の内容を確認し、【決定】を押す

⇦トップにもどる

登録を解除するとき

- 一度解除したUSBハードディスクを再度登録するときは、初期化され、保存されている録画番組はすべて消去されます。
- USBハードディスクの取りはずしの操作をする前に、「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトマシン録画」の設定を「しない」にしておきます。

❶ **タイムシフトマシン録画用機器の登録画面で、【赤】を押す**

❷ **「はい」を選ぶ**

機器の取りはずし

- USBハードディスクの取りはずしの操作をする前に、「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトマシン録画」の設定を「しない」にしておきます。
- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

❶ **取りはずす機器を選ぶ**

❷ **確認画面で、「はい」を選ぶ**

- 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。

❸ **USBハードディスクを取りはずし、【決定】を押す**

⇦トップにもどる

動作テスト

- 登録したUSBハードディスクで、3チャンネル録画と6チャンネル録画が可能かテストします。

※ 動作テストをすると、選んだUSBハードディスクは初期化されます。

❶ **確認画面で「はい」を選ぶ**

❷ **テストをしたいUSBハードディスクを選んで【決定】を押す**

- テストが始まります。終了までに数分間かかります。
- テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。

❸ **テスト結果の画面で【決定】を押す**

機器の初期化

- USBハードディスクの初期化をする前に、「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトマシン録画」の設定を「しない」にしておきます。
- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになる場合があります。

※ 初期化をすると、選んだUSBハードディスクに保存されている録画番組はすべて消去されます
（「タイムシフトマシン録画設定」の設定内容は消去されません）。

❶ **「はい」を選ぶ**

❷ **確認画面で、「はい」を選ぶ**

❸ **初期化終了の画面で【決定】を押す**

タイムシフトマシン録画用機器を省エネに設定する

X990S Z990S Z890S

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「USBハードディスク設定」⇨「省エネ設定」の順に進む

2 以下から選ぶ

- **オン**……タイムシフトマシンの機能が使われない状態が続くと、ハードディスクの電源が「待機」になります。過去番組表が表示されるまでに時間がかかるようになります。
- **オフ**……本機の電源が「入」のとき、ハードディスクの電源は常に「入」になります。

録画するチャンネルを設定する

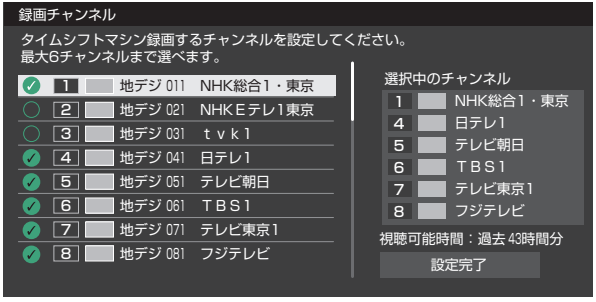
X990S Z990S Z890S

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「録画チャンネル」の順に進む

2 チャンネルを選ぶ

● 【決定】を押すたびに○と✓が交互に切り換わります。
録画するチャンネルに✓をつけます。

3 チャンネルの指定が終わったら、「設定完了」を選ぶ



4 メッセージが表示された場合は以下の操作をする

◆ **これ以上指定できません。**

- 録画チャンネル数を6以内にします。

◆ **チャンネルが指定されていません。**

- チャンネルを一つ以上指定します。

◆ **すべてのタイムシフトマシン録画番組が削除されます。**

- チャンネル数を変更した場合に、表示されます。
- 削除されてもよい場合は、「はい」を選びます。
- 「いいえ」を選ぶと手順**2**に戻ります。設定を中止する場合は【終了】を押します。

◆ **タイムシフトマシン録画を一時停止します。設定変更後にタイムシフトマシン録画は自動的に再開します。**

- 一時停止してもよい場合は、「はい」を選びます。
- 「いいえ」を選ぶと手順**2**に戻ります。設定を中止する場合は【終了】を押します。

---

5 「設定を変更しました」が表示されたら、【決定】を押す

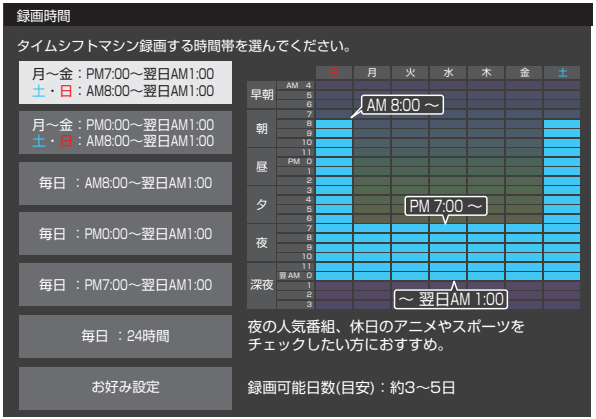
録画する時間を設定する

X990S Z990S Z890S

● タイムシフトマシン録画をする曜日と時間帯を設定することができます（チャンネルごとの設定はできません）。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「録画時間」の順に進む

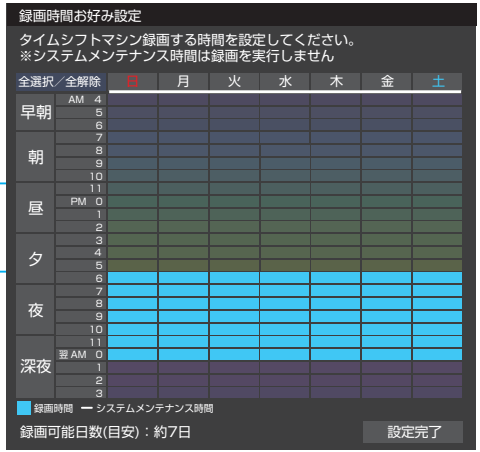
2 録画する時間帯を選ぶ



● ご希望の時間帯がないときは、「お好み設定」を選ぶとお好み設定画面が表示されます。以下の操作で設定します。

お好み設定

- お好み設定画面で以下の設定をします。



❶ 録画時間を選ぶ

- 【決定】を押すたびに設定と解除が交互に切り換わります。
- 「全選択」を選ぶと、全時間の設定ができます(全時間が設定されている場合は、「全解除」ができます)。
- 曜日や時間帯のボタンを選ぶと、その列や行すべての時間を設定/解除できます。

❷ 設定が終わったら、「設定完了」を選ぶ

- 【黄】を押しても同様の操作ができます。

❸ メッセージが表示された場合は以下の操作をする

- 録画時間が設定されていません。
  - 録画時間帯を一つ以上設定します。

タイムシフトマシン録画をする

X990S Z990S Z890S

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトマシン録画」の順に進む

2 「する」を選ぶ

- タイムシフトマシン録画を開始します。

システムをメンテナンスする

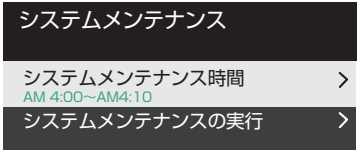
X990S Z990S Z890S

● システムメンテナンスをすることで、システム内のデータが整理され、効率的に動作するようになります。

毎日自動的に実行する

● 設定した時刻に毎日自動的にシステムメンテナンスが実行されます。
● システムメンテナンスの実行中はタイムシフトマシン録画が実行されません。

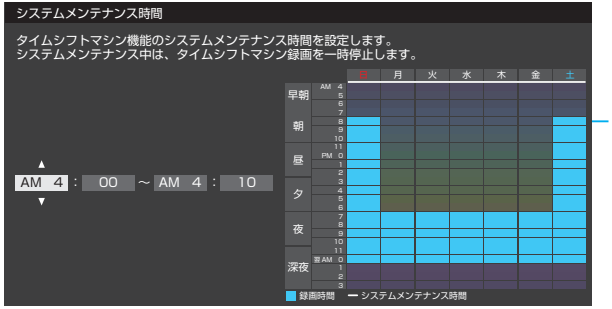
1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「システムメンテナンス」⇨「システムメンテナンス時間」の順に進む



2 ◀·▶で「時」、「分」の欄を選び、▲·▼で開始時刻を設定する

● 開始時刻は10分単位で設定できます。システムメンテナンスの所要時間は約10分間です。

3 設定が終わったら、【決定】を押す



手動で今すぐ実行する

※ 実行中のタイムシフトマシン録画は中止されます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「システムメンテナンス」⇨「システムメンテナンスの実行」の順に進む

2 「はい」を選ぶ

- 本機の電源がいったん切れてから「入」になり、システムメンテナンスが開始されます。
- システムメンテナンスが終了するまでの約10分間は操作できません。

タイムシフトマシン機能を使う/停止する

X990S Z990S Z890S

- タイムシフトマシン機能の使用/未使用を切り換えます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトマシン機能」の順に進む

2 「使用する」または「使用しない」を選ぶ

- 「使用しない」に設定すると、タイムシフトマシン機能が無効になり、タイムシフトマシンに関する設定ができなくなります。

タイムシフトマシン録画機能を初期化する

X990S Z990S Z890S

- タイムシフトマシン機能にエラーが発生するようなときに、初期化をすると改善される場合があります。
- 「タイムシフトマシン設定の初期化」は、タイムシフトマシン録画番組がすべて消去されます。また、「タイムシフトマシン録画設定」の設定内容も消去されますので、設定し直してください。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトマシン設定の初期化」の順に進む

- 「タイムシフトマシン録画」の設定を「しない」にしておきます。

2 初期化の確認画面で、「はい」を選ぶ

3 初期化が終了したら、【決定】を押す

タイムシフトリンクに関連する機能

X990S Z990S Z890S

- 「タイムシフトリンク機能」は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバ機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機の過去番組表に表示して、再生、操作ができる機能です。
  詳しくは、「タイムシフトリンク機能を使う」≫をご覧ください。
- 「タイムシフトリンク省エネ設定」は、タイムシフトリンク使用時の省エネの設定をします。
  詳しくは、「タイムシフトリンク省エネ設定をする」≫をご覧ください。

⇦トップにもどる

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

● 本機のUSB（通常録画）端子に接続した**USBハードディスク**および**レグザリンク対応の東芝レコーダー**に**デジタル放送番組**を録画できます（データ放送、ラジオ放送、外部入力（HDMI1 ～ 4入力）、クラウドサービスやネットワークサービスで視聴している動画配信サービスからの映像・音声は録画できません）。

- 接続については、製品同梱の取扱説明書記載「録画機器を接続する」の「USBハードディスクの接続をする」をご覧ください。

＊ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

- レグザリンク（HDMI連動）機能を使って本機の操作で録画・予約をします。
- 録画・予約の操作を終了した時点で本機の関与が終了します。予約内容の確認や取り消し、録画の中止などの操作は本機側ではできません（本機の番組表に予約アイコンが表示されないほか、予約リスト、録画リストなどにも内容は表示されません）。
- 録画されるのはレコーダー自身が受信したデジタル放送番組です。字幕放送番組の字幕などの録画については、機種や録画設定などによって異なりますので、レコーダーの取扱説明書でご確認ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク(注)	• USBハードディスクの電源を入れておきます。 • USBハードディスクの残量を確認します。≫「機器の情報を確認する」 • 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。≫「録画した番組を再生する」 ※ 残量不足や最大録画番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除します。≫「録画番組を消す」
レグザリンク対応の東芝レコーダー	• ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。 ※ 録画先はハードディスクだけです。記録メディアに直接録画することはできません。

⇦トップにもどる

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと 録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、製品同梱の取扱説明書記載「録画機器を接続する」の「USBハードディスクを本機に登録する」を参照し、登録してください。
- **USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ(https://www.regza.com/support)をご覧ください。**

※ USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「自動削除設定」≫が「有効」に設定されています。

ご注意

- **USBハードディスクについて**
  USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。
  本機に接続したUSBハードディスクを録画した内容の長期保存として使用しないでください。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

お知らせ

- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません(「録画番組を修復する」≫の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります)。
- 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクの設定をする

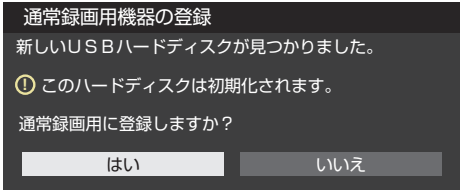
USBハードディスクを本機に登録する

● 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1 「はい」を選ぶ

● 登録しないときは「いいえ」を選びます。

※ 「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、機能操作ガイド「USBハードディスクの設定をする」に記載の「機器の登録」の操作をしてください。



2 初期化の確認画面で、「はい」を選ぶ

● 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

3 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、「はい」を選ぶ

● 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、今登録したUSBハードディスクになります。

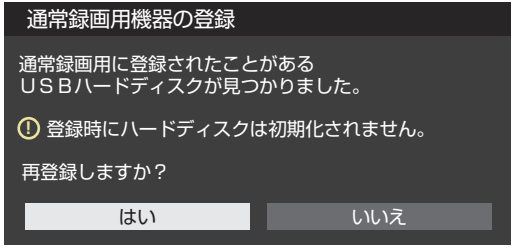
※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。

● 【決定】を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから【決定】を押します。

4 登録結果の内容を確認し、【終了】を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 本機に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選ぶと登録の処理が始まります。

※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

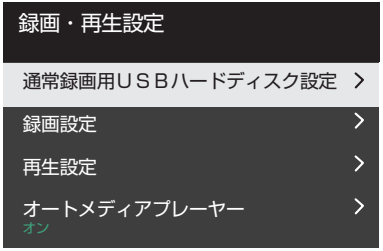
修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録(新しいハードディスク)として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

USBハードディスクの設定をする

● USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「録画・再生設定」⇨「通常録画用USBハードディスク設定」の順に進む

2 設定する項目を選び、以降の手順で設定する



機器の登録

● リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。

※ 登録できるのは8台までです。

※ USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

❶ 登録する機器を選ぶ

❷ 登録の確認画面で「はい」を選ぶ

❸ 初期化の確認画面で「はい」を選ぶ

- 初期化と登録の処理が始まります。

❹ 終わったら、登録結果の内容を確認し【決定】を押す

⇦トップにもどる

登録名を変更するとき

❶ **登録名を変更する機器を選ぶ**

❷ **「はい」を選ぶ**

❸ **文字入力画面で登録名を入力する**

- 文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。

登録を解除するとき

❶ **登録を解除する機器を選び、【赤】を押す**

❷ **「はい」を選ぶ**

● 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。

- **他の登録済USBハードディスクが接続されているとき**
  録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
- **他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき**
  再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

● 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。

※ 「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。

※ USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。

※ USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。

※ 本機の電源が「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

※ USBハブを使用している場合、本機の電源が「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

❶ 設定を以下から選ぶ

- **オン**……USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
- **オフ**……本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

● USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

❶ 取りはずす機器を選ぶ

❷ 確認画面で、「はい」を選ぶ

- 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。

❸ USBハードディスクを取りはずし、【決定】を押す

動作テスト

● USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。

❶ **テストする機器を選ぶ**

● テストが始まります。終了までに数分間かかります。

● テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。

- **録画**
  ハイビジョン画質で録画ができるか
- **録画中の再生**
  ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
- **録画中の早見早聞**
  録画中にハイビジョン番組の早見早聞ができるか、録画中に4K番組の再生ができるか

※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

機器の初期化

● 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

※ **初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。**

❶ **初期化する機器を選ぶ**

❷ **初期化の確認画面で、「はい」を選ぶ**

❸ **初期化終了の画面で【決定】を押す**

録画の基本的な設定をする

● USBハードディスクでの録画･再生に関する基本的な設定をすることができます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「録画・再生設定」⇨「録画設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

録画に使用する機器を設定する

● 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

❶ 「録画先機器の設定」を選ぶ

❷ 録画に使用する機器を選ぶ

チャプター分割のしかたを設定する

● シーンの変わり目でチャプター分割(章分け)されるように設定できます(チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります)。

❶ 「マジックチャプター設定」を選ぶ

❷ チャプター分割の場面を選ぶ

- **本編**……本編とCMの間でチャプター分割されます。
- **音楽**……楽曲の前後でチャプター分割されます。
- **本編と音楽**……上記の両条件でチャプター分割されます。
- **オフ**……チャプター分割をしません。

※ 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」のとき、またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

レグザリンクダビングの接続・設定をする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組をレグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーや、レコーダーにダビングすることができます。
- レグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーと本機を接続する場合は、「ホームネットワークの接続・設定をする」≫をご覧ください。

レコーダーと本機を接続する

- 接続にはLANケーブルを使用します（ストレートタイプ、クロスタイプのどちらも使用可能）。カテゴリ5（CAT5）と表示された規格以上のものをご使用ください。

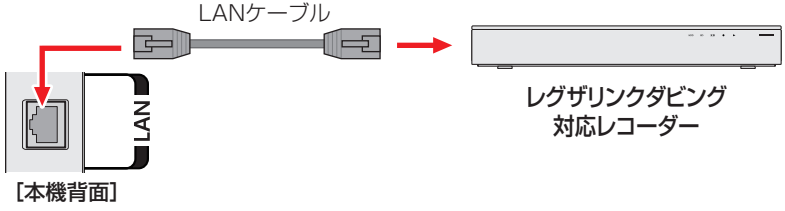
ルーターを経由して接続する場合

- ホームネットワークの接続やインターネットへの接続をしている場合は、「ホームネットワークの接続・設定をする」≫をご覧ください。本機とレグザリンクダビング対応のレコーダーのLAN端子をブロードバンドルーターのLAN端子に接続します。

※　無線LANで接続した場合は、通信が不安定になり、正常にダビングできないことがあります。

本機とレコーダーを直接接続する場合

- ホームネットワークやインターネットへの接続をしない場合や、他のネットワーク機器の通信による影響を受けないようにしたい場合は、本機とレコーダーのLAN端子を直接接続します。



レコーダーと本機を設定する

ルーターを経由して接続した場合

レコーダーの設定をする

● レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

項　目	設　定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、本体パスワード、グループ名、グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネットdeレック/サーバー設定またはレグザリンク連携機器設定	使う（フィルタ制限なし）
DHCP（自動取得）	使う
DNS（自動取得）	使う

● 「接続テスト」をして「OK」が表示されることを確認します（インターネットに接続されている場合だけ）。

本機の設定をする

● お買い上げ時の設定（IPアドレス設定、DNSアドレス（IPv4）ともに自動取得）にします。

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「ネットワーク情報」の順に進む**

● 表示される画面で「IPアドレス」と「DNSアドレス」が「自動取得」になっていることを確認します。

「手動設定」になっている場合

● 「アドレス設定（IPv4）」≫で「IPアドレス」と「DNSアドレス」を「自動取得」に設定します。

2 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「接続テスト」を選ぶ

- インターネットに接続していない場合は、本操作は必要ありません。
- インターネットに接続している場合は、「インターネットに接続できました。」が表示されることを確認します。

本機とレコーダーを直接接続した場合

レコーダーの設定をする

- レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

項　目	設　定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、本体パスワード、グループ名、グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネットdeレック/サーバー設定またはレグザリンク連携機器設定	使う（フィルタ制限なし）
DHCP（自動取得）	使わない
IPアドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS（自動取得）	使わない
DNSサーバー	192.168.1.1

本機の設定をする

● 「アドレス設定(IPv4)」≫で以下のように設定・登録します。

項　目	設　定
IPアドレス	手動設定
アドレス	192.168.1.20
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS	手動設定
プライマリアドレス	192.168.1.1

録画機器を使う ― 録画・予約をする ―

■ 番組を録画する
放送中の番組を録画する
録画を中止する
2 番組同時録画（W 録）について
■ 番組表で予約をする
メッセージが表示された場合
マルチ表示の番組表で予約するとき
■ 連続ドラマを予約する
■ 番組ガイドで番組を予約する
■ 日時を指定して予約をする／番組を検索して録画・予約をする
日時を指定して予約をする
番組を検索して録画・予約をする
■ 録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき
■ 予約の確認・変更・取り消しをする
■ おまかせ録画
おまかせ録画に必要な準備
おまかせ録画について
■ 予約・録画の優先順位と予約の動作について
予約・録画の優先順位について
予約の動作について

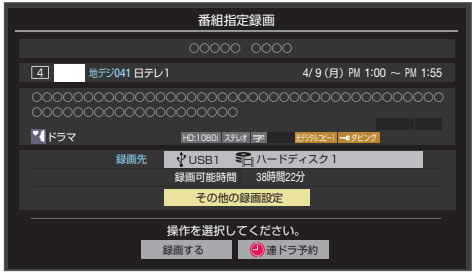
番組を録画する

放送中の番組を録画する

● 今放送中のテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。
※ USBハードディスクに2番組同時録画中(W録中)はこの操作はできません。

1 番組指定録画画面を表示する

● テレビ放送を見ているときに【操作/設定】を押し、「録画」を選ぶと、番組指定録画画面が表示されます。
【● 録画】を押しても同様の操作ができます(X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S)。
※ 録画できない番組の場合は、この操作はできません。
● 番組表で現在放送中の番組を選んで【決定】を押すと、番組指定録画画面が表示されます。



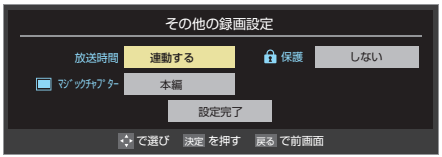
2 録画設定を変更する場合は、「その他の録画設定」を選ぶ

その他の録画設定でできる設定

● **放送時間連動機能の変更**
放送局から番組終了時刻変更の情報が送信されると、それに連動して番組終了時刻まで録画をする機能です。

❶ 「放送時間」を選び、「連動する」または「連動しない」を選択する

❷ 「設定完了」を選ぶ



3 「録画する」を選ぶ

- 録画が開始されます。
- 外出する場合は、本機(テレビ)の電源を「待機」にします(録画は継続されます)。

※ 2番組の同時予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

連ドラ予約の設定を変更する場合

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫をご覧ください。

録画を中止する

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USBハードディスクの残量がなくなった場合に、「自動削除」が「オフ」に設定されている場合は録画が自動的に停止します。

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの録画は本機の操作では止まりません。機器側で録画停止の操作をしてください。

❶ 録画中に【終了】または【停止】を押す

- 2番組同時録画(W録)をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止したい番組を選んで【決定】を押します。

❷ 「録画中止」の画面で「はい」を選ぶ

2番組同時録画(W録)について

- 本機は、デジタル放送の二つの番組を同時に録画することができます。
- BS･110度CSの4K放送の二つの番組を同時に録画することはできません。
- 一つの有料番組でW録はできません。
  - 一つの有料番組に複数の予約が重複した場合、録画されるのは一つだけです。
  - 録画中の有料番組を視聴中に録画の操作をしても録画(W録)は開始されません。

番組表で予約をする

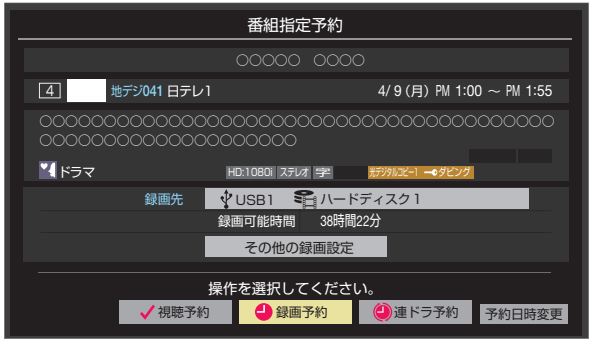
● 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

1 【番組表】を押して、番組表を表示させる

2 予約する番組を選ぶ

● 番組指定予約画面が表示されます。

3 以下の操作で予約をする



● 録画機器や設定を変更する場合は、
「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作をします。

❶ 「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選ぶ

- **視聴予約**：指定した番組の視聴を予約します。
- **録画予約**：指定した番組の録画を予約します。
- **連ドラ予約**：同じ番組を毎回録画します。≫「連続ドラマを予約する」

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、「**毎予約**」が表示されます。

❷ 「予約を設定しました。」が表示されたら、【決定】を押す

⇦トップにもどる

予約する日時を変更する場合

- 1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。

❶ **「予約日時変更」を選ぶ**

❷ **メッセージが表示されたら「はい」を選ぶ**

❸ **「日時を指定して予約をする」≫の手順3以降の操作をする**

視聴予約について

- 視聴予約の時刻に電源が「待機」の場合、電源が「入」になります。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは「番組の視聴を制限する」≫をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「番組表で視聴制限を一時解除する」≫をご覧ください。

⇦トップにもどる

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

❶ 「はい」を選ぶ

- 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約を取り消す番組を選ぶ

- 【決定】を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。
- ✓をつけた番組の予約が取り消されます。

❸ 【赤】を押して、取り消しを実行する

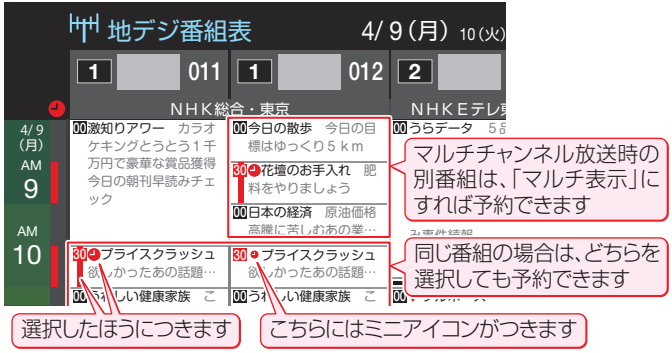
「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶ 【決定】を押す

❷ 「予約の確認・変更・取り消しをする」≫の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で複数の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」≫に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。



お知らせ

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。≫「番組表を使う」
  （東芝レコーダーへの予約は表示されません）
- 予約の確認や取り消しについては「予約の確認・変更・取り消しをする」≫を、予約の優先順位については「予約・録画の優先順位と予約の動作について」≫をご覧ください。
- 本機で「毎予約」で予約しても、機器によっては録画できないことがあります。

⇦トップにもどる

連続ドラマを予約する

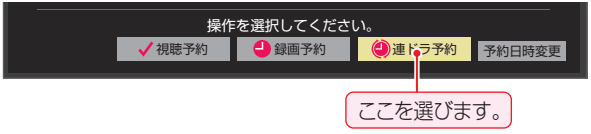
● 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。
※ 録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

1 【番組表】を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を選ぶ
● 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 録画先がレコーダーになっていたら、「録画先」を選び、番組の録画先をUSBハードディスクに設定する

4 「連ドラ予約」を選ぶ
● 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。
● 連ドラ予約画面が表示されます。



5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する
● 番組名（連ドラ）や「追跡キーワード」、「追跡基準の曜日」などが正しく表示されているか確認してください。
● 複数のハードディスクが登録されている場合は、必要に応じて「録画先」で番組を録画するハードディスクを選択します。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

● 「連ドラ予約」画面で「追跡キーワード」や「追跡基準」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 「はい」を選ぶ

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、【決定】を押す

再生中の録画番組を連ドラ予約する場合

❶ 【操作/設定】を押し、「連ドラ予約」を選ぶ

❷ 手順5～7の操作をする

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）を基に、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
  ※ 追跡基準（開始時刻）の前後約2時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

お知らせ

- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- 予約の確認や取り消しについては「予約の確認・変更・取り消しをする」≫を、予約の優先順位については「予約・録画の優先順位と予約の動作について」≫をご覧ください。

番組ガイドで番組を予約する

- 番組ガイドでは、クラウドサービスを利用して、放送予定の番組からおすすめの番組などを探して簡単に予約ができます。
  また、おまかせ録画の設定や重複している録画予約の確認ができます。
- 番組ガイドを使用するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

1 【番組ガイド】を押す

- 番組ガイドが表示されます。

2 ▲·▼でタブを切り換え、【決定】を押す

- 画面の右側には、タブで選択されている項目の未来番組が表示されます。

推し活リスト(お気に入り)

- お気に入りパックの未来番組などが表示されます。
- 「推しタレントを見つけて登録」「推しジャンルを見つけて登録」を選ぶと、お気に入りパックの追加や削除、並べ替えができます。

※ 「パック」については、ホームページ(https://www.regza.com/charm)をご覧ください。

3 番組を選ぶ

- 番組詳細画面が表示されます。
- 番組詳細画面からは、「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」の予約の他、その番組をおまかせ録画するように設定できます。

4 予約の種類を選ぶ

- 番組が予約されます。

⇦トップにもどる

予約リスト

- 「予約リスト」のタブを選択すると、予約リストが表示されます。
- 重複している予約がある場合は、予約リストの上段に表示されます。

おまかせ録画設定

- 「おまかせ録画設定」のタブを選択すると、おまかせ録画の設定画面が表示されます。
- 「おまかせ録画」を「する」に設定すると、おまかせ録画する録画先ハードディスクの選択や、おまかせ録画領域の設定が選べます。
- おまかせ録画を解除する場合は、「おまかせ録画」を「しない」に設定します。

日時を指定して予約をする／番組を検索して録画・予約をする

日時を指定して予約をする

1 【操作/設定】を押し、「予約リスト」を選ぶ

● 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、【緑】を押して、視聴制限を一時解除してください。

2 【青】を押す

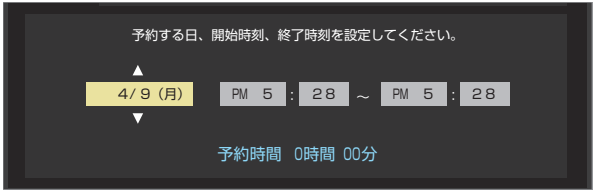
● 日時指定予約画面が表示されます。

3 録画予約の日時を設定する

❶ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で日時を設定する

● 6週間先まで指定できます。
● 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」などの繰り返し録画も選べます。
● 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷ 設定が終わったら、【決定】を押す

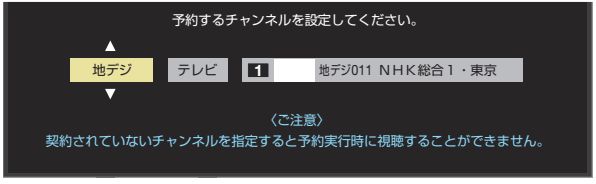


4 録画するチャンネルを設定する

❶ 設定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**……地デジ／BS／CS／BS/CS 4K
- **放送メディア**……テレビ／ラジオ(BS、110度CSだけ)／データ
- **チャンネル**……指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

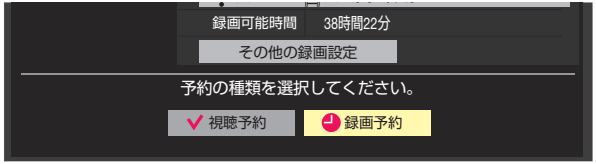
❷ 設定が終わったら、【決定】を押す



⇦トップにもどる

5 録画設定を変更する場合は「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の手順で操作をする

6 「視聴予約」または「録画予約」を選ぶ



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、【決定】を押す

メッセージなどが表示された場合

- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」、「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、「メッセージが表示された場合」≫をご覧ください。

お知らせ

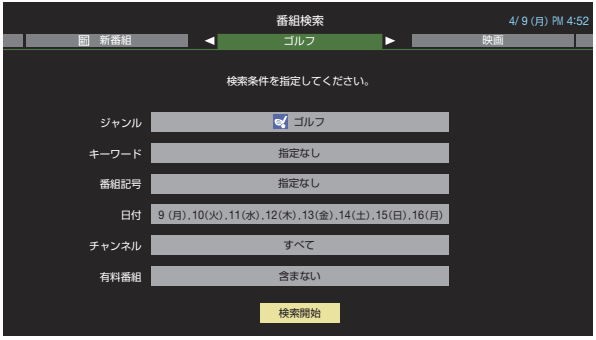
- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては「予約の確認・変更・取り消しをする」≫を、予約の優先順位については「予約・録画の優先順位と予約の動作について」≫をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

1 【番組表】を押して、番組表を表示させる

2 【緑】(番組検索)を押す

● 番組検索画面が表示されます。



3 「条件を絞りこんで番組を探す」≫の手順**3** ～ **5** の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を選ぶ

5 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表で予約をする」≫の手順**3**と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

● 録画先を変更する場合は、「録画先を変更する」≫をご覧ください。

1 設定画面を表示する

● 録画･録画予約の設定を変更する場合は、番組指定録画画面･番組指定予約画面･日時指定予約画面･予約内容確認／取り消し画面で「その他の録画設定」を選んで設定画面を表示します。

● 連ドラ予約の設定を変更する場合は、連ドラ予約画面･予約内容確認／取り消し画面で「詳細設定」を選んで設定画面を表示します。

2 設定する項目を選ぶ

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

3 内容を選ぶ

4 「設定完了」を選ぶ

項　目
マジックチャプター　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） •「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター（章）が分割されます。 •「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます（メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときだけ）。 •「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。 • マジックチャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。 ※番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。 ※チャプター数の上限（99個）に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。 ※マジックチャプターシーン検出は、当社が独自に開発した技術を利用しています。番組の制作者または提供者の指定に基づくものではありません。

項　目
保護　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 録画する番組を保護する（消さないようにする）かどうかを設定します。 録画後に設定することもできます。≫「誤って消さないように保護する」
連ドラ　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます（再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します）。 • 文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。 • 連ドラの名称（連ドラグループ名）はあとで変更することもできます。
追跡キーワード　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます（**1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます**）。
追跡基準　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。
上書き録画　（レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません） • 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。
放送時間 • 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です（**放送時間の繰り上げには対応できません**）。 • ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については「予約・録画の優先順位と予約の動作について」≫をご覧ください。
録画品質　（USBハードディスクの場合はこの設定はありません） • 「録画品質」を選択すると、設定メニューが表示されます。 • 「オリジナル画質（DR）」 デジタル放送をそのままの画質で録画します。 • 「録画先の設定画質」 録画機器側で設定されている録画モードで録画します。

⇦トップにもどる

「予約番組」について

- 「予約番組」欄には、連ドラ予約で予約される番組のリストが表示されます。
  リストが4件以上存在する場合は、◀·▶で表示を切り換えることができます。
  番組非特定の場合、「該当番組がありません。」と表示されます。

録画先を変更する

- 録画をする録画先の機器を変更できます。

1 **番組指定録画画面・番組指定予約画面・日時指定予約画面・連ドラ予約画面・予約内容確認／取り消し画面（連ドラ予約の場合は詳細設定）で、「録画先」を選ぶ**

2 **▲·▼で設定したい録画先を選び、【決定】を押す**

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。

予約の確認・変更・取り消しをする

● 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。

※ **レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。**

1 【操作/設定】を押し、「予約リスト」を選ぶ

● 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、【緑】を押して、視聴制限一時解除してください。

2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を選ぶ

● たとえば、3番組以上の重複があるような場合などは、その中からどれか予約を取り消す番組を選択します。

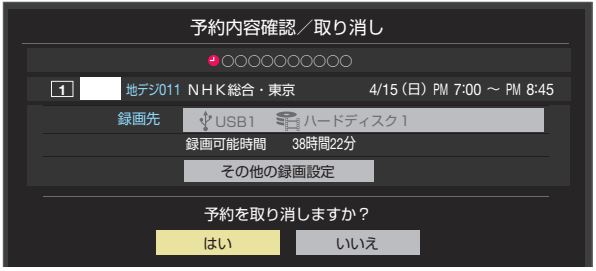
録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。
は予約時間が重複する番組が3番組以上あると、重複アイコンが表示されます。

は放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。(一つの有料番組でW録はできません)

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

❶「はい」を選ぶ



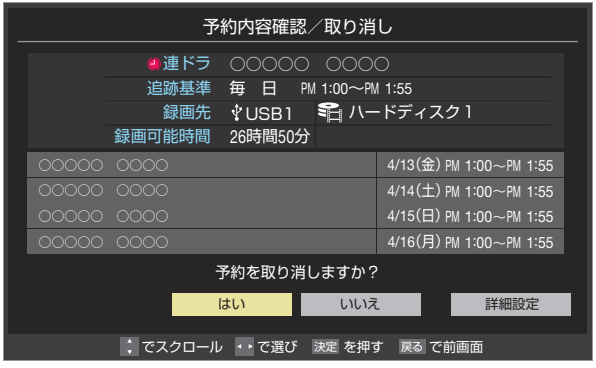
録画設定を変更するとき

● 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作をします。

連ドラ予約を取り消すとき

❶「はい」を選ぶ

● 予約時間が3番組以上重なっているときは、!が表示されます。
● 同一の有料番組が重なっている場合は、!が表示されます。
※ 連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組（録画中を含む）から予約が取り消されます。



予約内容を変更する場合

❶ 「詳細設定」を選ぶ

❷ 設定を変更する項目を選ぶ

- 設定画面に表示されている項目の内容については、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の表を参照してください。

❸ 「設定完了」を選ぶ

おまかせ録画

● おまかせ録画はクラウドサービスを利用して、興味のあるキーワード(人物も含む)に関する番組を自動録画する機能です。
おまかせ録画は、USB(通常録画)端子に接続したUSBハードディスクに録画されます。
おまかせ録画について詳しくは、ホームページ(https://www.regza.com/charm)をご覧ください。
※ おまかせ録画は、録画を保証するものではありません。確実に録画したい番組は、番組表などから録画予約をしてください。

おまかせ録画に必要な準備

● おまかせ録画を利用するには、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定
• インターネットを利用するための接続をする。 製品同梱の取扱説明書記載の「インターネットを利用するための接続をする」をご覧ください。 • インターネットを利用するための設定≫をする。 • 「レグザプライバシーポリシー」を「同意する」に設定する。 • 興味のあるキーワードや人物の「みるコレ パック」を登録する。

※ 「みるコレ パック」については、ホームページ(https://www.regza.com/charm)をご覧ください。

おまかせ録画について

おまかせ録画の設定について

❶ 【番組ガイド】を押して、「おまかせ録画設定」タブを選んで表示された設定画面で、「おまかせ録画」を「する」に設定します

❷ ▲·▼で「推しタレントを見つけて登録」「推しジャンルを見つけて登録」を選ぶと、パック(おまかせ録画できるジャンルやタレント)の一覧が表示されます

❸ おまかせ録画したいパックで【青】を押すと、パックがお気に入りに追加され、おまかせ録画も設定できます

録画について

- **地上デジタル放送／ BSデジタル放送／ 110度CSデジタル放送／ BS/CS 4K放送のテレビ放送を録画します。**
  - 字幕放送·映像／音声ESは録画されます。
  - 視聴年齢制限番組、非契約番組は録画されません。
- **おまかせ録画と番組表などから予約した通常録画予約が重なる場合は、通常録画予約が優先されます。**
  - 通常録画予約とおまかせ録画の予約が同時間帯に3件以上になったときは、通常録画予約が優先されおまかせ録画は予約されません。おまかせ録画予約が先に行われている場合は、番組表などから通常録画予約の操作をすると、予約が重なっていることをお知らせする画面が表示されます。
- **おまかせ録画の最大予約件数は32件です。**
  - おまかせ録画予約の設定をすると、おまかせ録画予約用に予約件数を32件確保されます。このとき、通常録画予約の最大予約件数は96件になります。

USBハードディスクの録画領域について

- **おまかせ録画は、予約録画とは別にUSBハードディスクに録画領域を用意します。**
  - おまかせ録画領域は、番組ガイドの「おまかせ録画設定」の画面から行います。
  - 予約録画領域とおまかせ録画領域を合わせて、USBハードディスクの総容量となりますので、ご注意ください。
- **録画番組は、予約録画とおまかせ録画を合わせて3000件まで録画できます。**

⇦トップにもどる

おまかせ録画を設定しているときの録画予約と録画番組について

- おまかせ録画の設定をすると、対象番組におまかせ録画アイコン(録画された番組にはおまかせ録画番組アイコン)がつきます。

おまかせ録画の自動削除について

- おまかせ録画番組は、おまかせ録画領域の容量が足りなくなると、古い番組から順に自動削除されます。
  - おまかせ録画の自動削除は解除できません。

おまかせ録画から予約録画への変更について

- おまかせ録画予約またはおまかせ録画番組は、以下の操作で通常録画予約または予約録画番組に変更することができます。
  - おまかせ録画予約は、「予約の確認・変更・取り消しをする」≫の手順**2**の後、予約内容確認画面で【青】を押すと通常録画予約に変更できます。
  - おまかせ録画番組は、録画リストで【操作/設定】を押し、「予約録画番組に変更」を選ぶと、予約録画番組に変更できます。

おまかせ録画でのご注意

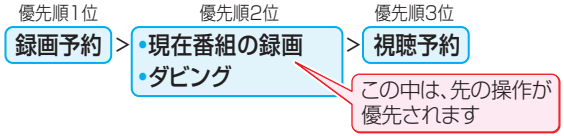
- 画面に表示される録画可能時間は、USBハードディスクの予約録画領域の容量を基に表示されます。
- おまかせ録画の設定を解除したり、おまかせ録画の録画先のUSBハードディスクを変更したりすると、おまかせ録画予約は、すべて削除されます。
  - おまかせ録画番組は削除されません。
- 「レグザプライバシーポリシー」を「同意しない」に変更すると、おまかせ録画の設定は解除されます。
- 新しいUSBハードディスクを接続した場合など、おまかせ録画の録画先を変更したいときは、番組ガイドの「おまかせ録画設定」より、録画先ハードディスクを選んでください。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

- 録画予約と他の録画が重なった場合、録画予約が優先され、他の録画は中止または取り消しになります。
- 「録画予約」の中では、おまかせ録画よりも、手動で録画予約した番組が優先されます。



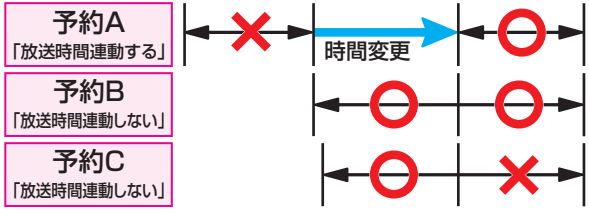
放送時間が変更されたとき

- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Cは録画されません。予約Bと予約Cの録画開始時刻が同じ場合は、先に予約を登録したほうが優先されます。



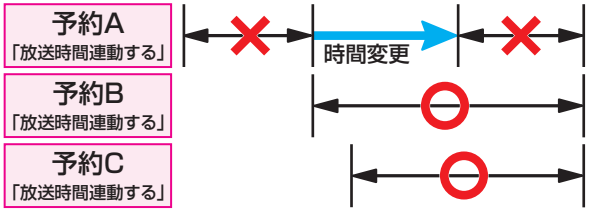
⇦トップにもどる

「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

❶ 開始時刻が変更された場合

●開始時刻の早い予約が優先されます。

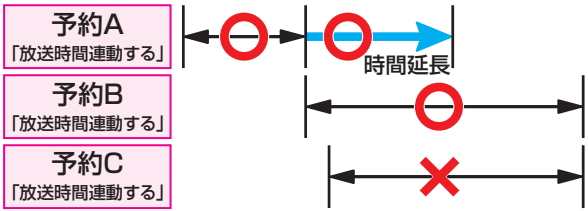
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bと予約Cの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



❷ 放送時間が延長された場合

●先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Cは取り消されます。



❸ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

●予約を登録した順に2番組まで録画されます。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約した番組放送が始まるとき

- 予約を中止する場合は、【終了】または【停止】を押します。
- 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わることがあります。
- 予約した視聴制限のある番組が始まるときは、メッセージが表示されます。【決定】を押し、暗証番号を入力してください。

▼

予約した番組の放送中

- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 録画予約した番組の録画が始まると、前述の優先順に従って他の録画は中止されます。

▼

予約した番組の終了後

- 本機を通常どおり使用できます。

録画機器を使う ― 再生する ―

■ ざんまいスマートアクセスで楽しむ

ざんまいスマートアクセスで選ぶ

■ タイムシフトマシン録画番組を見る

基本操作
タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作
タイムシフトマシン録画中の番組視聴時に使える便利な機能
番組情報やタイムバーを表示させる
タイムシフトマシン録画を一時的に停止させる
連ドラ予約をする
過去番組表を便利に使う

■ タイムシフトマシン録画番組を保存する

■ 見たいタイムシフトマシン録画番組を探す

「番組検索」で探す

■ 録画した番組を再生する

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた
録画番組の再生中にできるリモコン操作
録画番組の情報や番組説明を見る
録画番組を修復する
シーン / 出演者の情報を見る

■ 見たい録画番組を探して再生する

■ 録画リストのさまざまな機能を使う

番組を並べ替える
おまかせ録画番組を予約録画番組に変更する
ほかの機器を選択する
機器の情報を確認する
録画リストのタイムシフトマシン録画番組を保存する

■ 不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

録画番組を消す
自動的に消す（自動削除設定）
誤って消さないように保護する

■ 録画番組をダビング（ムーブ）する

録画番組をまとめてダビング（ムーブ）する
番組を一つだけダビング（ムーブ）する
他のテレビから本機へダビングする

■ レコーダーにダビングしてディスクに保存する

ネットワーク接続でダビングする
ブルーレイディスクに手間なくダビングする

ざんまいスマートアクセスで楽しむ

- おすすめやお気に入りパックごとに自動分類された録画番組、シーン、ネット動画の中から、お好みのものを見つけて楽しむことができます。
- 予約録画番組、おまかせ録画番組、タイムシフトマシン録画番組が表示されるので、録画番組の種類によらずお好みの番組を見つけることができます。
- 本機能の一部を使用するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

※　「パック」については、ホームページ(https://www.regza.com/charm)をご覧ください。

ざんまいスマートアクセスで選ぶ

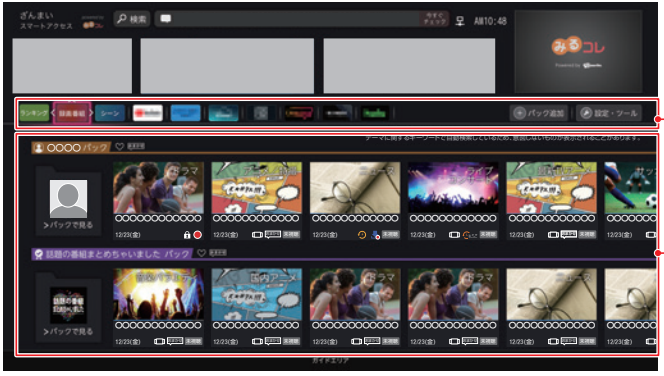
1 【ざんまい】を押す

- ざんまいスマートアクセスの画面が表示されます。

2 ◀·▶を押して、録画番組、ランキング、シーン、ネット動画を選択し、その後▲·▼を押して、表示されているお気に入りパックやおすすめ行から、お好みの行を選ぶ

3 見たいコンテンツを選ぶ

- 選択した番組やシーンの再生、ネット動画画面に切り換わります。
- タイムシフトマシン録画番組を選んで【決定】を押した場合は、再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。前回途中まで見た番組は続きから再生されます。
- タイムシフトマシン再生の操作については、「タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作」≫をご覧ください。
- 視聴制限対象の録画番組は表示しません。【操作/設定】を押し、「視聴制限一時解除」で暗証番号を入力して視聴制限を解除してください。



タブエリア
コンテンツの種別を切り替えたり、設定を表示します。

コンテンツ表示
番組の内容を表す画像が、並んで表示されます。

お気に入りパックをお好みに変更する

● 表示されるお気に入りパックを、お好みの内容に変更することができます。

お気に入りパックを追加する

● タブエリア右端の「みるコレパックの追加」を選ぶか、もしくはサムネイル表示の一番最後の行に表示される「みるコレパックの追加」を選んで【決定】を押すと、パックを選択する画面が表示されます。パックをお気に入りに追加すると、お気に入りパック行として表示されます。

お気に入りパックを並べ替える

● お気に入りパックを表示する順番を変更できます。

1 行の左端で、◀を押す

● 並び替えボタンが表示されます。

2 【決定】を押す

● パックの並び替えができるようになります。

3 ▲・▼で行の順番を入れ替える

4 変更が終了したら、【決定】または▶を押す

● 並べ替えが終了します。

お気に入りパックの内容を確認する

● お気に入りパックの内容やおまかせ録画設定の確認ができます。

1 行の左端の「＞パックで見る」を選ぶ

● お気に入りパックの詳細画面が表示されます。
● お気に入りパック内の番組やパックの詳細の確認、おまかせ録画の詳細設定ができます。

※お気に入りパックや並び順は、「録画リスト」「番組ガイド」と共通です。

タイムシフトマシン録画番組を見る

X990S Z990S Z890S

● タイムシフトマシン録画機能で録画されたデジタルテレビ放送の番組を、過去番組表から選んで視聴することができます。
※ ざんまいスマートアクセスでも選んで視聴することができます。

タイムシフトマシンを使うための準備について

❶ 「タイムシフトマシン録画の接続・設定をする」(製品同梱の取扱説明書記載)で接続と設定をします。
※ 登録済のタイムシフトマシン録画用USBハードディスクがすべて接続されていないと、この機能は働きません。

基本操作

X990S Z990S Z890S

1 【過去番組表】を押す

● タイムシフトマシン録画で録画された番組が、過去番組表で表示されます。
● タイムシフトマシンで録画された番組で、視聴年齢制限されている場合は、伏せ字(「****」)で表示されます。
※ 番組によっては、伏せ字で表示されない場合があります。
● 「週間過去番組表」については「週間過去番組表を表示させる」≫をご覧ください。

[過去番組表の例]

2 見たい番組を選ぶ

- 過去番組表に表示しきれていない日時のページを表示させるには【≪】・【≫】を押します。
- 【青】を押すと、選ばれているチャンネルの最新番組へ移動します。
- 【赤】を押すと日時指定ジャンプ画面が表示されます。日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。
  「指定した日時の番組表を表示させる」≫の手順2をご覧ください。
- 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見たいときは、操作メニューから「頭出し再生」を選びます。≫「頭出し再生をする」
- 選んだ番組の番組説明を見るには、操作メニューから「番組説明」を選びます。≫「番組説明を見る」
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、【決定】を押し、数字ボタンで暗証番号を入力します。

3 【決定】を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
- 前回途中まで見た番組は続きから再生されます。
- 番組の再生が終わると自動で次の番組を再生します。

4 タイムシフトマシン再生を終了するには、【終了】または【停止】を押す

- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。
- 番組を選び直すには、手順1から操作します。

お知らせ

- タイムシフトマシン再生で視聴できる過去の番組は、タイムシフトマシン録画機能で録画した番組に限られます。ただし、録画した番組は、タイムシフトマシン録画用ハードディスクの容量が足りなくなると古い番組から自動的に削除されます。
- 過去番組表や再生画面、タイムバーの番組情報および時刻情報などは、放送波で送信されてくる番組情報を基に表示されます。

タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作

X990S Z990S Z890S

● リモコンで以下の再生操作ができます。

ボタン	動　作
▶/早見早聞	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍と2.0倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が順番に切り換わります。タイムシフトリンク再生の場合、2.0倍速は非サポートです。 • 放送番組の視聴中に押すと、通常録画用USBハードディスク、またはタイムシフトマシン用USBハードディスクのどちらか最後に視聴した録画番組を選んで再生します。
静止 ❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
■	タイムシフトマシン再生を停止し、放送画面などに戻ります。
▶▶	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 • 一時停止中に押すとコマ送りができます。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。 • タイムシフトリンク再生では、一時停止中に押すと早送り再生になります。
◀◀	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 • 一時停止中に押すと1秒ほど戻って一時停止になります。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。 • タイムシフトリンク再生では、一時停止中に押すと早戻し再生になります。
»	再生中または可変再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。

↩・«	再生中または可変再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
◀・▶	再生中に押すと、前／次のシーンへスキップします。 • シーン情報がない録画番組の場合は、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします(録画時間が短い番組では動作しないことがあります)。 • シーン/出演者画面のように、◀・▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
▲・▼	シーンリストを表示します。
▶▶I	次のシーンにスキップします。 • シーン情報のない録画番組の場合は、録画番組の終わりまでスキップして再生を終了します。
I◀◀	一つ前のシーンにスキップします。 • シーン情報のない録画番組の場合は、録画番組の先頭にスキップします。
始めにジャンプ	再生中の番組の先頭にスキップして再生します。 ※ 動画や機器によっては、正しく動作しないことがあります。

● ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「録画・再生設定」で変更することができます。
≫「ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する」

● 【静止】で一時停止をしている間に時間が経過して、自動削除機能によって視聴中のタイムシフトマシン録画番組が削除されそうになった場合は、一時停止が自動的に解除されます。

※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。

※ シーンのご利用には、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。

タイムシフトマシン録画中の番組視聴時に使える便利な機能

X990S Z990S Z890S

始めにジャンプ

● 視聴中の番組を始めから見ることができます。

❶ 【始めにジャンプ】を押す

● 視聴中の番組の冒頭(録画開始部分)からタイムシフトマシン再生が始まります。

ちょっとバック

● 今見たシーンをもう一回見たいときに便利です。

❶ ⇦ 《 を押す

● 視聴している場面の30秒前に戻ってタイムシフトマシン再生が始まります(30秒以上録画されている場合にできます)。

ちょっとタイム

● 電話に出るなどで一時的にテレビの前から離れるときに便利です。

❶ テレビの前から離れるときに【静止】を押す

● 視聴中の映像が静止します。

❷ テレビの前に戻ったら、【再生/早見早聞】を押す

● 静止した場面からタイムシフトマシン再生が始まります。

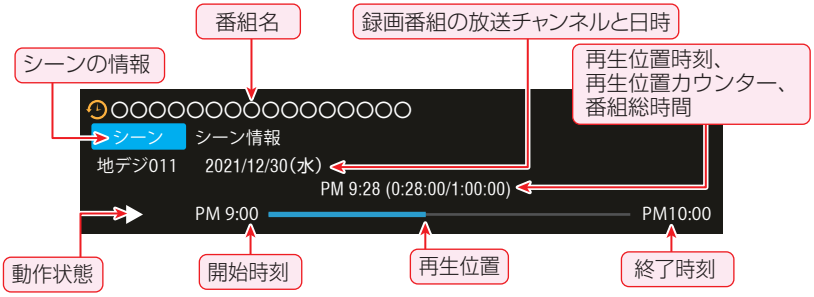
● 「始めにジャンプ」、「ちょっとバック」、「ちょっとタイム」のいずれの場合にも…

- タイムシフトマシン再生中は上記のリモコン操作ができます。
- 放送画面に戻るには、【停止】または【終了】を押します。

番組情報やタイムバーを表示させる

X990S Z990S Z890S

- タイムシフトマシン再生中に【決定】、【画面表示】を押すと、画面左下にタイムバーが表示されます。
- 停電や「タイムシフトマシン録画の一時停止」などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。
- タイムシフトマシンで録画中の番組を視聴している場合は、タイムバーに現在時刻位置(現在の録画ポイント)が表示されます。



タイムシフトマシン録画を一時的に停止させる

X990S Z990S Z890S

- タイムシフトマシン録画を一時的に停止させることができます。

1 【操作/設定】を押し、操作メニューの「タイムシフトマシン録画の一時停止」を選ぶ

- タイムシフトマシン録画が一時停止になり、【画面表示】を押したときに画面に タイムシフト一時停止中 が表示されます。
- タイムシフトマシン録画が一時停止状態になっているときは、操作メニューに「タイムシフトマシン録画の再開」が表示され、タイムシフトマシン録画を再開することができます。

※ タイムシフトマシン録画の一時停止状態は、ソフトウェアの手動更新をした場合や、電源を「待機」にした場合に解除されます。

※ 電源プラグを抜く場合は、タイムシフトマシン録画の一時停止ではなく、「タイムシフトマシン録画をする」≫の手順**2** で「しない」を選び、タイムシフトマシン録画を停止させてください。

連ドラ予約をする

X990S Z990S Z890S

● お好みのタイムシフトマシン録画番組を選んで連ドラ予約をすることができます。

1 連ドラ予約をする番組を過去番組表から選び、【操作/設定】を押す

2 「連ドラ予約」を選ぶ

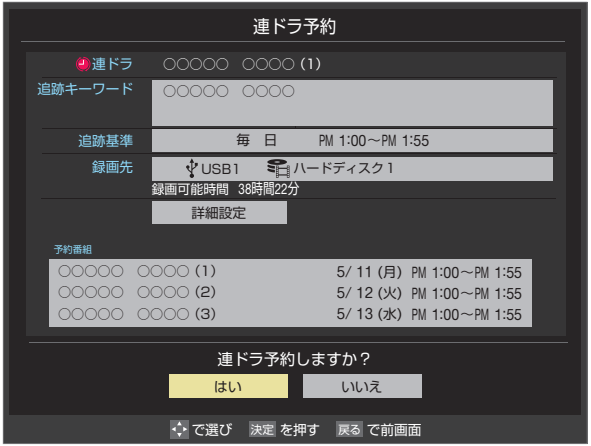
3 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

● 番組名(連ドラ)や追跡キーワード、追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

● 「録画先」を設定したい場合は、「録画先」を選び、変更します。

4 「はい」を選ぶ

5 「予約を設定しました。」が表示されたら、【決定】を押す



過去番組表を便利に使う

X990S Z990S Z890S

● 過去番組表が表示されているときに以下の操作をします。

週間過去番組表を表示させる

● 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

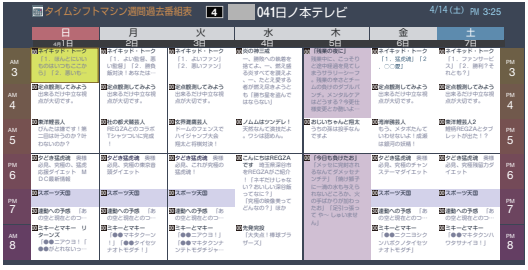
1 ◀·▶で一週間分の番組表を表示させたいチャンネルを選び、【黄】(週間過去番組表)を押す

● 【≪】・【≫】で他のチャンネルの週間過去番組表に切り換えることができます。

一週間分の過去番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。

[通常過去番組表]

黄 を押すたびに切り換わります。



[週間過去番組表]

⇦トップにもどる

操作メニューを使って操作する

● 過去番組表が表示されているときに【操作/設定】を押して、過去番組表のさまざまな設定をすることができます。

1 【操作/設定】を押す

● 操作メニューが表示されます。

2 項目を選び、以降を参照して操作する

● 以下の項目は通常番組表と同じ操作になります。
該当タイトルの説明をご覧ください。

項目	該当タイトル
番組説明	≫「番組説明を見る」
ジャンル色分け	≫「ジャンル別に色分けする」
番組記号一覧	≫「番組記号の説明を見る」
番組概要表示	≫「番組概要の表示／非表示を設定する」

頭出し再生

● 過去番組表で選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見ることができます。

❶ 「頭出し再生」を選ぶ

文字サイズ変更

● 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

❶ ▲·▼でお好みの文字の大きさを選ぶ

⇦トップにもどる

表示チャンネル数設定

- 録画チャンネル数が表示チャンネル数よりも少ないときは、番組表の空き部分が灰色になります。

❶「表示チャンネル数」を選ぶ

- 9チャンネル表示を選ぶこともできます。

※ オートでは、録画チャンネル数にかかわらず9チャンネル表示はされません。

❷ ▲·▼で表示させるチャンネル数を選ぶ

連ドラ予約

- 過去番組表に表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

❶「連ドラ予約」を選ぶ

❷「連ドラ予約」画面で内容を確認し、「はい」を選ぶ

- 番組名や追跡キーワード、追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作をします。

タイムシフトマシン録画番組を保存する

X990S Z990S Z890S

- タイムシフトマシン録画番組を通常録画用のUSBハードディスクに保存することができます。
- 保存した番組は、録画リストから視聴ができるようになります。

※ 保存できるのはコピーフリー番組とダビング10番組です。保存したダビング10番組はコピー8回+ムーブ1回可能となります。

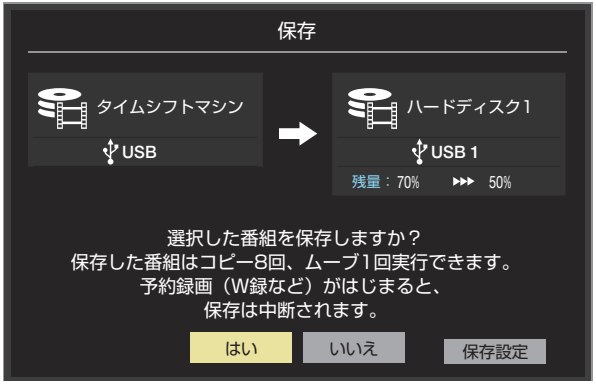
※ 録画中の番組、自動削除中の番組、一度保存した番組は保存できません(過去番組表で、保存済の番組にはアイコンがつきます)。

1 過去番組表で保存する番組を選び、【緑】を押す

- 保存の確認画面が表示されます。

2 「はい」を選ぶ

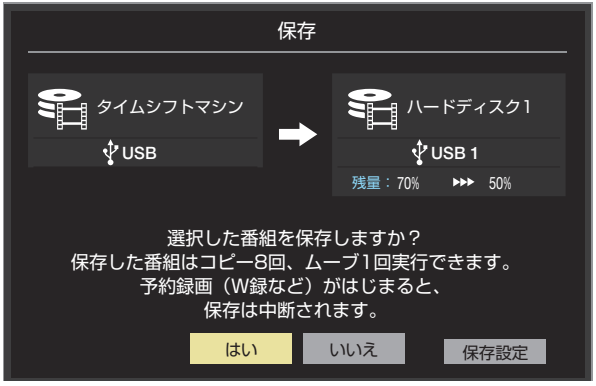
- 保存の進捗状況は、【画面表示】を押すと表示されます。



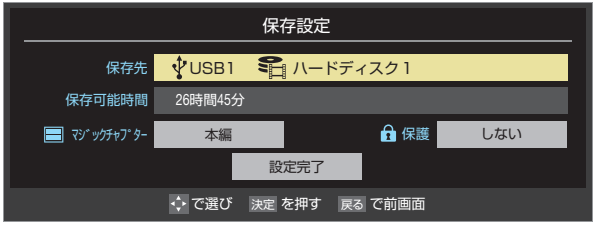
保存設定をする場合

● 以下の手順で保存設定をします。

1 「保存設定」を選ぶ



2 保存設定をする



保存先を変更するとき

❶ 「保存先」を選ぶ

● 保存先機器の選択画面が表示されます。

❷ 保存先にする機器を選ぶ

⇦トップにもどる

マジックチャプターの設定を変更するとき

● マジックチャプターは、シーンの変わり目で自動的にチャプター(章)に分割する機能です。

❶ 「マジックチャプター」を選ぶ

● 設定画面が表示されます。

❷ 設定を以下から選ぶ

- **本編**……本編とCMの間でチャプター分割されます。
- **オフ**……チャプター分割をしません。

保護の設定を変更するとき

● 保存した番組を保護するかどうか設定します。

❶ 「保護」を選ぶ

● 設定画面が表示されます。

❷ 「する」または「しない」を選ぶ

3 「設定完了」を選ぶ

● 保存確認画面に戻ります。

お知らせ

● タイムシフトマシン録画番組の保存中にできない操作をすると、画面にメッセージが表示されます。保存が終了するまでお待ちください。

見たいタイムシフトマシン録画番組を探す

X990S Z990S Z890S

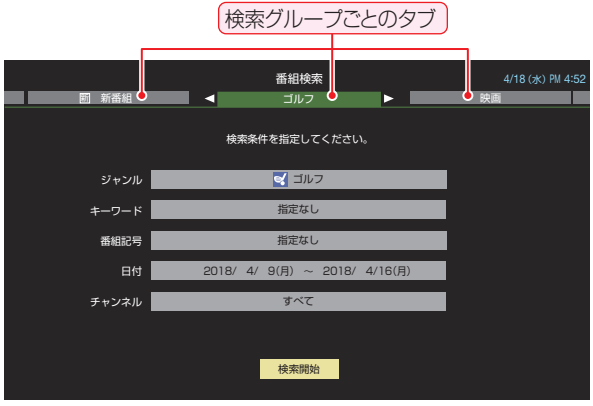
● タイムシフトマシン録画された番組の中から、見たい番組を探して視聴したり、保存したりすることができます。
※ ざんまいスマートアクセスでも、見たい番組を探して視聴したり、保存したりできます。

「番組検索」で探す

X990S Z990S Z890S

1 過去番組表を表示中に、【操作/設定】を押し、「番組検索」を選ぶ

2 検索するグループのタブを選ぶ



3 検索条件を指定する

● 「日付」と「チャンネル」以外の指定方法は、
「条件を絞りこんで番組を探す」≫の手順*4*と同じです。

⇦トップにもどる

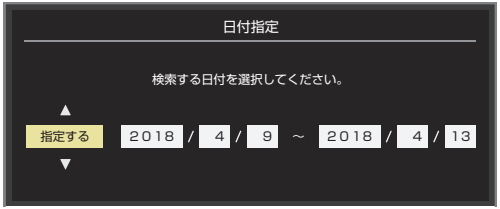
「日付」を指定するとき

❶ 「日付」を選ぶ

❷ ◀·▶で左端の欄に移動し、▲·▼で「指定する」を選ぶ

❸ ◀·▶で欄を移動し、検索範囲の開始〜終了の年、月、日を▲·▼で選ぶ

❹ 指定が終わったら、【決定】を押す



「チャンネル」を指定するとき

❶ 「チャンネル」を選ぶ

❷ 指定する項目を◀·▶で選び、▲·▼で内容を選ぶ

- タイムシフトマシン録画チャンネルの中から、お好みのチャンネルまたは「すべて」が指定できます。

❸ 指定が終わったら、【決定】を押す

4 「検索開始」を選ぶ

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

5 「タイムシフトマシン番組検索結果」画面からお好みの番組を選ぶ

- 再生が始まります。

- 緑 を押して通常録画用USBハードディスクに保存する場合は、「タイムシフトマシン録画番組を保存する」≫をご覧ください。

頭出し再生をする

- 選んだ番組を番組冒頭（録画開始部分）から見ることができます。

❶ 頭出し再生をしたい番組を選び、【赤】（頭出し再生）を押す

番組情報を見る

- 選んだ番組の番組説明を見ることができます。

❶ 番組情報を見たい番組を選び、【黄】（番組説明）を押す

連ドラ予約をする

- 表示されている番組を選んで、連ドラ予約をすることができます。

❶ 連ドラ予約にしたい番組を選び、【青】（連ドラ予約）を押す

❷ 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、「はい」を選ぶ

- 番組名や追跡キーワード、追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作をします。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。
- ネットワークメディアサーバーの動画再生については「動画を再生する」≫をご覧ください。
- 本機能または本機能の一部は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

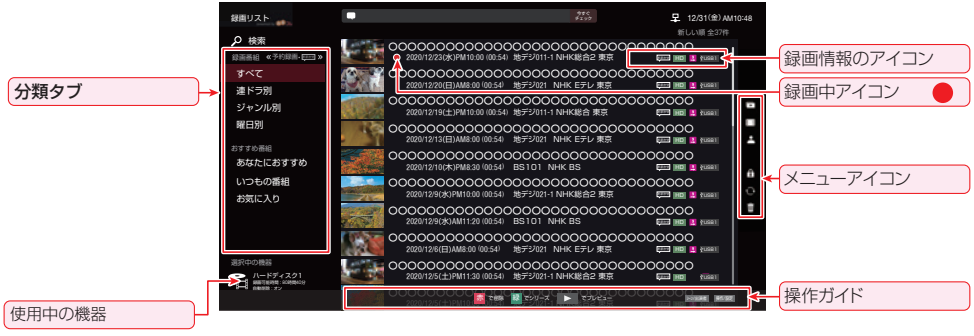
1 【録画リスト】を押す

2 ▲·▼で録画リストの表示を切り換える

- 分類タブについては、次ページの説明を参照してください。

※ 「おすすめ番組」を使用するには、インターネットへの接続と、レグザプライバシーポリシーの同意が必要です。

録画リスト（例）



録画番組

- **すべて**……すべての録画番組が表示されます。
- **連ドラ別**……連ドラ名のリストが表示されます。▲･▼で連ドラ名を選びます。
- **ジャンル別**……ドラマや映画などのジャンルリストが表示されます。▲･▼でジャンルを選びます。
  番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- **曜日別**……曜日のリストが表示されます。▲･▼で曜日を選びます。

● 視聴年齢制限番組は表示されません。表示させるときは、【操作/設定】を押してから、「視聴制限一時解除」を選んで【決定】を押してから暗証番号を入力してください。

● 【≪】/【≫】で、表示する番組を予約録画のみ、おまかせ録画のみ、どちらも表示に切り換えることができます。

おすすめ番組

- **あなたにおすすめ**……おすすめの録画番組が表示されます。
- **いつもの番組**……一度見た番組や次の回の録画番組が表示されます。
- **お気に入り**……お気に入りパックの録画番組が表示されます。

● タイムシフトマシン録画番組も表示されます

3 ▶または【決定】を押す

● カーソルが右側の録画番組のリストに移動します。

● 録画番組のリストの左端で◀を押すと、カーソルが分類タブの切り換えに戻ります。

4 見たい番組を選ぶ

● 選んだ番組の再生が始まります。

● 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます(レジューム再生)。

● 番組を最後まで再生し終わると、録画リストに戻ります。

● 再生中にできるリモコン操作については、「録画番組の再生中にできるリモコン操作」≫をご覧ください。

5 番組再生を終了するには、【停止】、【終了】または【戻る】を押す

- 【停止】または【戻る】を押すと、録画リストに戻ります。
- 【終了】を押すと、放送画面などに戻ります。

小画面で番組を確認する－プレビュー再生

- 録画リストで番組を選んだ状態で【再生/早見早聞】を押すと、小画面が開いて選択中の録画番組のプレビュー再生ができます。

録画中の番組を再生する－追っかけ再生

❶ 録画中の番組を選ぶ

メニューアイコンの機能を使う

- リスト表示では、録画番組にカーソルを合わせた状態で ▶ を押すと、メニューが開きます。
  メニューからは、以下の機能が使用できます。
  - 「シーン/出演者の情報を見る」≫
  - 「誤って消さないように保護する」≫
  - 「おまかせ録画番組を予約録画番組に変更する」≫
  - 「録画番組を消す」≫

お知らせ

■ **録画リストについて**

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内　容
▶/早見早聞	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍と2倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生に順番に切り換わります。DTCP-IPサーバーが公開している録画番組の再生では、1.5倍の速さの「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 • 放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
静止 ⏸	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
■	録画リストに戻ります。 • 放送番組視聴中に、【再生/早見早聞き】でラストレジューム再生したときは、放送画面に戻ります。
▶▶	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 • 一時停止中に押すとコマ送りができます。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すと、押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。 • DTCP-IPサーバーが公開している録画番組の再生では、一時停止中に押すと早送り再生になります。 • DTCP-IPサーバーが公開している録画番組の再生では、一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ送り再生になります。
◀◀	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 • 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。番組によっては、戻る時間が大きくなることがあります。 • 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。 • DTCP-IPサーバーが公開している録画番組の再生では、一時停止中に押すと早戻し再生になります。

⇦トップにもどる

◀·▶	再生中に押すと、前／次のシーンへスキップします。 • シーン情報がない録画番組の場合は、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします（録画時間が短い番組では動作しないことがあります）。 • シーン/出演者画面のように、◀·▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
▲·▼	シーンリストを表示します。
»	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します（ワンタッチスキップ）。
«	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します（ワンタッチリプレイ）。
▶▶|	次のシーンにスキップします。 • シーン情報のない録画番組の場合は、次のチャプターにスキップします。
|◀◀	一つ前のシーンにスキップします。 • シーン情報のない録画番組の場合は、一つ前のチャプターにスキップします。
録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。　放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。
青	シーン利用とチャプター利用を切り換えます。

※ BS·110度CSの4K録画番組は、「早見早聞」「スロー再生」「連続コマ戻し再生」「コマ送り」「コマ戻し(0.5秒戻し)」の操作はできません。

※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。

※ 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。

※ 録画番組を特殊再生しているときは、字幕の表示ができません。

※ 録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、▶/早見早聞 で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

※ シーンのご利用には、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。

ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する

- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておくと、飛ばしすぎて戻すときに便利です。

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「録画・再生設定」⇨「再生設定」の順に進む

❷ 「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選ぶ

❸ 時間を選ぶ

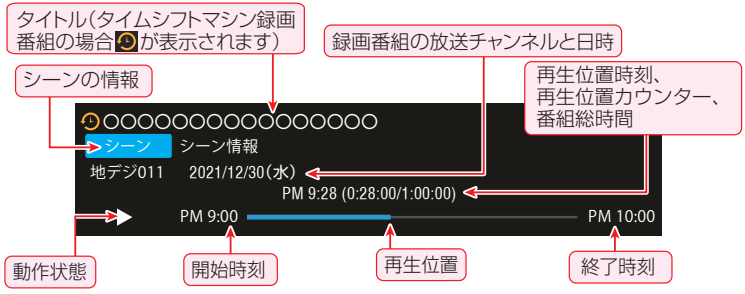
録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

❶ 再生中に【画面表示】を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。

※ 停電などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。



録画番組を修復する

● 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「録画・再生設定」⇨「通常録画用ＵＳＢハードディスク設定」の順に進む

❷ 「録画番組の修復」を選ぶ

❸ 番組を修復する機器を選ぶ

❹ 確認画面で「はい」を選ぶ

● 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。

❺ 「録画番組を修復しました。」が表示されたら、【決定】を押す

●この操作には、30分程度かかることがあります。

● 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。

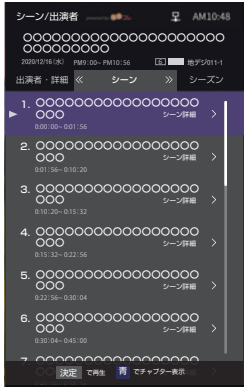
※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

⇦トップにもどる

シーン/出演者の情報を見る

- クラウドサービスを利用して、番組のシーンの情報や、出演者の情報を見ることができます。
- シーンリストおよび出演者のリストを表示するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能または本機能の一部は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

※ すべての番組にシーンリストが用意されることを保証するわけではございません。シーンについて詳しくは、ホームページ(https://www.regza.com)をご覧ください。



1 【シーンリスト】を押す

- シーンや出演者、シリーズの画面が表示されます
- 録画番組の再生中は▲·▼でも表示できます。

2 【≪】・【≫】で分類タブを切り替える

- カーソルを分類タブに合わせて◀·▶でも切り換えられます。

シーン

- シーンリストを表示します。
- シーン情報がない番組の場合は、チャプターリストが表示されます。
- 【青】を押して、シーンリストとチャプターリストを切り換えることもできます。
- シーン詳細がある場合、▶を押すとシーン詳細を表示します。
- 【決定】を押すと、選択したシーンの再生が始まります。

出演者・詳細

- 番組説明と出演者のリストが表示されます。
- ▲·▼で番組説明や出演者を選び、▶を押すと詳細が表示されます。

シーズン

- 連ドラなどで、該当番組のその他の話数の番組を表示します

⇦トップにもどる

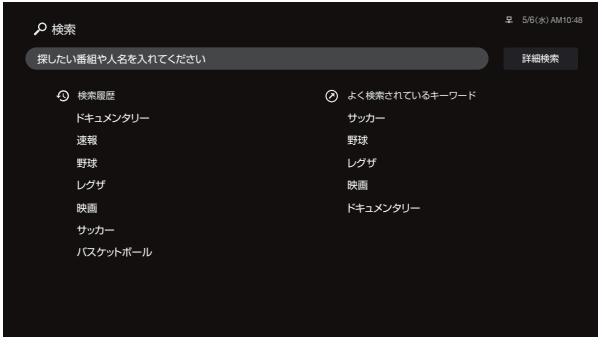
見たい録画番組を探して再生する

- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組や未来番組、パック、シーン、一部の動画配信サービスのコンテンツを横断検索します。
- 検索機能を使用するには、インターネットへの接続と、レグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能は、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

1 録画リストの表示中に検索アイコン( )を選ぶ

- 録画番組検索画面が表示されます。

2 以下の手順で番組を探す



検索履歴から選択する

❶ 検索履歴から見たい番組を選ぶ

キーワードを入力して検索する

❶ 検索窓を選ぶ

- キーワード入力画面になります。

❷ キーワードを入力する

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

❸ 見たい番組を選ぶ

お知らせ

- キーワードを入力せずに、「よく検索されているキーワード」を選んで検索することもできます。

詳細を指定して検索する

❶「詳細検索」を選ぶ

- 詳細検索画面が表示されます。

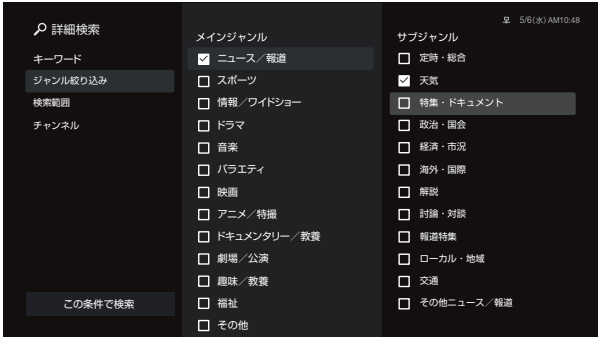
❷ 詳細な条件を入力する

キーワード

- 「以下のいずれかを含む」、「以下のいずれも含まない」の条件を設定できます。
- 「+追加」を選ぶとキーワード入力画面が表示され、キーワードを追加できます。
- 既にあるキーワードを削除する場合は、キーワードを選んで▶を押し、「削除」を選びます。

ジャンル絞り込み

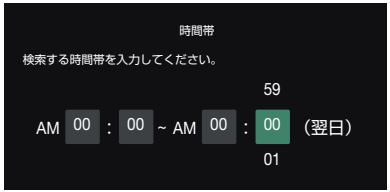
- ▲·▼でジャンルを選び、【決定】を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。
- メインジャンルの選択で▶を押すとサブジャンルの選択にカーソルが移動します。◀でメインジャンルに戻ります。



検索範囲

- 検索する時間帯と、再放送を含むかどうかを選択します。

時間帯



- 検索したい時間帯を指定します。

再放送

- 再放送の番組を含むかどうかを選択します。

チャンネル

- 地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル/BS/CS 4Kから、検索するチャンネルを選びます。

❸ 条件を入力したら、「この条件で検索」を選んで【決定】を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

❹ 見たい番組を選ぶ

録画リストのさまざまな機能を使う

● 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

番組を並べ替える

● 録画リストの「録画番組」タブに表示される番組の並び順を変えることができます。

1 【操作/設定】を押し、「録画番組内の並べ替え」を選ぶ

2 並び順を以下から選ぶ

- **新しい順**……日付の新しい順に表示されます。
- **古い順**……日付の古い順に表示されます。
- **番組名順**……番組名(タイトル名)順に表示されます。

おまかせ録画番組を予約録画番組に変更する

● おまかせ録画で録画した番組を、予約録画番組に変更することができます。

1 録画リスト上で変更したい録画番組を選び、【操作/設定】を押す

2 「予約録画番組に変更」を選ぶ

⇦トップにもどる

ほかの機器を選択する

● 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 「選択中の機器」を選ぶ

● 右側に接続されている機器のリストが表示されます。

2 ▶を押す

● カーソルが右側のリストに移動します。

3 使用する機器を選ぶ

機器の情報を確認する

● 使用中の機器の情報を確認します。

● USBハードディスクの残量も画面で確認できます。

※ 残量表示や録画可能時間表示は、目安としてご利用ください。

※ USBハードディスクの残量は、BS･110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)とBS･110度CSの4K放送(33Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 「選択中の機器」を選ぶ

● 右側に接続されている機器のリストが表示されます。

例:USBハードディスクの場合

録画リストのタイムシフトマシン録画番組を保存する

X990S Z990S Z890S

● 録画リストに表示されたタイムシフトマシン番組を、通常録画用のUSBハードディスクに保存することができます。

1 保存するタイムシフトマシン番組を選び、【黄】を押す

● 保存の確認画面が表示されます。

2 「はい」を選ぶ

● 「タイムシフトマシン録画番組を保存する」≫の手順**2**と同じです。

⇦トップにもどる

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

● 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

録画番組を消す

1 消す番組を選び、【赤】(削除)を押す

● 録画番組削除画面が表示されます。

2 消す番組を選ぶ

● 【決定】を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。
削除する番組に✓をつけます。

● ▶を押してカーソルを右に移動し、▲·▼で「すべて選択」を選んで【決定】を押すと、リストにあるすべての録画番組にチェックをつけることができます。

● 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、【青】を押して保護を解除してから【決定】を押します。

3 選択が終わったら、▶を押す

● 右側の削除メニューにカーソルが移動します。

4 「削除実行」を選ぶ

5 確認画面で、「削除する」を選ぶ

6 削除が終了したら、【決定】を押す

録画リストで選んでいる分類タブが表示されます

✓をつけた番組が削除されます

自動的に消す（自動削除設定）

● お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「自動削除」を無効に設定してください。

1 「選択中の機器」を選ぶ

● 右側に接続されている機器のリストが表示されます。

2 ▶を押す

● カーソルが右側のリストに移動します。

3 「自動削除」を選ぶ

● 【決定】を押すたびに、自動削除の有効/無効が交互に切り換わります。

誤って消さないように保護する

● 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※ 録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を選び、【操作/設定】を押す

2 「保護」を選ぶ

● 選択した番組が保護されます（🔒がつきます）。

● 保護を解除するには、保護されている番組を選択中に【操作/設定】を押して「保護解除」を選びます。

録画番組をダビング(ムーブ)する

● 本機でUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。

- 機器の接続や設定については、「ホームネットワークの接続・設定をする」≫をご覧ください。
- USBハードディスク間のダビングは、ムーブ(移動)だけできます。
- DTCP-IP対応サーバーには、番組のコピー制御情報(コピーワンスやダビング10など)に従ってダビングすることができます。

※ DTCP-IP対応サーバーによっては、USBハードディスクからDTCP-IP対応サーバーへダビングをした番組を本機へダビングできることがあります。ただし、その場合でもDTCP-IP対応サーバーからダビングした番組は元の番組とは別の番組となります。

※ USBハードディスクへの2番組同時録画(W録)中は、ダビングできません。

※ ダビング中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

※ DTCP-IP対応サーバーへのダビング時には、有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、セキュリティが「Open System」で通信データが暗号化されていないときは、ダビングできません。

※ ダビング中の番組は再生できません。

※ 4K放送の録画番組はDTCP-IP対応サーバーへダビングできません。

録画番組をまとめてダビング(ムーブ)する

● 録画リストの「録画番組」タブからは、複数の録画番組をまとめてダビングができます。

1 録画リストを表示させる

2 ダビングする番組を選び、【黄】を押す

3 ダビング先を選ぶ

● ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。

4 ダビングするドライブを選ぶ

● ダビング先の機器のドライブが1つしかない場合、この手順はありません。

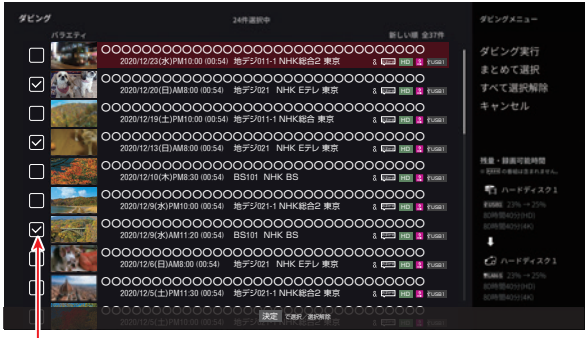
5 ダビングする番組を選ぶ

● 【決定】を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。
ダビングする番組に✓をつけます。

※ ダビング先がDVD/BDの場合、✓の代わりにチェックした順に数字が表示されます。

● ▶を押してカーソルを右に移動し、▲·▼で「まとめて選択」を選んで【決定】を押すと、選択していた録画番組以降の録画番組にまとめてチェックをつけることができます(最大64番組まで)。

● 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、【操作/設定】を押して保護を解除してから【決定】を押します。



✓をつけた番組がダビングされます

6 選択が終わったら、▶を押す

● 右側のダビングメニューにカーソルが移動します。

7 「ダビング実行」を選ぶ

● ダビング確認画面が表示されます。

※ 視聴年齢制限のある番組を選択している場合、確認画面が表示されます。「続ける」を選ぶと、ダビング確認画面が表示されます。

8 確認画面で「ダビングする」を選ぶ

● ダビングが開始されます。

※ 「ダビング先終了時電源オフ」のチェックボックスに ✓ をつけると、ダビング終了時にダビングした機器の電源を自動的に切ることができます(この機能に対応している機器のみ)。

ダビングを中止するには

● ダビング中に録画リストで【黄】を押すと、ダビング中止の確認画面が表示されます。「中止する」を選んで【決定】を押すと、ダビングを中止できます。

番組を一つだけダビング(ムーブ)する

● 「録画番組」タブ以外の画面やざんまいスマートアクセス画面などからも録画番組をダビング(ムーブ)できます。

1 録画番組を選択した状態で【黄】を押す

2 ダビング先を選ぶ

● ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。

3 ダビングするドライブを選ぶ

● ダビング先の機器のドライブが1つしかない場合、この手順はありません。

4 ダビング確認画面で「ダビングする」を選ぶ

● ダビングが開始されます。

※ 視聴年齢制限のある番組を選択している場合、ダビング確認画面の前に確認画面が表示されます。「続ける」を選ぶと、ダビング確認画面が表示されます。

※ 「ダビング先終了時電源オフ」のチェックボックスに ✓ をつけると、ダビング終了時にダビングした機器の電源を自動的に切ることができます(この機能に対応している機器のみ)。

他のテレビから本機へダビングする

- レグザリンク･ダビング機能に対応したテレビ「REGZA」に録画した番組を、本機に接続したUSB-HDDにダビングできます。
- あらかじめ本機とダビング元のテレビをネットワークでつなぎ、接続と設定をおこなっておきます。
- USBハードディスクへの2番組同時録画(W録)中は、ダビングできません。

1 ダビング元のテレビから本機へダビング開始の操作をする

- テレビ画面にはダビングしている映像は表示されません。

以下に示すのは、レグザリンク･ダビング方法の一例です。くわしくは接続したテレビ「REGZA」に付属の取扱説明書をお読みください。

❶ **ダビング元のテレビの録画リストを表示する**

❷ **ダビングする番組を選ぶ**

❸ **ダビング先として、本機を指定する**

例) LAN-S REGZA-XXXXXXX（XXXXXXXは本機の形名）

※ 本機を、ダビング元に表示させるには「ホームサーバー機能の設定をする」≫をご覧ください。

❹ **ダビングを開始する**

レコーダーにダビングしてディスクに保存する

ネットワーク接続でダビングする

● DTCP-IP対応のレコーダーにネットワーク経由でダビングをすることができます。

※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、セキュリティが「Open System」で通信データが暗号化されていないときは、ダビングできません。

※ 4K放送の録画番組はダビングできません。

● 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

1 本機とレコーダーをLANで接続する

● 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」≫をご覧ください。

ダビングの操作

● 「録画番組をまとめてダビング(ムーブ)する」≫の操作手順と同じです。
手順**3**で、LAN接続したDTCP-IP対応のレコーダーをダビング先に指定します。
※ 使用する機器が「ダビング先選択」の画面に表示されない場合は、接続や設定を確認します。

● ダビング終了時にダビング先の機器の電源を切る場合は、手順**8**のダビング確認画面で、必要に応じて「ダビング先終了時電源オフ」を選び、【決定】を押して✓をつけます(この機能に対応している機器のみ)。

ブルーレイディスクに手間なくダビングする

● 本機でUSBハードディスクに録画した番組を、東芝レコーダーのブルーレイディスクに直接ダビングする操作感覚でダビングすることができます。

※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、セキュリティが「Open System」で通信データが暗号化されていないときは、ダビングできません。

- 東芝レコーダーのレグザリンク・ダビングの対応機種については、下記URLをご覧ください。
  https://www.regza.com/support

● 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

1 本機とレコーダーをLANで接続する

● 「レグザリンクダビングの接続・設定をする」≫をご覧ください。

ダビングの操作

● 「録画番組をまとめてダビング(ムーブ)する」≫の操作手順と同じです。
手順*3*で対象のレコーダーをダビング先に、手順*4*でブルーレイディスクが挿入されているドライブを指定します。

メッセージが表示されたとき

- レコーダーがメディアの自動初期化に対応している場合、レコーダーが未初期化状態として認識するブルーレイディスクが挿入されていると確認のメッセージが表示されます。
  「はい」を選択して続行した場合、ブルーレイディスクに記録されたデータはすべて消去されます。(レコーダー以外の機器で記録したデータなどがある場合はご注意ください)

- 手順**5**で選択した順番でダビングされます(✓の代わりに、チェックした順に順番を表す番号が表示されます)。
- ダビング終了時にレコーダーの電源を切る場合は、手順**8**のダビング確認画面で、必要に応じて「ダビング先終了時電源オフ」を選び、【決定】を押して✓をつけます(この機能に対応している機器のみ)。
- レコーダーのハードディスクや挿入されたブルーレイディスクの状態によっては、上記のメッセージが表示されます。
- 本機からレコーダーへのダビングが完了すると、レコーダー側でブルーレイディスクへの書込みが開始されます。

接続機器を使う ― 外部接続機器を使う ―

■ 外部入力の画面に切り換える

■ 外部入力の機能を設定する

入力切換時に画面に表示される機器名を設定する
HDMI 入力の設定を変更する

■ レグザリンクについて

レグザリンク機能でできること
HDMI 連動機能について

■ 本機のリモコンで HDMI 連動機器を操作するための設定をする

■ 本機のリモコンで対応機器を操作する

機器を操作する
本機のリモコンでできるおもな操作

■ オーディオ機器（オーディオシステム）で聴く

オーディオ機器のスピーカーで聴く

■ ゲーム機に合わせた設定をする

ゲーミングメニューを使う

■ ホームネットワークについて

■ ホームネットワークの接続・設定をする

機器を接続する
機器のネットワーク設定を確認する
接続機器を本機から起動するための設定をする　～リモート電源オン機能～
接続機器から本機を操作するための設定をする　～外部連携機能～
ホームサーバー機能の設定をする

■ ホームネットワーク機能を使う

DTCP-IP 対応サーバーが公開している録画番組を視聴する

■ タイムシフトリンク機能を使う

機器の接続と設定をする
タイムシフトリンク機能でできること
タイムシフトリンクで録画番組を見る
システムをメンテナンスする
過去番組表を更新する
タイムシフトリンク省エネ設定をする

外部入力の画面に切り換える

- 本機の外部入力端子(HDMI1～4入力)に接続したビデオやDVD･ブルーレイディスクプレーヤー /レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、製品同梱の取扱説明書の「外部機器を接続する」をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 【入力切換】を押す

- 【入力切換】を押すと画面下部に入力切換画面が表示され、【決定】を押すか少し待つと選択中の入力に切り換わります。希望の入力を選ぶには、入力が切り換わる前に次の手順**3**の操作をします。

3 【入力切換】を繰り返し押すか、または◀･▶を押して入力を選ぶ

- 【入力切換】を押すたびに一つ右の項目を選択します。

HDMI連動機器を選ぶとき

- HDMI連動機器は、入力切換画面に REGZA LINK が表示されます。
  - REGZA LINK が表示された機器を選んで▲を押すと、機器の形名などが確認できます。
  - HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器の一覧が表示されます。
    使用する機器を◀･▶で選び、【決定】を押すと機器を選択できます。

4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- ゲーム機を接続した入力では、「映像メニュー」を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。
  「自動ゲーム機器設定」が「オート」の時、ゲーム機器に適した設定に切り換ります。

HDMI連動機器を選んだとき

- 機器操作メニューや本機のリモコンで機器を操作することができます。
- 機器操作メニューの使い方

❶ 【操作/設定】を押し、「機器操作」を選ぶ

- 機器操作メニューが表示されます。機器操作メニューや本機のリモコンで操作できる機能については、「本機のリモコンで対応機器を操作する」≫をご覧ください。

お知らせ

- 本体ボタンでも、「入力切換」ができます。≫「本体ボタンで入力を切り換える」
- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名を変えることができます。「外部入力表示設定」をご覧ください。

⇦トップにもどる

入力切換画面に表示する項目を編集する

● 入力切換画面で表示される外部入力やアプリの項目を編集できます。

1 入力切換画面で「編集」を選ぶ

● 入力切換画面が編集モードに切り換わり、機器の表示の上にチェックボックスが表示されます。

2 以下の手順で入力切換画面の設定をする

表示する項目を設定する

❶ 項目を選択して【決定】を押す

● 【決定】を押すたびに、☑と□が交互に切り換わります。
チェックを付けた項目が入力切換画面で表示されます。

項目を並べ替える

❶ 項目を選び、▼を押す

● 選択している項目が上にずれて、並べ替えモードになります。

❷ ◀·▶を押して項目の位置を入れ替える

❸ 変更が終了したら、▼を押す

● 並べ替えが終了して、編集モードに戻ります。

3 変更が終了したら、【終了】または【戻る】を押す

⇦トップにもどる

本体ボタンで入力を切り換える

1 本体ボタンを押す

● 本体ボタンメニューが表示されます。

2 本体ボタンをくり返し押して、「入力切換」を選ぶ

3 本体ボタンを長押しする

● 入力切換画面が表示されます。

4 本体ボタンをくり返し押して、入力を選ぶ

5 本体ボタンを長押しして、入力を切り換える

● 入力切換画面を抜けるときはしばらく放置します。

外部入力の機能を設定する

● 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「外部入力・HDMI連動設定」⇨「外部入力設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

入力切換時に画面に表示される機器名を設定する

● 入力切換をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

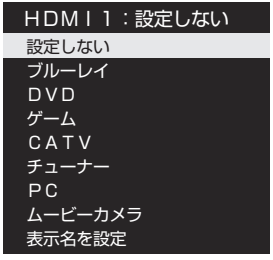
❶ 「外部入力表示設定」を選び、【決定】を押す

❷ 設定する外部入力を選ぶ

❸ 表示させる機器名を選ぶ

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

● 「表示名を設定」を選ぶと、表示名を自分で設定できます。
文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。



HDMI入力の設定を変更する

● HDMI入力端子ごとに、モード切り換えなどの機能を設定することができます。

自動でゲームモードに切り換える

● ゲーム機を接続したときに自動で機器を判別し、最適な設定に変更することができます。

※ 接続機器によっては動作しないことがあります。
動作しない場合は、「映像メニュー」を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。

❶ 設定する外部入力を選ぶ

❷ 「自動ゲーム機器設定」を選ぶ

❸ 「オート」または「オフ」を選ぶ

- **オート**……接続されたゲーム機を判別し、「ALLM設定」、「コンテンツタイプ連動」、「RGBゲーム設定」を機器に合わせた設定に変更する。
- **オフ**……この機能は働きません。

● 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

自動で遅延時間を短縮する設定にする

● ALLM(Auto Low Latency Mode)設定を切り換える事で、選択しているALLM対応入力機器からの情報に連動して、自動的に画像処理による表示の遅延時間を短縮します。

※ 「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

※ 接続機器によっては動作しないことがあります。

❶ 設定する外部入力を選ぶ

❷ 「ALLM設定」を選ぶ

❸ 「オン」または「オフ」を選ぶ

- **オン**……入力機器からの情報に連動して、自動的に画像処理による表示の遅延時間を短縮します。
- **オフ**……この機能は働きません。

HDMI入力の画質が自動設定されるようにする

● HDMI入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。

※ 「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

❶ 設定する外部入力を選ぶ

❷ 「コンテンツタイプ連動」を選ぶ

❸ 「オン」または「オフ」を選ぶ

- **オン**……入力映像に「映画」などのコンテンツタイプを識別する情報がある場合に、そのタイプに適した画質に自動調整されます。
- **オフ**……この機能は働きません。

⇦トップにもどる

RGB入力時にゲームモードに切り換える

● HDMI入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。

※ 「自動ゲーム機器設定」が「オート」に設定されているときは、設定できません。

❶ **設定する外部入力を選ぶ**

❷ **「RGBゲーム設定」を選ぶ**

❸ **「オン」または「オフ」を選ぶ**

- **オン**……入力映像がRGB信号の場合に、自動的に画像処理による表示の遅延時間を短縮します。
- **オフ**……この機能は働きません。

VRR/AMD FreeSync™ Premium信号の入力設定をする※

● ゲーム機から出力されるVRRやAMD FreeSync™ Premium信号を受信できるように設定します。出力信号については、ゲーム機側の設定が必要です。

- この設定は、HDMIモードが「高速信号モード」を選んでいる場合に設定できます。

❶ **設定する外部入力を選ぶ**

❷ **「VRR設定」を選ぶ**

❸ **「オン」または「オフ」を選ぶ**

- **オン**……入力映像がVRR/AMD FreeSync™ Premium信号の場合に、自動的に画面のリフレッシュレートを変更します。
  「映像メニュー」が「ゲーム」に設定されているとき、機能します。
- **オフ**……この機能は働きません。

⇦トップにもどる

ストリーミング機器に合わせて画質を変更する

- ストリーミング機器に合わせて、自動で最適な画質設定にします。

❶ **設定する外部入力を選ぶ**

❷ **「ストリーミング機器設定」を選ぶ**

❸ **「オート」または「オフ」を選ぶ**

- **オート**……機器に合わせて、自動的に画質を変更します。
- **オフ**……この機能は働きません。

HDMIモードを変更する

- **高速信号モード**は4K映像に対応している機器からの4K映像をより高精細に再生するときに選びます。
- **通常モード**は「高速信号モード」で映像や音声が正しく出力されないときに選びます。

❶ **設定する外部入力を選ぶ**

❷ **「HDMIモード設定」を選ぶ**

❸ **「高速信号モード」または「通常モード」を選ぶ**

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

⇦トップにもどる

HDMI機器を変えたときにHDMIの設定を確認する

● HDMI入力に切り換えたとき、前回と異なる機器が接続されている時に映像と音声の出力を確認する設定を表示します。
※ 接続機器によっては動作しないことがあります。

❶ **設定する外部入力を選ぶ**

❷ **「ＨＤＭＩモード設定切換通知」を選ぶ**

❸ **「オン」または「オフ」を選ぶ**

- **オン**……HDMI入力に切り換えたとき、前回と異なる機器が接続されている場合に、HDMIモードを設定する確認画面が表示されます。
- **オフ**……この機能は働きません。

HDMI入力のRGBレンジを設定する

● 本機がRGBレンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。

❶ **設定する外部入力を選ぶ**

❷ **「RGBレンジ設定」を選ぶ**

❸ **設定を以下から選ぶ**

- **オート**…… 自動切換になります。
- **フルレンジ**…… RGBレンジが0 ～ 255の機器の場合に選びます。
- **リミテッドレンジ**…… RGBレンジが16 ～ 235の機器の場合に選びます。

HDMI入力の２画面時動作モード切換を設定する

● 2画面切換時にHDMIの動作モードを切り換えるための設定をします。≫「2画面で楽しむ」

❶ **設定する外部入力を選ぶ**

❷ **「２画面時動作モード切換」を選ぶ**

❸ **設定を以下から選ぶ**

❹ **「オン」または「オフ」を選ぶ**

- **オン**…… 2画面でのHDMI接続機器の視聴にあわせた設定に切り換えます。設定が切り換わることで、HDMI接続機器の動作が継続できなくなる場合や、切換に時間がかかる場合があります。
- **オフ**…… 2画面でのHDMI接続機器の視聴にあわせた設定に切り換えません。2画面時に対応していない信号が入力された場合、正しく視聴できない場合がありますが、HDMI接続機器の動作や信号が途切れることなくスムーズに2画面を起動･終了できます。

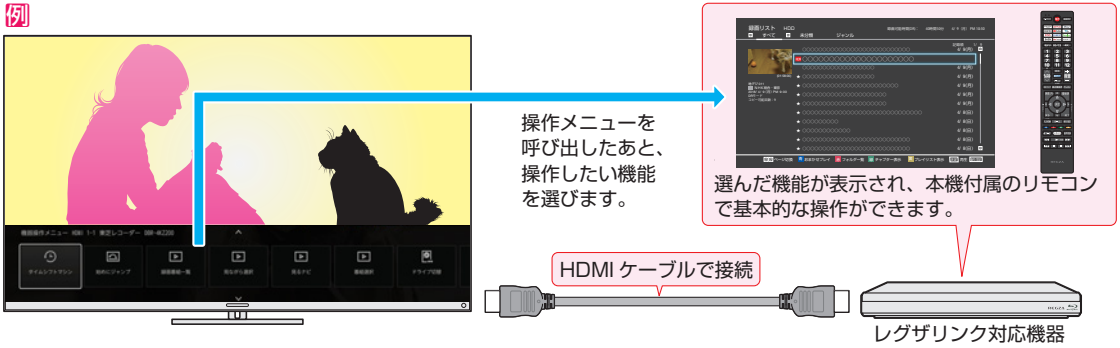
レグザリンクについて

レグザリンク機能でできること

● 本機は以下のレグザリンク機能(HDMI連動)に対応しています。

本機のリモコンで対応機器の操作をする

● 本機に接続したレグザリンク対応の録画機器や再生機器などの操作が本機のリモコンでできます。 ≫「本機のリモコンで対応機器を操作する」



電源の入／切や入力切り換えの動作を連動させる

● **ワンタッチプレイ**……レグザリンク対応機器を操作すると、機器に連動して本機の電源が入り、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。

● **システムスタンバイ**……本機の電源を「待機」にすると、機器も連動して電源が「切」(待機)になります。

対応機器に録画・予約をする

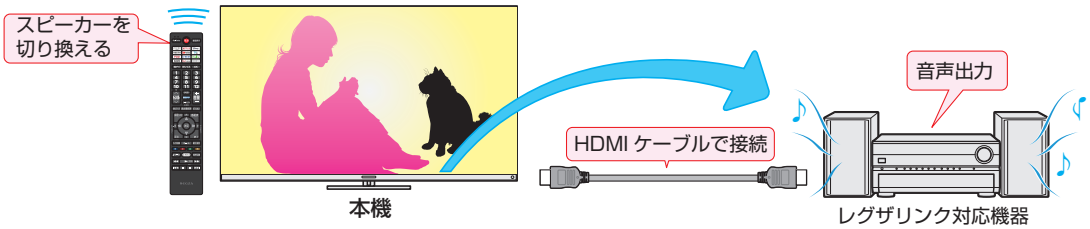
● 本機に接続したレグザリンク対応機器に録画や予約をすることができます。≫「 録画・予約をする 」

例

オーディオ機器と連携させる

● オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。また、ジャンルに適した音声がオーディオ機器のスピーカーから出るようにすることもできます。≫「オーディオ機器（オーディオシステム）で聴く」

例 **音声を対応機器のスピーカーで聴く**



⇦トップにもどる

準備をする

機器	接続・設定	機器についてのお知らせ
HDMI連動対応の 映像機器やオーディオ機器	映像機器、オーディオの接続： （本機同梱取扱説明書の「外部機器を接続する」参照）	● **レグザリンク（HDMI連動）機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。** ● レグザリンク対応の映像機器やオーディオ機器については、ホームページ（https://www.regza.com/support）をご覧ください。

HDMI連動機能について

- 本機のレグザリンク（HDMI連動）機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
- 本機とレグザリンク対応の東芝レコーダーやパソコンなど当社推奨の機器をHDMIケーブルで接続することで利用できます。
  - 「録画・予約する」の章に記載されているレグザリンク対応の東芝レコーダーへの録画・予約の操作も、HDMI連動機能を利用したものです。
- 接続確認済機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
- 接続確認済機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができないことがあります。
- HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
  - 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
  - すべての接続機器の動作を確認してください。

※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化することがあります。

オーディオ機器について

- オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声が出ないことがあります。
- オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しないことがあります。
- 対象機種については、ホームページ(https://www.regza.com/support)の接続確認済み機器をご覧ください。
- オーディオ機器の電源プラグをコンセントに差し込む前に、本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにオーディオ機器が正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、オーディオ機器の電源を入れ直してください。
  ※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とオーディオ機器の電源が同時にはいった場合にも、上記の操作が必要になることがあります。

お知らせ

- レグザリンク対応機器については、ホームページ（https://www.regza.com/support）でお知らせしています。

※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

■ **システムスタンバイについて**

- 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
- 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

- HDMI CECによる連動機能が動作しない場合にもeARCによってオーディオ機器で音を聞くことができる場合もありますが、本機及びオーディオ機器のHDMI連動機能を有効にして使用することを推奨します。
- HDMI CECによる連動機能が動作していない場合には、テレビのリモコンでオーディオ機器の電源や音量を操作することはできませんので、オーディオ機器側で操作してください。

本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「外部入力・HDMI連動設定」⇨「HDMI連動設定」の順に進む

⇦トップにもどる

2 設定する項目を選ぶ

HDMI連動機能

● 本機のリモコンでのHDMI連動機器操作、東芝レコーダーの録画･予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

リモコン動作モード

● 本機からの操作に対応したHDMI連動対応機器を接続している場合、「連動機器優先」に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

連動機器→テレビ入力切換

● 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

連動機器→テレビ電源

● 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。

※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておくと、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。

テレビ→連動機器電源オフ

● 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります）。

※ 本機の「省エネ設定」や「スリープタイマー」とも連動します。

オーディオシステム音声入力

● 連動機器を接続したHDMI入力端子ごとに、オーディオ機器の音声入力を設定することができます。

例 HDMI 3入力端子に接続しているレコーダーの音声を、オーディオ機器の「入力2」に接続している音声信号を使って聴きたいときは、「HDMI 3」を選んで【決定】を押してから、「入力2固定」を選んで【決定】を押します。

機器操作メニュー自動表示

● 「使用する」に設定すると、本機に接続したレグザリンク対応機器に入力を切り換えたときに、機器操作メニューを自動的に表示します。

オーディオシステム音質連動

● テレビのリモコンでオーディオシステムのスピーカーを操作する機能の設定をします。

- **スピーカー・音質連動**…オーディオシステムのスピーカー切換と音量調整、音質調整を使用するときに選びます。
- **スピーカー連動**……オーディオシステムのスピーカー切換と音量調整を使用するときに選びます。
- **連動しない**……オーディオシステムのスピーカー切換や音量調整を使用しないときに選びます。

eARCモード

● eARC対応オーディオ機器をeARC/ARC端子に接続しているときに、音声をeARCで出力するかARCで出力するかを設定します。

電源オン時優先スピーカー

● 本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。

- **テレビスピーカー**……電源をオンしたときにテレビスピーカーから音声を出力します。

※「テレビスピーカー」に設定していても接続しているオーディオ機器の動作によって、オーディオ機器から音声が出力される場合があります。

- **オーディオシステム**……電源をオンしたときに、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。
- **シンクロドライブ**……電源をオンしたときに、テレビスピーカーとオーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。

● 操作メニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。≫「オーディオ機器(オーディオシステム)で聴く」

※ 操作メニューでスピーカーを切換した場合は本機の電源操作で、電源オン時優先スピーカー設定で選択した状態に戻ります。

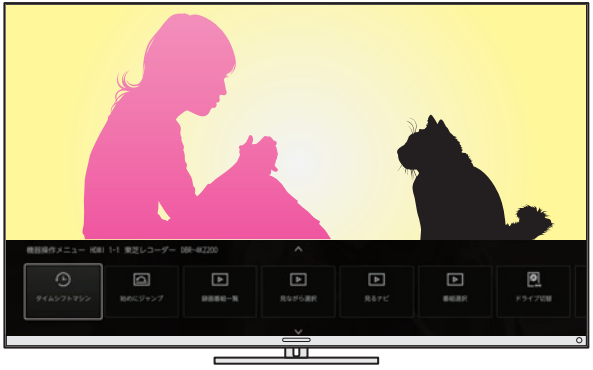
お知らせ

- 連動機器の機能、設定によっては、HDMI連動設定をしても、一部もしくはすべての機能が働かないことがあります。
- 本機が認識できるHDMI連動対応機器の台数は、HDMI CEC規格に従って、オーディオ機器：1台、録画機器（レグザリンク対応レコーダーなど）：3台、再生機器（東芝のプレーヤー /PCなど）：3台までに制限されます。
- HDMI連動機能が「使用しない」に設定されていても、オーディオシステム音質連動が「スピーカー・音質連動」または「スピーカー連動」で、eARCモードが「オン」であれば、eARCによってオーディオ機器で音を聞くことができますが、本機及びオーディオ機器のHDMI連動機能を有効にして使用することを推奨します。
- 「オーディオシステム音質連動」の対応機器については、ホームページ（https://www.regza.com/support）をご覧ください。
- 「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しても、本機の状態によっては自動的に入力が切り換わらないことがあります。

本機のリモコンで対応機器を操作する

機器を操作する

- 【入力切換】の操作でレグザリンク(HDMI連動)対応機器が接続された入力(HDMI1 ～ 4)を選んだあと、【操作/設定】を押し、▼を押すと、機器操作メニューが表示されます。
- 機器によって表示される機器操作メニューの内容や、操作できる内容が異なります。



❶ 【操作/設定】を押し、操作メニューで▼を押す

- 本機のリモコンで、レグザリンク対応のレコーダーやプレーヤー、パソコンなどの基本操作をすることができます。
- 以降は一例です。ほかのHDMI連動機器でも、本機のリモコンで操作できる場合があります。
- 本機のリモコンでできる操作については、「本機のリモコンでできるおもな操作」≫をご覧ください。
- 機器を操作すると機器操作メニューが消えます(機器操作メニューを再表示させるには、手順❶の操作をします)。

タイムシフトマシン	東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表が表示されます。
始めにジャンプ	東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表の番組を、簡単に番組の冒頭から見ることができます。
レグザメニュー（スタートメニュー）	東芝レコーダーのレグザメニューが表示されます（スタートメニューがある東芝レコーダーの場合は、スタートメニューが表示されます）。
番組表	東芝レコーダーの番組表が表示されます。
録画番組一覧（見るナビ）	東芝レコーダーの録画番組一覧が表示されます（「見るナビ」または「見ながら選択」がある東芝レコーダーの場合は、「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます）。
録画予約一覧	東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。
ブロードバンドメニュー	東芝レコーダーのブロードバンドメニューが表示されます。
クイックメニュー	東芝レコーダーのクイックメニューが表示されます。
画面表示	状態表示の表示／非表示を切り換えます。
ドライブ切換	ハードディスクとブルーレイ（またはDVD）を切り換えます。
入力切換	東芝レコーダーの入力を切り換えます。
電源	【決定】で電源の「入」、「待機」ができます。
トップメニュー	ディスク再生時に選ぶとディスクのトップメニューが表示されます。
ポップアップメニュー	ディスク再生時に選ぶとディスクのポップアップメニューが表示されます。
W録切換	W録選択を切り換えます。
設定メニュー	東芝レコーダーの設定メニューが表示されます。

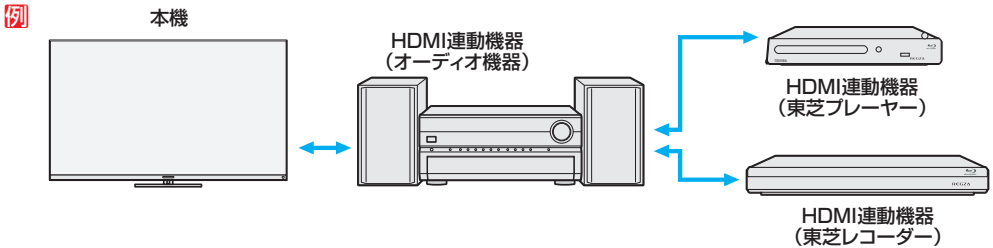
東芝レコーダー以外の機器

- 東芝レコーダー以外のレコーダーの場合の例を示します。
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。

・ **リンクメニュー**
・ **番組表**
・ **番組選択**
・ **予約一覧**
・ **セットアップメニュー**
・ **ドライブ切換**
・ **画面表示**
・ **電源**

HDMI連動機器に接続された機器

- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器操作メニューのメニューでさらに▼を押すと、オーディオシステムの機器操作メニューが表示されます。
- オーディオシステムの機器操作メニューで▲を押すと、HDMI連動機器の機器操作メニューに戻ります。



本機のリモコンでできるおもな操作

● HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。

※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。

本機の リモコンボタン	動作の内容
▶/早見早聞	番組を再生します。
静止 ❚❚	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
■	録画や再生を停止します。
▶▶❙	一つ先に進んで頭出し再生をします。
❙◀◀	前に戻って頭出し再生をします。
▶▶	再生中に押すと早送り再生になります。
◀◀	再生中に押すと早戻し再生になります。
»	再生中に押すと少し先に進んで再生します。
«	再生中に押すと少し戻って再生します。
▲・▼・◀・▶	メニューなどで項目を選択します。

⇦トップにもどる

本機の リモコンボタン	動作の内容
決定	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
戻る	一つ前の操作に戻ります。
終了	操作を終了します。
青	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能を操作します。
赤	
緑	
黄	
＋ 音量 －	オーディオ機器の音量を調節します。
消音	オーディオ機器の音を消します。

オーディオ機器(オーディオシステム)で聴く

オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMIケーブルおよび光デジタルケーブルで接続します。eARC/ARC対応のオーディオ機器はeARC/ARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続し、光デジタルケーブルの接続は不要です。

お知らせ

- レグザリンク対応のオーディオ機器については、ホームページ(https://www.regza.com/support)をご覧ください。
- オーディオシステム音質連動対応のオーディオ機器については、ホームページ(https://www.regza.com/support)をご覧ください。

1 【操作/設定】を押し、操作メニューの「スピーカー出力切換」を選ぶ

- クイック設定に「スピーカー出力切換」が表示されない場合は、「クイック設定で表示する項目を編集する」≫で「スピーカー出力切換」を表示させてから選択します。

2 「オーディオシステム」または「光デジタル音声出力」を選ぶ

- 以下の場合に「オーディオシステム」が表示されます。
  - 本機と音声連携が可能なオーディオ機器がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている(オーディオ機器のスピーカーから音声が出るようになっている)。
  - 「HDMI連動設定」が以下のように設定されている。

    HDMI連動機能を使用する場合

    「HDMI連動機能」… 使用する

    「オーディオシステム音質連動」…「スピーカー・音質連動」または「スピーカー連動」

    HDMI連動機能を使用しない場合

    「HDMI連動機能」… 使用しない

    「オーディオシステム音質連動」…「スピーカー・音質連動」または「スピーカー連動」

    「eARCモード」… オン
- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビスピーカー」を選びます。

3 音量を調節する

- レグザリンク対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

※ HDMI CECによる連動機能が動作しない状態でeARCによってオーディオ機器で音を聞く場合は、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができません。

テレビとオーディオシステムから同時に音声を出力する(シンクロドライブ)

- 本機のスピーカーの高音域とオーディオシステムから同時に音声を出力します。
- 以下の場合にシンクロドライブが使用できます。
  - シンクロドライブ対応のオーディオシステムがHDMI入力2 (eARC/ARC)端子に接続されていて、動作状態になっている。
  - Bluetooth®接続でBluetooth®スピーカーを接続していない。
  - ヘッドホンを接続していない。

※ シンクロドライブが動作している場合は、【画面表示】を押すと下記のようなアイコンが表示されます。

※シンクロドライブ対応機器については下記ホームページ(https://www.regza.com/support)をご確認ください。

1 【操作/設定】を押し、操作メニューの「スピーカー出力切換」を選ぶ

- クイック設定に「スピーカー出力切換」が表示されない場合は、「クイック設定で表示する項目を編集する」≫で「スピーカー出力切換」を表示させてから選択します。

2 「シンクロドライブ」を選ぶ

3 音量を調節する

- レグザリンク対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

ゲーム機に合わせた設定をする

ゲーミングメニューを使う

- 「ゲーミングメニュー」では、ゲーム機のための各種映像設定にアクセスできます。
- 「ゲーミングメニュー」は、「映像メニュー」が「ゲーム」または「Dolby Vision IQ」(コンテンツタイプがゲームのとき)のときに選択できます。

1 【操作/設定】を押し、「ゲーミングメニュー」を選ぶ

- ゲーミングメニューが表示されます。
- 【画面表示】を押すと、信号情報の表示/非表示を切り換えられます。

※ 信号情報は、【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「信号フォーマット詳細表示設定」を選んで「オン」に設定すると表示されます。

2 ◀・▶で設定項目を選び、▲・▼で設定を変更する

- 以下の設定を変更できます。
  - 「ゲームセレクト」≫
  - 「明るさ検出」≫
  - 「画面の明るさ」≫
  - 「暗部ガンマ調整」≫
  - **照準表示**
    照準の表示/非表示を切り換えます。
    ※ 画面サイズセレクト動作中、調整中は照準表示は表示されません。
  - 「画面サイズセレクト」≫
  - 「2画面」≫
  - **詳細設定**
    【決定】を押すと詳細設定メニューが表示されます。

詳細設定

● 詳細設定メニューでは、以下の項目を設定できます。

- **自動ゲーム機器設定** ≫「自動でゲームモードに切り換える」
- **ALLM設定** ≫「自動で遅延時間を短縮する設定にする」
- **コンテンツタイプ連動** ≫「HDMI入力の画質が自動設定されるようにする」
- **RGBゲーム設定** ≫「RGB入力時にゲームモードに切り換える」
- **VRR設定** ≫「VRR/AMD FreeSync™ Premium信号の入力設定をする」
- **照準カラー**
  照準の色を「赤」、「緑」、「白」から選択できます。
- **照準サイズ**
  照準のサイズを「大」、「小」から選択できます。
- **照準タイプ**
  照準のデザインを3種類から選択できます。
- **照準位置**
  照準の位置を設定できます。

ホームネットワークについて

- ホームネットワーク(家庭内LAN)に本機と、ネットワークメディアサーバーやDTCP-IP対応の東芝製テレビ/レコーダーなどを接続し、動画、音楽、写真や録画した放送番組を再生して楽しむことができます。

ネットワークメディアプレーヤー

- 本機はネットワークメディアプレーヤー（動画/音楽/静止画)です。
  ネットワークメディアサーバーが公開しているコンテンツを本機で視聴することができます。≫「動画を再生する」
  ※ 本機に搭載されているメディアプレーヤー機能はDTCP-IPに対応していません。

DTCP-IPとは

- DTCP-IP(「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略)は、ネットワーク上のデジタル放送などの著作権保護付データを配信するための規格です。この規格に対応すれば、著作権保護付データ(たとえば、1世代だけ録画が許された番組など)をホームネットワーク上で扱うことができます。また、ホームネットワーク外へのデータ伝送を禁止することで、著作権保護付データを保護します。

DTCP-IP対応プレーヤー

- 本機はDTCP-IP対応プレーヤー機能を搭載しています。
- ホームネットワーク上のDTCP-IP対応の東芝製テレビ/レコーダーなどに録画されている放送番組を本機で視聴することができます。
  - 録画リストから再生する場合　≫「ホームネットワーク機能を使う」
  - 過去番組表から再生する場合　≫「タイムシフトリンク機能を使う」

  ※ ホームネットワーク上のネットワークメディアサーバーが公開しているDTCP-IPで保護されていない動画コンテンツを視聴する場合は、メディアプレーヤー機能をご利用ください。　≫「動画を再生する」
  ※ 4K放送の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。

DTCP-IP対応サーバー

- 本機はDTCP-IP対応サーバー機能を搭載しています。
- 本機に接続されたUSBハードディスクに録画されている放送番組を、ホームネットワーク上のDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴することができます(本機からの配信数は一つです)。
  - ※ 4K放送の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。
  - ※ すべてのDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビが、本機のホームサーバー機能で配信する録画番組を再生できるわけではありません。
  - ※ 本機がネットワークメディアサーバー（動画)として公開するコンテンツは、録画した一部の放送番組に限定されます。

ダビングについて

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を、DTCP-IP方式で著作権を保護しながらDTCP-IP対応サーバー（DTCP対応サーバー機能を持つNASやレコーダーなど)に本機の操作でダビングすることができます。
  ダビングした番組は、他のDTCP-IP対応テレビで視聴することができます。
  - ※ ダビング時の動作は番組のコピー制御情報に従います。機器によってはダビングできない場合があります。
  - ※ ダビング後のコンテンツでは、再生時間の表示がずれる場合があります。
  - ※ 4K放送の録画番組はダビングができません。

スマートフォンやタブレットPC（レグザAppsコネクト）

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。

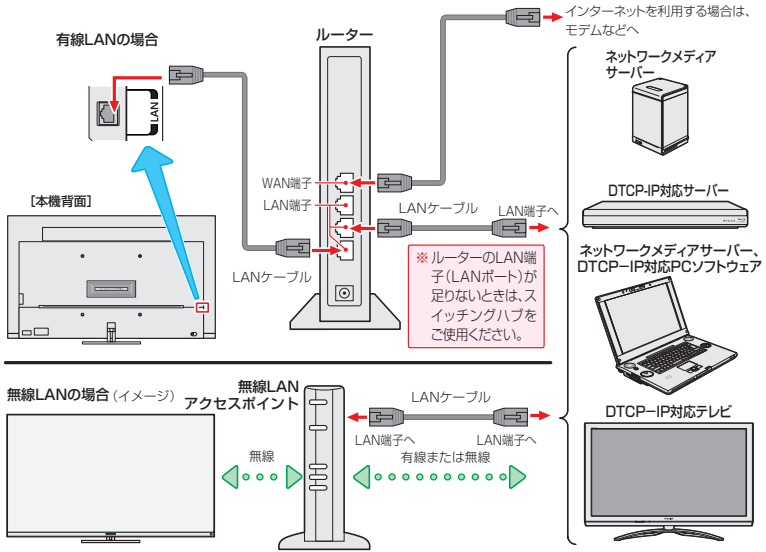
お知らせ

- ネットワークメディアサーバーが公開している一部のコンテンツ(本機対応フォーマット以外のコンテンツなど)は再生できないことがあります。
- 複数のサーバーを接続した場合、2台目以降の機器が機器選択の画面に表示されるまでに15分程度の時間がかかることがあります(機器選択画面を終了させて、もう一度機器選択画面を出すと表示されることもあります)。
- 本機のご使用環境や動作状態によっては、配信の映像が乱れたり、配信できないことがあります。その場合、不要な動作があれば、それを中止してみてください。

ホームネットワークの接続・設定をする

機器を接続する

● 有線LANのブロードバンドルーターの場合は、本機と機器を接続します。無線LANアクセスポイントの場合は、本機を無線LANで接続する設定をします（有線LANか無線LANのどちらかを選びます。両方を同時に使用することはできません）。



お知らせ

● 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントおよび本機の設定を見直すか、有線LANで接続してください。

● すべての無線LANアクセスポイントでの接続を保証するものではありません。

● 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。

● 無線LANをご使用の場合、セキュリティが「Open System」で通信データが暗号化されていないときは、デジタル放送などの著作権保護付データをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのデータを取り扱う場合も、無線LANの通信データが暗号化されるようにセキュリティ設定を見直すことを強く推奨します。

機器のネットワーク設定を確認する

- 「アドレス設定(IPv4)」の「IPアドレス」、「DNSアドレス」ともに「自動取得」で使用する前提です。「IPv6接続」が「利用する」の場合は、IPv6のIPアドレス、DNSアドレスは自動的に取得されます。
- 接続機器側でMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、本機からのアクセスを許可するように設定してください。本機のMACアドレスは、「ネットワーク情報」≫で確認できます。
- 本機で接続機器のネットワーク設定はできませんので、あらかじめルーターや接続機器側で設定してください(ルーターや接続機器の取扱説明書をご覧ください)。

❶ ルーター、ネットワーク接続機器、本機の順に電源を入れる

❷ 「ネットワーク情報」の操作で「アドレス情報(ＩＰｖ４)」の「ＩＰアドレス」を確認する

- **ホームネットワーク接続機器のIPアドレスは、プライベートアドレス(下表の範囲のどれか)でなければなりません。**

区分	使用できるアドレスの範囲
A	10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
B	172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
C	192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

- 本機でインターネットにアクセスする場合、双方向サービス、クラウドサービスなどを利用する場合は、ご使用のインターネット接続環境によっては本機のアドレスをグローバルアドレスに設定し直す必要があります。

❸ 「ＩＰｖ６接続」が「利用する」の場合は、「ネットワーク情報」の操作で「アドレス情報(ＩＰｖ６)」の「アドレス」も確認する

接続機器を本機から起動するための設定をする　～リモート電源オン機能～

- ネットワーク接続での起動(Wake on LAN)に対応した機器を相互に登録しておくと、番組再生などの際に接続機器または本機が起動していないときに本機または接続機器の操作で相手の機器を起動する(電源を入れる)ことができます。
- 対象の機器を接続して電源を入れ、以下の操作をします。

※ 接続機器(Wake on LAN対応機器)側でも以下と同様の設定をしてください(接続機器の取扱説明書をご覧ください)。
  - 本機のデバイスネームについては「本機の名称」≫を参照してください。本機のMACアドレスは「ネットワーク情報」≫の操作で確認することができます。

本機のリモート電源オン機能を設定する

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「リモート電源オン設定」の順に進む

2 「外部機器から電源オン」を選ぶ

3 使用方法を以下から選ぶ
- **受け付ける(高速)**…Wake on LANやそれ以外の機能を利用して本機を起動させたい場合に設定します。「受け付ける(標準)」に設定した場合より、高速に起動できるようになります。
- **受け付ける(標準)**…Wake on LAN対応機器から本機を起動できるようになります。
- **受け付けない**……ネットワーク接続機器から本機を起動させる機能を使用しません。

※ 本機が待機中に接続機器(Wake on LAN対応機器)側から本機を起動してホームサーバー機能を利用する場合には「受け付ける(標準)」、「受け付ける(高速)」のいずれかに設定してください。

ご注意

- 「受け付ける(標準)」に設定すると、待機時の消費電力が若干増えます。
- 「受け付ける(高速)」に設定すると、待機時の消費電力が増えます。

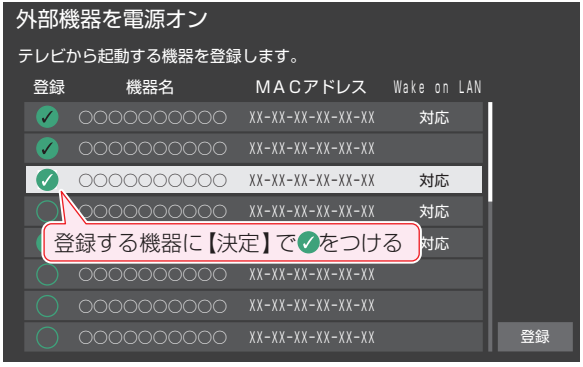
本機から起動する機器を登録する

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「リモート電源オン設定」⇨「外部機器を電源オン」の順に進む

- 「外部機器を電源オン」の画面が表示されます。対象機器がない場合は、内容が空欄になります。

2 本機から起動する機器を選ぶ(登録する)

- 【決定】を押すたびに「✓」と「○」が交互に切り換わります。
  本機から起動する機器に「✓」をつけます。
- 「Wake on LAN」の欄の「対応」は、対応機器として本機が認識できた場合に表示されます。対応機器であっても本機が認識できない場合は表示されません。



3 選択が終わったら、「登録」を選ぶ

お知らせ

- 録画リストの機器選択の際に、リストで機器を選んだ状態で▶を押すと、「外部機器を電源オン」の登録/登録削除を切り換えることができます。

接続機器から本機を操作するための設定をする　～外部連携機能～

レグザAppsコネクトの設定

- スマートフォンやタブレットPCなどの端末機器と本機をホームネットワークに接続し、端末機器で本機やネットワーク内のレグザAppsコネクト対応機器を操作することができます。
- 本機のレグザAppsコネクト機能を使う場合は、以下の設定をします。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「レグザAppsコネクト設定」の順に進む

2 設定する項目を選ぶ

レグザAppsコネクト

- レグザAppsコネクトを利用するか利用しないかを設定します。

❶ 「利用する」または「利用しない」を選ぶ

デバイス名設定

- レグザAppsコネクトで、他の機器で本機を識別する名称を設定します。

❶ 【決定】を押し、新しい名称を入力する

- 15文字以内で設定します。使用できる文字は半角英数字と「－(ハイフン)」です。
- 文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。

⇦トップにもどる

本機の名称

- ホームネットワークに接続された機器から本機を識別するための情報(デバイスネーム)を設定することができます。
- お買い上げ時は本機の形名(例:REGZA-XXXXXXX)に設定されています。(XXXXXXXは本機の形名)

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「本機の名称」の順に進む

2 【決定】を押し、文字入力画面で新しい名前を入力する

- 文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。
- 32文字以内で設定します。使用できる文字は半角英数字と「ー(ハイフン)」、「_(アンダースコア)」です。

ご注意

- ネットワーク接続された外部機器から本機のデバイスネームを設定した場合、「本機の名称」では設定できない日本語等の文字が設定できる場合があります。本機のネットワーク機能を利用する接続機器との互換性の問題が起きないように、日本語などの全角文字を設定しないことをおすすめします。
- ネットワーク接続された外部機器から「本機の名称」では設定できない長いデバイスネームを設定できる場合があります。本機のネットワーク機能の互換性を保つために、一部の機能では「本機の名称」に設定されている値を切り詰めて利用する場合があります。

ホームサーバー機能の設定をする

- 本機のサーバー機能を使うと、本機に接続されたUSBハードディスクの録画番組を、ホームネットワーク上のDTCP-IP対応PCソフトウェアやDTCP-IP対応テレビなどで視聴することができます。
  ※ 4K放送の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。また、4K放送以外でも一部の録画番組が視聴できないことがあります。
- 本機のサーバー機能を使う場合は、以下の設定をします。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「サーバー機能設定」の順に進む

2 設定する項目を選ぶ

サーバー機能

- 本機のサーバー機能の使用方法を設定します。

❶ **設定を以下から選び、【決定】を押す**

- **使用する(常時)**…… 本機の電源が「待機」のときにもサーバー機能を使用できます。
- **使用する(標準)**…… 本機の電源が「待機」の場合、配信や録画およびダビングをしていない状態が30分間続くとサーバー機能が停止し、そのあと電源を入れるまで配信できなくなります。
- **使用しない**…… サーバー機能を使用しません。

- サーバー機能を使用する場合、ネットワーク環境によってはセキュリティ上の問題が起こる可能性があります。状況に応じて、次の「アクセス制限」および「アクセス機器の登録」の設定をしてください。

⇦トップにもどる

アクセス制限

● 本機にアクセスできる機器(DTCP-IP対応PCソフトウェア、DTCP-IP対応テレビ)を制限するかしないかを設定します。

※ 「制限しない」に設定した場合、無線LAN環境や他の人の機器が接続されている可能性があるネットワークでは、私的使用の範囲を超えて録画番組が他の人に公開されるおそれがあります。ネットワークの安全が確認できない場合には、「制限する」に設定します。

❶ 設定を以下から選ぶ

- **制限しない**…ネットワーク上のすべての機器からアクセスできます。
- **制限する**……次の「アクセス機器の登録」で登録した機器でだけアクセスできます。

アクセス機器の登録

● 「アクセス制限」を「制限する」に設定した場合、本機にアクセスする機器を登録または解除します。

● 機器はMACアドレスで特定されます。機器のMACアドレスの確認方法は、機器の取扱説明書でご確認ください。

❶ 機器を選び、【決定】を押す

● 【決定】を押すたびに、「✓」と「◯」が交互に切り換わります。登録には「✓」をつけます。

❷ 登録・解除の設定がすべて終わったら、「登録」を選ぶ

視聴制限番組の配信

● 視聴制限番組を配信するかしないかを設定します。

❶ 数字ボタン【1】～【10】で暗証番号を入力する

❷ 設定を以下から選ぶ

- **配信しない**…視聴制限番組はネットワーク上の機器に配信されません。
- **配信する**……視聴制限番組をネットワーク上の機器に配信します。

ホームネットワーク機能を使う

DTCP-IP対応サーバーが公開している録画番組を視聴する

● ホームネットワークに接続したDTCP-IP対応サーバーが公開している録画番組を、録画リストから視聴することができます。

1 録画リストを表示させる(≫「録画した番組を再生する」)

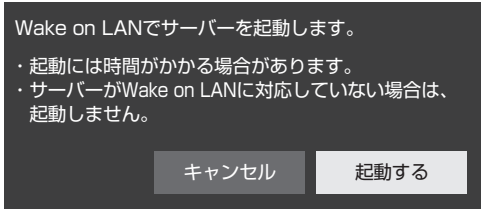
2 「選択中の機器」を選び、「ネットワークサーバー」に表示される機器を選択する

3 フォルダを選択し、見たい番組を選んで【決定】を押す

● 選んだ番組の再生が始まります。

再生時の機器選択について

● 録画リストの機器選択の際に、登録した機器が起動していない場合は「機器選択」の画面に薄くなって表示されます。
その機器を選択して【決定】を押すと起動確認画面が表示されます。



● 確認画面で、「起動する」を選んで【決定】を押すと、機器を起動することができます。
- 登録した機器がWake on LANに対応していない場合は起動できません。
- 登録した機器がWake on LANに対応していても、機器の状態によって起動できないことがあります。

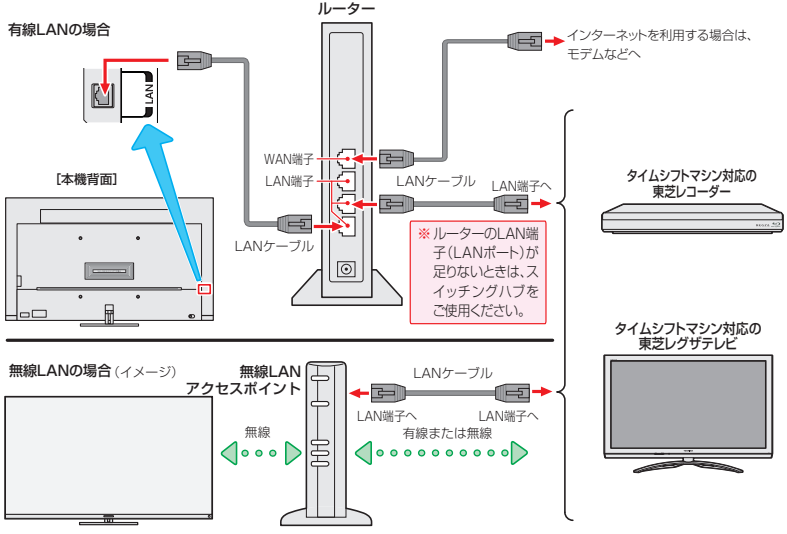
タイムシフトリンク機能を使う

● タイムシフトリンク機能は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機で再生したり操作したりできる機能です。

※ タイムシフトリンク機能を利用するには、ホームネットワークでの接続と設定、およびタイムシフトリンク機能の設定が必要です。

機器の接続と設定をする

● タイムシフトリンク機能で操作する機器を接続し、登録します。



● タイムシフトリンク機能で連携する機器の電源を入れて、サーバー機能の設定をしてから、以下の操作をしてください。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「機器の登録」の順に進む)

(X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S)

【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「機器の登録」の順に進む)

(X990S Z990S Z890S)

2 タイムシフトリンク機能で使用する機器を選ぶ

● 選んだ機器のタイムシフトマシン録画番組を、過去番組表に表示したり、再生したりできます。

※ 選んだ機器のネットワークの状態や接続を変更したときに、本機でタイムシフトリンク機能を使用する機器として認識できなくなった場合は、上記の操作で再度機器を選んでください。

※ 「使用しない」を選んだ場合は、タイムシフトリンク機能は働きません。

タイムシフトリンク機能でできること

- タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器のタイムシフトマシン録画番組を、過去番組表に表示したり、ざんまいスマートアクセスで楽しんだりできます。

※ 製品同梱の取扱説明書記載「タイムシフトリンク機能の接続・設定をする」の「タイムシフトリンク機能を使う設定をする」の操作をした直後は、タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器からの過去番組表の表示には時間がかかります。

X990S Z990S Z890S

- 以下を除き、本機のタイムシフトマシン録画で録画した番組と同様の操作ができます。
  - 番組の情報を表すアイコン表示
  - 連ドラ予約
  - 保存

※ タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器のざんまいスマートアクセスのサムネイルは、番組種別の画像で表示されます。

※ タイムシフトリンク機能を使うための接続（製品同梱の取扱説明書記載「タイムシフトリンク機能の接続・設定をする」）以外にHDMIでも接続されている場合は、「始めにジャンプ」ができます。

※ 本機およびタイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器の状態によっては、上記以外の操作でも本機と同様の操作ができない場合があります。

本機のタイムシフトマシン録画番組

タイムシフトリンク機能で選んだタイムシフトマシン録画番組

※ タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器が、放送中のタイムシフトマシン録画番組を配信できない場合、放送中の番組は表示されません。

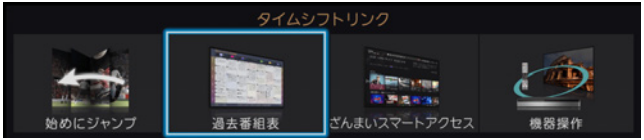
- 本機およびタイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器のリモート電源の設定によって、再生時に自動的に電源を入れることもできます。
- タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器が、放送中のタイムシフトマシン録画番組を配信できる場合、番組視聴中に「始めにジャンプ」≫、「ちょっとバック」≫、「ちょっとタイム」≫ができます。

※ タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器から、定期的に番組情報を取得しているため、操作するタイミングによっては、再生できない場合があります。

X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S

1 【タイムシフトリンク】を押す

● タイムシフトリンクメニューが表示されます。



● 本機およびタイムシフトリンク機能で選んだ機器のリモート電源の設定によって、再生時に自動的に電源を入れることもできます。

2 操作するメニューを選ぶ

※ 「機器操作」は、HDMIケーブルも接続していて、「HDMI連動機能」が有効のときに操作できます。

タイムシフトリンクで録画番組を見る

X770S　ZX1S/ZX2S　ZX3S　Z770S

● タイムシフトリンク機能で選んだ機器の過去番組表を表示させ、タイムシフトマシン録画番組を選びます。

1 【タイムシフトリンク】を押し、「過去番組表」を選ぶ

● タイムシフトマシン録画の過去番組表が表示されます。

● タイムシフトリンク機能で選んだ機器によっては、録画中の番組（放送中の番組）は表示されません。
● テレビの状態によっては、日時の古い番組が表示されないことがあります。
※ グレーに表示されている番組は、「過去番組表を更新する」≫の操作をすると表示される場合があります。

2 見たい番組を選ぶ

● 以降は、「タイムシフトマシン録画番組を見る」の「基本操作」≫の手順**2** 以降と同じです。
● 再生中には、「タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作」≫と同様のリモコン操作ができます。

ご注意

- 「タイムシフトリンク機能」が「使用しない」になっているとき、またはHDMIケーブルだけで接続しているときは、タイムシフトマシン対応の東芝レコーダーの過去番組表が表示されます。
  その場合の過去番組表の操作は、東芝レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- タイムシフトリンク機能を使って本機が表示する過去番組表は、タイムシフトリンク機能で選んだ機器の情報を基に本機が作成した過去番組表になります。
  タイムシフトマシン搭載の東芝レコーダーが表示する過去番組表とはデザイン、レイアウトが異なります。
- 表示できる番組数には制限があります。日時の古い番組は表示されないことがあります。
- タイムシフトリンク機能で選んだ機器が自動削除をしている時間帯の番組は、再生できなかったり途中からの再生になったりします。

過去番組表を便利に使う

- 過去番組表の表示中に、以下のような操作ができます。
  - 「週間過去番組表を表示させる」≫
  - 「操作メニューを使って操作する」≫
  - 「頭出し再生」≫
  - 「文字サイズ変更」≫
  - 「表示チャンネル数設定」≫

「番組検索」で見たいタイムシフトマシン録画番組を探す

- タイムシフトマシン録画された番組の中から、見たい番組を探して視聴することができます。

❶ 【操作/設定】を押し、「番組検索」を選ぶ

❷ 検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

❸ 検索条件を指定する

- 「日付」と「チャンネル」以外の指定方法は、「条件を絞りこんで番組を探す」≫の手順 *4* と同じです。

⇦トップにもどる

※ 過去番組表で番組検索する場合、「ジャンル」の「サブジャンル」は「ゴルフ」、「サッカー」、「野球」、「相撲・格闘技」、「競馬・公営競技」、「ショッピング・通販」、「グルメ・料理」、「天気」、「交通」の検索ができます。他の「サブジャンル」は、タイムシフトリンク機能で選んだ機器によっては検索できません。

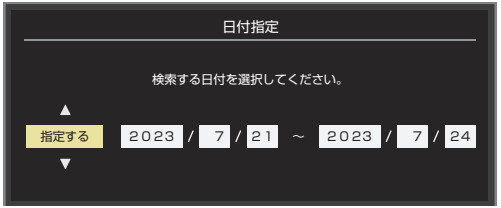
■「日付」を指定するとき

① 「日付」を選ぶ

② ◀・▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ

③ ◀・▶で欄を移動し、検索範囲の開始〜終了の年、月、日を▲・▼で選ぶ

④ 指定が終わったら、【決定】を押す



■「チャンネル」を指定するとき

① 「チャンネル」を選ぶ

② お好みのチャンネルを選ぶ

- タイムシフトマシン録画チャンネルの中から、お好みのチャンネルまたは「すべて」が指定できます。

❹ 「検索開始」を選ぶ

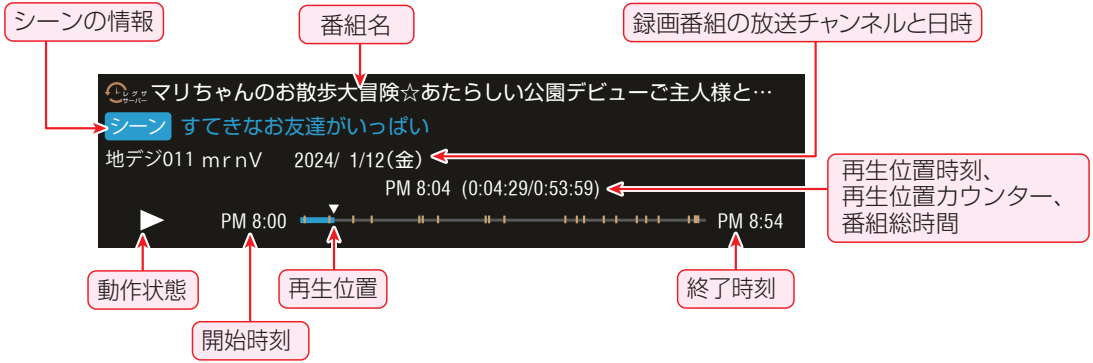
- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

❺ 「番組検索結果」画面からお好みの番組を選ぶ

- 再生が始まります。

番組情報やタイムバーを表示させる

- タイムシフトマシン再生中に【画面表示】を押すと、画面左下に番組情報やタイムバーが表示されます。
- 停電や「タイムシフトマシン録画の一時停止」などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。



システムをメンテナンスする

X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S

● 本機のシステムメンテナンスを行います。システムメンテナンスをすることで、本機システム内のデータが整理され、効率的に動作するようになります。

毎日自動的に実行する

● 設定した時刻に毎日自動的に本機システムメンテナンスが実行されます。

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「システムメンテナンス」⇨「システムメンテナンス時間」の順に進む

❷ ◀·▶で「時」、「分」の欄を選び、開始時刻を設定する

● 開始時刻は10分単位で設定できます。システムメンテナンスの所要時間は約10分間です。

❸ 設定が終わったら、【決定】を押す

手動で今すぐ実行する

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「システムメンテナンス」⇨「システムメンテナンスの実行」の順に進む

❷ 「はい」を選び、【決定】を押す

● 本機の電源がいったん切れてから「入」になり、システムメンテナンスが開始されます。

● システムメンテナンスが終了するまでの約10分間は操作できません。

過去番組表を更新する

● タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器の過去番組表を更新します。

1 過去番組表を表示中に【操作/設定】を押す

2 「番組情報の取得」を選ぶ

● 番組情報の取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に【操作/設定】を押し、操作メニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

タイムシフトリンク省エネ設定をする

● タイムシフトリンクを使用しているときの、省エネ設定をします。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「省エネ設定」の順に進む
（X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S）

【操作/設定】を押し、「設定」⇨「タイムシフトマシン設定」⇨「タイムシフトリンク設定」⇨「省エネ設定」の順に進む
（X990S Z990S Z890S）

2 「オン」または「オフ」を選ぶ

- **オン**……省エネ設定が働き、電源が「入」のときだけタイムシフトリンク機器から番組情報を取得します。電源を「入」にした直後は、タイムシフトリンク機器からの番組情報が表示されないことがあります。
- **オフ**……省エネ設定を解除し、電源が「待機」のときでもタイムシフトリンク機器から番組情報を取得します。

⇦トップにもどる

接続機器を使う ― 動画 / 音楽 / 写真を再生する ―

■ USB 機器を接続する

機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする
電源待機中の USB の電源供給の設定をする

■ 動画を再生する

動画再生の操作
動画再生時にできるリモコン操作
サムネイル画面表示中の操作
動画の音声を切り換える
動画の字幕を切り換える
動画の表示サイズを切り換える
動画のくり返し再生方法を設定する
動画ファイルの情報を見る
プレイリストを見る
動画再生速度を変更する

■ 音楽を再生する

音楽再生の操作
音楽再生時にできるリモコン操作
音楽ファイルの情報を見る
プレイリストを見る

■ 写真を再生する

写真再生の操作
写真再生時にできるリモコン操作
リモコン操作で写真を見る
自動的に順番に再生する（スライドショー）
サムネイル画面表示中の操作
写真を回転する
写真の拡大表示を行う
写真表示切り替え時のアニメーションを設定する
BGM(バックグラウンドミュージック) のプレイリストを設定する
写真の表示サイズを切り換える
写真の繰り返し再生方法を設定する
写真のスライドショーの間隔時間を設定する
写真ファイルの情報を見る
写真ファイルのキー情報を写真の表示と同時に表示する
プレイリストを見る

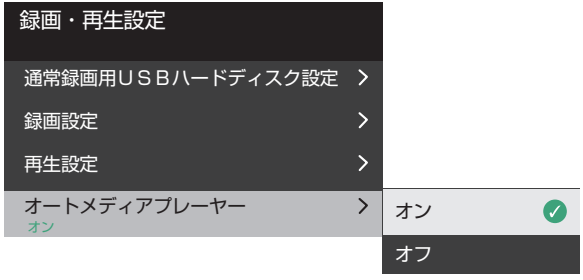
USB機器を接続する

● USB機器に保存されている動画や写真を本機で見ることができます。
※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。

機器の接続時に操作メニューが表示されるようにする

● 「オートメディアプレーヤー」を「オン」に設定しておくと、放送番組や外部入力の視聴時にUSBメモリーなどを挿入したときに、操作の選択メニューが表示されます(お買い上げ時は「オン」に設定されています)。
※ USBメモリーなどを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送番組・外部入力の視聴以外の操作をしているときにUSBメモリーなどを挿入した場合には、オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「録画・再生設定」⇨「オートメディアプレーヤー」の順に進む**



2 **「オン」または「オフ」を選ぶ**

- **オン** ……オートメディアプレーヤーの画面が表示されます。
- **オフ** ……オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

⇦トップにもどる

電源待機中のUSBの電源供給の設定をする

● 本機が電源待機中に、接続しているUSB機器に電源を供給するかの設定を変更できます。
※ この設定は録画用USBハードディスク端子の電源供給には影響しません。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「待機中ＵＳＢ電源供給」の順に進む

2 「する」または「しない」を選ぶ

- **する**……電源待機中も接続したUSB機器へ電源を供給します。
  ※ 待機中の消費電力も増えます。
- **しない**……電源待機中はUSB機器へ電源を供給しません。

動画を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている動画を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書記載の「USB機器を接続する」、「ホームネットワークの接続･設定をする」≫をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、「本機で再生できるファイルのフォーマット」≫をご覧ください。

ご注意

- **再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。**
- **無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。**

お知らせ

- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- 再生しているコンテンツによっては利用できない機能がある場合があります。
- DTCP-IPサーバーの録画コンテンツを再生する場合は、「録画リスト」から再生してください。
- フォルダ内のコンテンツ数が制限値を超えるとフォルダ･コンテンツビューが表示できなくなります。
- レジュームポイントが記憶されている場合は、続きから再生されます。

動画再生の操作

- 記録メディアを接続してメディアプレーヤーの起動確認画面が表示された場合は、「はい」を選んで下記の手順3から操作します。

1 テレビの入力をメディアプレーヤーに切り換える

- 入力切換の方法は「外部入力の画面に切り換える」≫をご覧ください。
- 【ホーム】を押して表示されるホーム画面で「メディアプレーヤー」を選んでも切り換えることができます。

2 再生機器を選ぶ

⇦トップにもどる

3 再生する動画を選ぶ

- フォルダを選んで【決定】を押すと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。
- ≪/≫を押すとそれぞれ上/下ページに移動し、≪/≫を押すと左/右の端に移動します。
- ▲・≪/≫を長押しするとそれぞれすばやく一番上/一番下の行に移動できます。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、選択した動画を先頭にリスト内の動画の連続再生になります。

ファイルを並び替える

- 「▽」の「プルダウンメニュー」を選ぶと、並び替え方法のプルダウンが表示されます。並び替える方法(「名前」、「更新日」か「サイズ」)を選ぶと、ファイルを並び替えることができます。

表示の形式を切り換える

- 「☰」の「プルダウンメニュー」を選ぶと、表示形式のプルダウンが表示されます。現在の表示形式に応じて「リスト」か「グリッド」を選ぶと、グリッド表示からリスト表示に、あるいはリスト表示からグリッド表示に切り換わります。

動画/音楽/写真を切り換える

- 「◎」の「プルダウンメニュー」を選ぶと、メディア形式のプルダウンが表示されます。
  メディア形式を選ぶと、すべてのメディア/写真/動画/音楽に切り換えることができます。

プレイリストを作成する

- 「▤」を選び、「プレイリストを作成」を選びます。
  プレイリストに追加する動画ファイルを選択後に「▤」を選び、「再生」を選ぶと、選択された動画ファイルの再生が開始されます。

再生機器を切り換える

- カーソルが左端のファイルまたはフォルダーにあるとき◀を押すと接続機器のリストが表示されます。リストから機器を選び【決定】を押すと、再生機器を切り換えることができます。

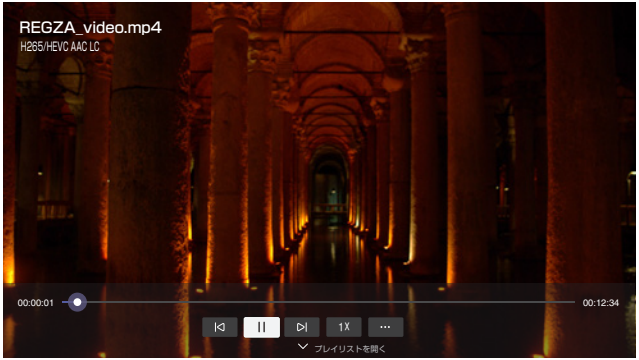
動画再生中断履歴を利用して動画を再生する

- 動画の視聴が中断された場合、ファイル/フォルダービューの動画再生中断履歴に動画がリストアップされます。
- 再生中断履歴の動画を選ぶと、中断したところより再生が始まります。
- 再生中断履歴の動画再生時には、1コンテンツリピートが選択できます。

⇦トップにもどる

動画再生時にできるリモコン操作

- 動画の再生中に【決定】を押すと再生が一時停止し、もう一度【決定】を押すと再生が再開されます。
- 動画の再生中に▲・▼・◀・▶を押すと再生コントロール画面が表示されます。操作したいアイコンを選び、【決定】を押すと動画を操作できます。



アイコン	内　容
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中は、表示が ▷ に切り換わります。
▷	再生を開始/再開します。 • 再生中は、表示が ❚❚ に切り換わります。
⏮	一つ前の動画の先頭にスキップして再生します。
⏭	次の動画の先頭にスキップして再生します。
1X	再生速度を変更します。
···	動画再生のメニューを表示します。

- 再生時間のコントロールバーにカーソルを合わせ、◀・▶を1回押すと、それぞれ10秒前または10秒後にジャンプし、≪・≫を1回押すとそれぞれ10秒前/30秒後にジャンプします。また、◀・▶/≪・≫を長押しして再生位置を選び【決定】を押すと、選択した再生位置にジャンプします。

サムネイル画面表示中の操作

- 再生コントロール画面を表示中に▼を押すとサムネイル画面が表示されます。
- サムネイル画面を表示中に◀・▶でカーソルを移動し【決定】を押すと、選んだ動画を再生します。
- ≪・≫を押すとサムネールリストをそれぞれ左/右ページに移動します。
- しばらく操作をしないでいると、再生コントロール画面とサムネイルが消えます。

⇦トップにもどる

動画の音声を切り換える

1 再生コントロール画面を表示中に「…」を選び、「音声」を選ぶ

● 音声の種類がリスト表示されます。

2 どの言語を使用するかを選ぶ

動画の字幕を切り換える

1 再生コントロール画面を表示中に「…」を選び、「字幕」を選ぶ

● 字幕の種類がリスト表示されます。

2 どの字幕を使用するかを選ぶ

動画の表示サイズを切り換える

1 再生コントロール画面を表示中に「…」を選び、「ズームモード」を選んで【決定】を押す

2 表示サイズを選ぶ

動画のくり返し再生方法を設定する

1 再生コントロール画面を表示中に「…」を選び、「リピートモード」を選ぶ

2 再生方法を以下から選ぶ

- **リピートオフ**……繰り返し再生はしません。
- **1コンテンツリピート**……再生中の動画の再生を繰り返します。
- **リピート**……フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します。

動画ファイルの情報を見る

1 再生コントロール画面を表示中に「…」を選び、「情報」を選ぶ

● 再生中のファイルの情報が表示されます。

プレイリストを見る

1 再生コントロール画面を表示中に「…」を選び、「プレイリスト」を選ぶ

● 動画ファイルのプレイリストが表示されます。

動画再生速度を変更する

1 再生コントロール画面を表示中に「1X」を選ぶ

2 再生速度を選ぶ

● 選択された再生速度で再生されます。
● 動画データにより再生速度に誤差が生じたり、選択された速度で再生できない場合があります。

音楽を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている音楽を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書記載の「USB機器を接続する」、「ホームネットワークの接続･設定をする」≫をご覧ください。
- 本機で再生できる音楽のフォーマットについては、「本機で再生できるファイルのフォーマット」≫をご覧ください。

ご注意

- **再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。**
- **無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。**

お知らせ

- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- 再生しているコンテンツによっては利用できない機能がある場合があります。
- フォルダ内のコンテンツ数が制限値を超えるとフォルダ･コンテンツビューが表示できなくなります。

音楽再生の操作

- 記録メディアを接続してメディアプレーヤーの起動確認画面が表示された場合は、「はい」を選んで下記の手順**3** から操作します。

1 テレビの入力をメディアプレーヤーに切り換える

- 入力切換の方法は「外部入力の画面に切り換える」≫をご覧ください。
- 【ホーム】を押して表示されるホーム画面で「メディアプレーヤー」を選んでも切り換えることができます。

2 再生機器を選ぶ

3 再生する音楽を選ぶ

- フォルダを選んで【決定】を押すと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。
- ⌃/⌄を押すとそれぞれ上/下ページに移動し、≪/≫を押すと左/右の端に移動します。
- ▲・⌃/⌄を長押しするとそれぞれすばやく一番上/一番下の行に移動できます。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、選択した音楽ファイルを先頭にリスト内の音楽ファイルの連続再生になります。

ファイルを並び替える

- 「▽」の「プルダウンメニュー」を選ぶと、並び替え方法のプルダウンが表示されます。並び替える方法(「名前」、「更新日」か「サイズ」)を選ぶと、ファイルを並び替えることができます。

表示の形式を切り換える

- 「☰」の「プルダウンメニュー」を選ぶと、表示形式のプルダウンが表示されます。現在の表示形式に応じて「リスト」か「グリッド」を選ぶと、グリッド表示からリスト表示に、あるいはリスト表示からグリッド表示に切り換わります。

動画/音楽/写真を切り換える

- 「◎」の「プルダウンメニュー」を選ぶと、メディア形式のプルダウンが表示されます。
  メディア形式を選ぶと、すべてのメディア/写真/動画/音楽に切り換えることができます。

プレイリストを作成する

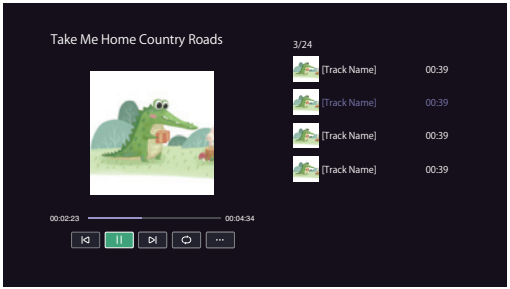
- 「☰」を選び、「プレイリストを作成」を選びます。
  プレイリストに追加する音楽ファイルを選択後に「☰」を選び、「再生」を選ぶと選択された音楽ファイルの再生が開始されます。

再生機器を切り換える

- カーソルが左端のファイルまたはフォルダーにあるとき◀を押すと接続機器のリストが表示されます。リストから機器を選び【決定】を押すと、再生機器を切り換えることができます。

音楽再生時にできるリモコン操作

● 音楽再生中には再生コントロール画面と曲名リストが表示されます。操作したいアイコンを選び、【決定】を押すと音楽ファイルを操作できます。カーソルが曲にあるとき⋀・⋁を押すと曲のリストをそれぞれ上/下ページに移動できます。



アイコン	内　容
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中は、表示が ▷ に切り換わります。
▷	再生を開始/再開します。 • 再生中は、表示が ❚❚ に切り換わります。
▷❚	次の曲の先頭にスキップして再生します。
❚◁	一つ前の曲の先頭にスキップして再生します。
⟲	繰り返し再生の設定を変更します。【決定】を押すごとに、リピートオフ→リピート→1コンテンツリピート→シャッフル→…の順で設定が切り換わります。
···	音楽再生のメニューを表示します。

● 再生時間のコントロールバーにカーソルを合わせ、◀・▶を一回押すと、それぞれ10秒前または10秒後にジャンプし、≪・≫を1回押すとそれぞれ10秒前/30秒後にジャンプします。また、◀・▶/≪・≫を長押しするとそれぞれ前または後ろに連続でジャンプします。

⇦トップにもどる

音楽ファイルの情報を見る

1 再生中に「…」を選び、「情報」を選ぶ

● 再生中のファイルの情報が表示されます。

プレイリストを見る

1 再生中に「…」を選び、「プレイリスト」を選ぶ

● 音楽ファイルのプレイリストが表示されます。

写真を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバーに保存されている写真を本機で見ることができます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書記載の「USB機器を接続する」、「ホームネットワークの接続･設定をする」≫をご覧ください。
- 本機で再生できる写真のフォーマットについては、「本機で再生できるファイルのフォーマット」≫をご覧ください。

ご注意

- **再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。**
- **無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。**

お知らせ

- フォルダ内にサイズの大きい写真が複数ある場合や、サーバーからの転送速度が遅い場合、写真リストが表示されないことがあります。
- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
- 再生しているコンテンツによっては利用できない機能がある場合があります。
- フォルダ内のコンテンツ数が制限値を超えるとフォルダ･コンテンツビューが表示できなくなります。

写真再生の操作

- 記録メディアを接続してメディアプレーヤーの起動確認画面が表示された場合は、「はい」を選んで下記の手順**3**から操作します。

1 テレビの入力をメディアプレーヤーに切り換える

- 入力切換の方法は「外部入力の画面に切り換える」≫をご覧ください。
- 【ホーム】を押して表示されるホーム画面で「メディアプレーヤー」を選んでも切り換えることができます。

2 再生機器を選ぶ

3 再生する写真を選ぶ

- フォルダを選んで【決定】を押すと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。
- ≪/≫を押すとそれぞれ上/下ページに移動し、≪/≫を押すと左/右の端に移動します。
- ▲・≪/≫を長押しするとそれぞれすばやく一番上/一番下の行に移動できます。

ファイルを並び替える

- 「▽」の「プルダウンメニュー」を選ぶと、並び替え方法のプルダウンが表示されます。並び替える方法(「名前」、「更新日」か「サイズ」)を選ぶと、ファイルを並び替えることができます。

表示の形式を切り換える

- 「☰」の「プルダウンメニュー」にカーソルを合わせて【決定】を押すと、表示形式のプルダウンが表示されます。現在の表示形式に応じて「リスト」か「グリッド」を選ぶと、グリッド表示からリスト表示に、あるいはリスト表示からグリッド表示に切り換わります。

動画/音楽/写真を切り換える

- 「⊛」の「プルダウンメニュー」を選ぶと、メディア形式のプルダウンが表示されます。
  メディア形式を選ぶと、すべてのメディア/写真/動画/音楽に切り換えることができます。

プレイリストを作成する

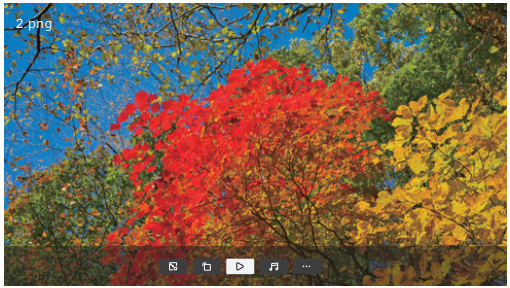
- 「☰」を選び、「プレイリストを作成」を選びます。
  プレイリストに追加する写真ファイルを選択後に「☰」を選び、「再生」を選ぶと選択された写真ファイルの再生が開始されます。

再生機器を切り換える

- カーソルが左端のファイルまたはフォルダーにあるとき◀を押すと接続機器のリストが表示されます。リストから機器を選び【決定】を押すと、再生機器を切り換えることができます。

写真再生時にできるリモコン操作

- 選択された写真は一画面に表示され、同時に写真コントロール画面も表示されます。
- 【戻る】を押すか数秒間操作なしで写真コントロール画面は消えます。
- 【決定】か▲･▼を押すと写真コントロール画面が再表示されます。



アイコン	内　容
▷	スライドショーを開始/再開します。 • スライドショー中は、表示が ⏸ に切り換わります。
⏸	スライドショーを一時停止します。 • 一時停止中は、表示が ▷ に切り換わります。
	写真の拡大率を変更します。
	写真を回転します。
	BGM(バックグラウンドミュージック)を設定します。
···	写真再生のメニューを表示します。

リモコン操作で写真を見る

- 写真コントロール画面が表示されてない状態で、◀･▶を押して前の写真や次の写真に切り換えられます。また、≪･≫を押してそれぞれ5枚前の写真/5枚後の写真に切り換えられます。

⇦トップにもどる

自動的に順番に再生する(スライドショー)

1 写真コントロール画面を表示中に「▷」を選ぶ

- スライドショー再生が開始されます。

サムネイル画面表示中の操作

- 写真コントロール画面を表示中に▼を押すとサムネイル画面が表示されます。
- サムネイル画面を表示中に◀·▶でカーソルを移動し、【決定】を押すと、選んだ写真を表示します。
- ≪·≫を押すとサムネイルリストをそれぞれ左/右ページに移動します。
- しばらく操作をしないでいると、写真コントロール画面とサムネイルが消えます。

写真を回転する

1 写真コントロール画面を表示中に「⟲」を選ぶ

- 【決定】を押すたびに、写真が右に90°ずつ回転します。

写真の拡大表示を行う

1 写真コントロール画面を表示中に「 」を選ぶ

- 【決定】を押すたびに、写真の拡大率が切り換わります。
- 拡大表示中は、▲·▼·◀·▶で写真表示範囲を移動できます。

写真表示切り替え時のアニメーションを設定する

1 写真コントロール画面を表示中に「 」を選び、「アニメーション」を選ぶ

- アニメーションの種類がリスト表示されます。

2 アニメーションの種類を選ぶ

BGM(バックグラウンドミュージック)のプレイリストを設定する

1 写真コントロール画面を表示中に「 」を選ぶ

- BGM設定画面が表示されます。

2 音楽ファイルを選択してゆき、選択が完了したら「選択したメディアファイルを再生する」を選ぶ

- BGMの再生が開始されます。
- 一時停止、リピートモードの変更もできます。

⇦トップにもどる

写真の表示サイズを切り換える

1 写真コントロール画面を表示中に「…」を選び、「ズームモード」を選ぶ

2 「フィット」または「元のサイズ」から選ぶ

写真の繰り返し再生方法を設定する

1 写真コントロール画面を表示中に「…」を選び、「リピートモード」を選ぶ

2 再生方法を以下から選ぶ

- **リピート**……繰り返し再生を行ないます。
- **リピートオフ**……繰り返し再生はしません。

写真のスライドショーの間隔時間を設定する

1 写真コントロール画面を表示中に「…」を選び、「間隔」を選ぶ

2 スライドショーの間隔時間を選ぶ

⇦トップにもどる

写真ファイルの情報を見る

1 写真コントロール画面を表示中に「…」を選び、「情報」を選ぶ

- 再生中のファイルの情報が表示されます。
- 写真情報の有無や正確さなどは、カメラやレンズ、写真を編集し保存したソフトウェアなどに依存します。

写真ファイルのキー情報を写真の表示と同時に表示する

1 写真コントロール画面を表示中に「…」を選び、「情報同時表示」を選ぶ

2 表示の文字サイズ(S、M、L)を選ぶ

- 以降、写真の表示と同時に写真のキー情報が表示されるようになります。
- 写真情報の有無や正確さなどは、カメラやレンズ、写真を編集し保存したソフトウェアなどに依存します。

プレイリストを見る

1 写真コントロール画面を表示中に「…」を選び、「プレイリスト」を選ぶ

- 写真ファイルのプレイリストが表示されます。

インターネットを楽しむ　— インターネットに接続する —

■ インターネットに接続するための設定をする

かんたんネットワーク設定
接続方法
無線 LAN 設定
アドレス設定（IPv4）
IPv6 接続
ネットワーク情報
接続テスト
ネットワーク設定の接続テスト結果について
ネットワークサービスの情報を初期化する

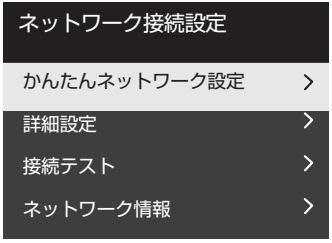
⇦トップにもどる

インターネットに接続するための設定をする

● お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 設定する項目を選ぶ



3 以降の手順で設定する

かんたんネットワーク設定

● はじめてネットワークの設定をするときや、ネットワークの設定をし直すときなどに、設定します。

有線LANの設定をする

● 有線LANの接続については、製品同梱の取扱説明書の「接続のしかた(有線LANの場合)」をご覧ください。

❶「有線LAN」を選ぶ

❷ 接続テストをする場合は「はい」を選ぶ

● 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、「接続テスト」≫をご覧ください。

● 「接続できませんでした。」と表示された場合は、LANケーブルの接続を確認してから、再度接続テストを行ってください。

❸「インターネットに接続できました。」と表示されたら、【決定】を押す

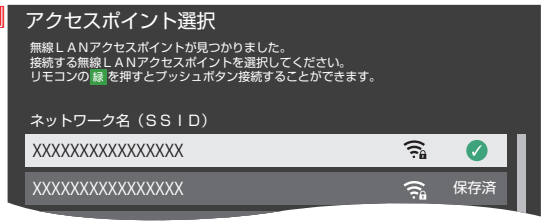
● 有線LANの設定は終了です。

無線LANの設定をする

❶「無線LAN」を選ぶ

- アクセスポイント選択画面が表示されます。

例



- 設定方法には、
  「アクセスポイント選択」≫、
  「プッシュボタン接続」≫、
  があります。接続する無線LANアクセスポイントに合わせて、設定方法を選びます。
- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

アクセスポイント選択

● 本機が使用可能な無線LANアクセスポイントを検出し、接続します。

① 表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を選ぶ

例

アクセスポイント選択

無線ＬＡＮアクセスポイントが見つかりました。
接続する無線ＬＡＮアクセスポイントを選択してください。
リモコンの 緑 を押すとプッシュボタン接続することができます。

ネットワーク名（ＳＳＩＤ）

XXXXXXXXXXXXXXXX

XXXXXXXXXXXXXXXX 保存済

② ①で選択した無線LANアクセスポイントのパスワードを入力する

例

アクセスポイント選択（パスワード入力）

この無線 LAN アクセスポイントに接続するためにはパスワードが
必要です。決定 を押して、パスワードを入力してください。
ご不明な場合はアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

ネットワーク名（ＳＳＩＤ）	XXXXXXXXXXXXXXXX
パスワード	**********

● 選択先によっては下記の表示になることがあります。

例

ネットワーク名（ＳＳＩＤ）	:	XXXXXXXXXXXXXXXX
セキュリティ	:	Open System
パスワード	:	
キーインデックス	:	1

⇦トップにもどる

- パスワードについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 文字入力の方法は、「文字を入力する」≫をご覧ください。

③ **「設定完了」を選ぶ**

④ **設定内容を確認し、【決定】を押す**

例

無線ＬＡＮ設定完了

以下のとおり無線 LAN の設定をおこないました。

ネットワーク名（ＳＳＩＤ）	:	XXXXXXXXXXXXXXXX
セキュリティ	:	WPA3
パスワード	:	**********

プッシュボタン接続

- 「接続ボタン」が押され使用可能になった無線LANアクセスポイントを本機が検出し、接続します。

① **【緑】を押す**

② **無線LANアクセスポイントの接続ボタンを押す**

- 本機がアクセスポイントを検出し、接続します。
- 接続に成功すると、設定内容が表示されます。

③ **設定内容を確認し、【決定】を押す**

例

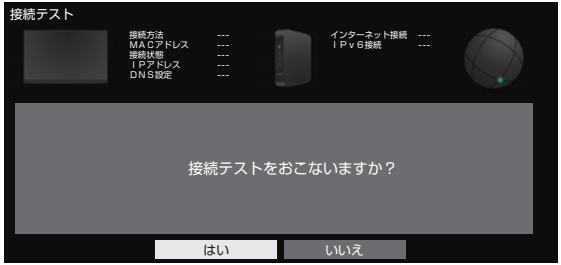
無線ＬＡＮ設定完了

以下のとおり無線 LAN の設定をおこないました。

ネットワーク名（ＳＳＩＤ）	:	XXXXXXXXXX
セキュリティ	:	WPA3
パスワード	:	******

❷ 接続テストをする場合は「はい」を選ぶ

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、「接続テスト」≫をご覧ください。



- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストを行ってください。

❸ 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、【決定】を押す

- 無線LANの設定は終了です。

お知らせ

- 無線LANアクセスポイントに本機以外が無線LAN接続されていると、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりすることがあります。
- 無線LANアクセスポイントには、主に52以上のチャンネルで、気象レーダーなどとの干渉を検知してチャンネルを自動的に変更する機能が搭載されています。この機能によって、ネットワーク経由での映像再生が中断されたり、「外部機器から電源オン」が機能しない場合があります。
- すべての無線LANアクセスポイントとの接続を保証するものではありません。
- 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
- 無線LANアクセスポイントのソフトウェアは最新バージョンで使用することをおすすめします。ソフトウェアのバージョンとアップデートについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- WPA™、WPA2™、WPA3™ はWi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。

お願い

- 無線LANアクセスポイントが複数ある場合、本機と接続する無線LANアクセスポイントのチャンネルは、他の無線LANアクセスポイントと異なるチャンネルに設定してください。
- 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントに無線LAN接続する場合、その無線LANアクセスポイントと本機は5GHz帯を使用する設定にしてください。
- 52以上のチャンネルでSSIDが公開されていない(ステルス設定された)無線LANアクセスポイントに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定を変更してください。
- 同時に複数のチャンネル(デュアルチャンネルあるいはクアッドチャンネル、40MHzあるいは80MHzの使用帯域またはチャンネル幅)で通信できる無線LANアクセスポイントと接続する場合は、事前に無線LANアクセスポイントで有効にすることをお勧めします。
- 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているとき、映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントと本機の設定を見直してから、無線LANアクセスポイントと本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと再度電源を入れます。それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

接続方法

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「接続方法」の順に進む

❷ 「有線LAN」または「無線LAN」を選ぶ

- 「有線LAN」から「無線LAN」に変更した場合、切換に数秒間かかります。

無線LAN設定

- 無線LANを使用する場合に、設定してください。
- 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」に進め、「接続方法」が「無線LAN」になっていることを確認してください。

「有線LAN」になっている場合

- 以下の操作で「無線LAN」に設定します。

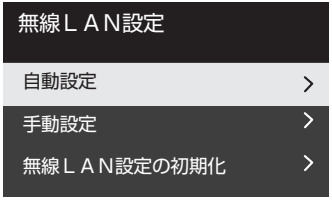
① 「詳細設定」⇨「接続方法」の順に進む

② 「無線LAN」を選ぶ

- 「詳細設定」の画面に戻り、「接続方法」が「無線LAN」になります。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」⇨「詳細設定」⇨「無線ＬＡＮ設定」の順に進む

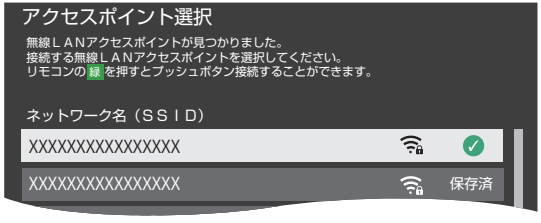
2 設定する項目を選ぶ



3 以降の手順で設定する

自動設定

- アクセスポイント選択画面が表示されます。
  - 各接続方法と設定については、
    「アクセスポイント選択」≫、
    「プッシュボタン接続」≫、
    をご覧ください。
  - お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。



手動設定

- 接続に必要な設定を、一つ一つ手動で設定する場合に選びます。
- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

❶ 各項目を、以降の手順で設定する

- **「ネットワーク名(SSID)」**を選びます。
  接続したいアクセスポイントのSSID（ネットワーク名）を入力してください。
- **「セキュリティ」**を選び、**「Open System」**、**「Shared Key」**、**「WPA/WPA2-PSK」**または**「WPA3」**から選択します。

「WPA3」や「WPA/WPA2-PSK」など、より安全性の高いセキュリティ方式を利用することをおすすめします。

- **「セキュリティ」**で**「Open System」**または**「Shared Key」**を選んだ場合は、**「暗号方式」**を選び、**「WEP」**または**「暗号なし」**を選択します。
  ※**「暗号なし」**を選択した場合、**「セキュリティ」**は**「Open System」**のみ利用できます。
- **「パスワード」**を選びます。
  接続したいアクセスポイントが指定する**「パスワード」**を入力します。
- **「暗号方式」**で**「WEP」**を選んだ場合は、**「キーインデックス」**を選び、**「キーインデックス１～４」**から選択します。

❷ 「設定完了」を選ぶ

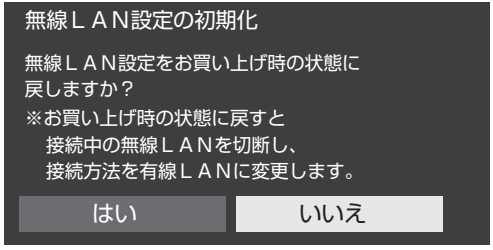
❸ 設定内容を確認し、【決定】を押す

お知らせ

- WPA™、WPA2™、WPA3™ はWi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。

無線LAN設定の初期化

❶ 「はい」または「いいえ」を選ぶ



アドレス設定(IPv4)

● インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

❶ IPアドレスを自動取得できる場合は、「自動取得」を選ぶ

自動取得できないネットワーク環境の場合

① 「手動設定」を選ぶ

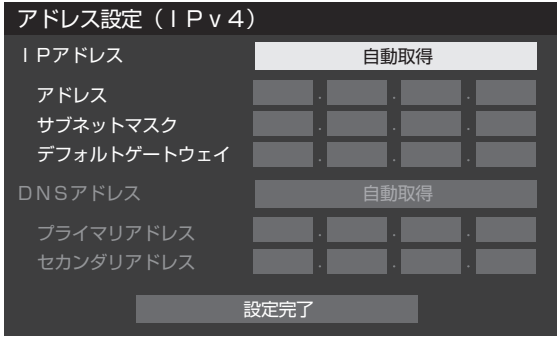
② 「アドレス」を選び、数字ボタンで入力する

③ 「サブネットマスク」を選び、数字ボタンで入力する

④ 「デフォルトゲートウェイ」を選び、数字ボタンで入力する

- ②～④では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、◀·▶を押します。

❷ 設定が完了したら、「設定完了」を選ぶ



DNSアドレス

● ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※ DNSアドレスの設定は「IPアドレス」の設定と連動し、IPアドレスと同じ設定値になります。

IPv6接続

- IPv6アドレスを用いてネットワークに接続する場合に設定します。

※ ルーターのIPv6パススルー（IPv6ブリッジ）を有効にした場合は、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。同じルーターにつなぐパソコンは、正しくアクセス制限の設定を行い、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

❶ 「利用する」または「利用しない」を選ぶ

ネットワーク情報

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 「ネットワーク情報」を選ぶ

- 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
- ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

接続テスト

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 「接続テスト」を選ぶ

- 「ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。
- 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで【決定】を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「設定をやりなおす」を選んで【決定】を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク設定の接続テスト結果について

● 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。

① LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する

- 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

② ネットワーク環境の接続確認

- 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。

❶ パソコンのインターネット・ブラウザを起動する

❷ URL欄に「https://www.regza.com 」を入力し、ページが表示されることを確認する

- ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。

● 接続テスト画面の「IPv6接続」に ! や ✕ が表示された場合

- IPv6方式でのインターネット接続に問題が発生している可能性があります。
  接続テスト画面に表示されている説明文に従って、ルーターの設定やご契約のインターネット接続サービスでIPv6が利用可能かご確認ください。
  ストリーミングサービス等で問題が生じる場合、「IPv6接続」を「利用しない」に変更することで症状が改善する場合があります。

ネットワークサービスの情報を初期化する

● クラウドサービスの設定内容や、動画配信サービスのログイン情報などを削除します。

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「ネットワークサービス情報の初期化」の順に進む**

2 **「はい」を選ぶ**

● ネットワークサービスの情報が初期化され、テレビの電源が「待機」になったあと、ふたたび「入」になります。

ネットワークに関するお知らせ・用語

お知らせ

■ アドレス情報(IPv4)のIPアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、アドレス設定(IPv4)のIPアドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は「アドレス設定(IPv4)」≫ をご覧ください)。
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたアドレスを手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

■ アドレス情報(IPv4)のDNSアドレスについて

- DNSアドレスを指定して設定するには、「アドレス設定(IPv4)IP設定」で「手動設定」を」選択して、DNSアドレスを含め、ネットワークの設定項目の全てについて画面の指示に従って設定してください。

■ PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

用語

■ アドレス(ＩＰｖ４)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大3ケタの数字4組を点で区切った形式で表現されます(例:111.112.xxx.xxx)。

■ アドレス(ＩＰｖ6)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大4ケタの数字またはa～fまでのアルファベット8組を「:」で区切った形式で表現されます(例:1111:ABCD:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx)。

■ DNSサーバー

ドメイン名(xxx.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSサーバーのアドレスを「プライマリアドレス」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリアドレス」に入力します。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです(例:255.255.xxx.xxx)。

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。

■ MACアドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

インターネットを楽しむ ― クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ ―

■ クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ
クラウドサービスとネットワークサービスについて

■ プロフィール機能を使う
プロフィールを選択する
プロフィールを作成する
プロフィールを編集する

■ ホーム画面を使う
ホーム画面について

■ 動画配信サービスを楽しむ
動画配信サービスを見る
「Netflix」について

■ レグザＡＩボイス機能を利用するための設定をする
レグザＡＩボイス機能を利用するための初期設定をする
本体マイクを利用するための設定をする

■ レグザＡＩボイス機能を使う
リモコンでレグザＡＩボイス機能を使う
本体マイクでレグザＡＩボイス機能を使う
レグザＡＩボイス機能を使って文字を入力する

■ スマートスピーカーでテレビを操作する
スマートスピーカーと連携する
スマートスピーカーで操作する

■ 家電リンク機能を利用する
家電リンクで連携する

■ AirPlay と HomeKit を利用する
AirPlay を使用する
HomeKit を使用する

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ

クラウドサービスとネットワークサービスについて

- ネットワークサービスとはネットワーク機能を使ったサービスです。
- クラウドサービスはネットワークサービスの一部で、当社が提供するサービスです。ネットワークを使って、録画した番組やこれから放送される番組から、見たい番組やおすすめの番組を検索できます。また、タレントや好みのテーマに関する番組をおまかせ録画できます。録画した番組は、シーン情報を使って見たいシーンだけを楽しむこともできます。

※ サービスの概要などについては、ホームページ(https://www.regza.com/charm)をご覧ください。

クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備

- クラウドサービスやネットワークサービスを楽しむ前に、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定
• インターネットを利用するための接続をする。 製品同梱の取扱説明書記載の「インターネットを利用するための接続をする」をご覧ください。 • インターネットを利用するための設定≫をする。 • 「レグザプライバシー設定」≫を「同意する」に設定する。 • インターネットの利用制限≫を設定する。

レグザプライバシー設定を変更する

● クラウドサービスやネットワークサービスを使用するには、レグザプライバシーポリシーに同意する必要があります。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「ソフトウェアの利用について」⇨「レグザプライバシー設定」の順に進む

2 内容を確認し、「同意する」を選ぶ

お知らせ

■レグザプライバシーポリシーについて

● レグザプライバシーポリシーを「同意する」に設定すると、本機の操作情報(チャンネル切換、入力切換、録画予約、視聴予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など)、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。

● クラウドサービスなどのネットワークサービス(以下「本サービス」と表します)のご利用には、住所・氏名・連絡先等の個人情報の入力は不要です(ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください)。

● サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善やマーケティングなどの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。ただし、お客様が特定のキャンペーン提供会社に対して、本機の利用履歴や使用環境に関する情報、アンケートの回答内容など(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)を提供することに同意された場合は、当社はその情報をお客様が同意したキャンペーン提供会社へ提供する場合があります。

● 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。

● 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、当社は一切関与いたしません。

● レグザプライバシーポリシーを「同意しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。なお、お客様の、本機の利用履歴や使用環境に関する情報、アンケートの回答内容など(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)は、本機の「すべての初期化」を行って次にネットワークにつないだときに、サーバーから消去されます。

● クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ(https://www.regza.com/support) をご覧ください。

お知らせ

- 当社および他社が提供するネットワークサービスの名称およびサービス内容の一部または全部は、予告なく変更･終了する場合があります。
- ネットワークサービスによっては、事前に利用者登録などが必要なサービスがあります。
- ご利用の回線業者やプロバイダーが採用している接続方式･契約約款によっては、サービスを利用できない場合があります。
- 他社が提供するサービスやコンテンツに関して当社は一切関与いたしません。
- ネットワークサービスの内容は録画することはできません。

プロフィール機能を使う

- 複数のプロフィールを登録することで、プロフィールごとにお気に入りなどを切り替えて利用することができます。
  プロフィールごとに、以下の内容が記録されます。
  - パックのお気に入り登録
  - ネット動画の表示並べ替え設定
  - 録画番組の再生位置
  - 視聴履歴とおすすめ

お知らせ

- プロフィールの作成にはインターネット接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。
- 本機能または本機能の一部は、予告なく内容を変更をする場合があります。

プロフィールを選択する

- プロフィールが選択されていない状態で【録画リスト】、【ざんまい】、【番組ガイド】を押すと、プロフィール選択画面が表示されます。
  利用するプロフィールを選択して【決定】を押すとプロフィールが選択され、録画リスト/ざんまいスマートアクセス/録画リストの画面が表示されます。

- テレビの電源を待機にすると、プロフィールの選択は解除されます。

プロフィールを切り替える

- 「録画リスト」「ざんまい」「番組ガイド」画面の左上に表示されるプロフィールアイコンを選び、【決定】を押すとプロフィールを切り換えることができます。
- プロフィールに声を登録している場合、音声で切り替えることもできます。

プロフィールを自動で選択する

- 「起動時にプロフィールを自動選択する」を選んでチェックを付けた状態でプロフィールを選択すると、プロフィールが固定され、以降は電源を待機にしてもプロフィールが選択されたままになります。
  プロフィールの自動選択を解除する場合は、「プロフィールを切り替える」でプロフィール選択画面を表示し、「起動時にプロフィールを自動選択する」のチェックを解除してください。

発話者にあわせてプロフィールを自動的に切り替える

- 「プロフィール設定」で声を登録しておくと、発話者に合わせてプロフィールを切り替え、プロフィールに合わせたコンテンツのおすすめを表示できるようになります。 ≫「プロフィールを作成する」

お知らせ

- 音声識別データは、本機の中で保存、処理され、外部へ送信されることありません。
- 16歳未満の方が音声識別機能をご利用になる場合は、その親権者の方の同意が必要です。
- 登録された声と似た声の場合、誤って識別されることがあります。
- 体調不良時や声の変化がある場合、正しく認識されないことがあります。
- 周囲の環境音が大きい場合や発話が短い場合、正しく認識されないことがあります。

プロフィールを作成する

● プロフィール選択画面で、新しいプロフィールを作成できます。

1 プロフィール選択画面で「追加」を選び、【決定】を押す

● プロフィールの作成画面が表示されます。

2 プロフィールの名前を入力し、アイコンを選択する

● プロフィールの名前は、右に表示される候補のリストからも選択できます。

3 「プロフィールを作成」を選び、【決定】を押す

● プロフィールが作成され、完了画面が表示されます。

● 「声を登録する」を選んで【決定】を押すと、声の登録画面が表示されます。
声を登録すると、発話者に合わせてプロフィールを切り替えることができるようになります。

● 声の登録には、一時的に本体マイクを有効にする必要があります。

プロフィールを編集する

● 登録したプロフィールは、プロフィール選択画面から編集できます。

1 プロフィール選択画面でプロフィールを選び、「編集」を選んで【決定】を押す

● プロフィールの編集画面が表示されます。

2 変更したい項目を選び、編集する

● プロフィールの編集では、プロフィールの名前、プロフィールアイコン、声の登録などの変更ができます。

3 「戻る」を選んで【決定】を押す

● プロフィールが変更され、プロフィール選択画面に戻ります。

プロフィールを削除する

1 プロフィール選択画面で削除したいプロフィールを選び、「編集」を選んで【決定】を押す

● プロフィールの編集画面が表示されます。

2 「プロフィールを削除」を選び、【決定】を押す

● 確認画面が表示されます。「はい」を選んで【決定】を押すとプロフィールが削除されます。

ホーム画面を使う

ホーム画面について

● 【ホーム】を押して表示されるホーム画面から、各種動画配信サービスを選択できます。

ホーム画面の見かた

ナビゲーションバー

● 検索やメッセージなど、各種機能を起動できます。

≫「ナビゲーションバーの見かた」

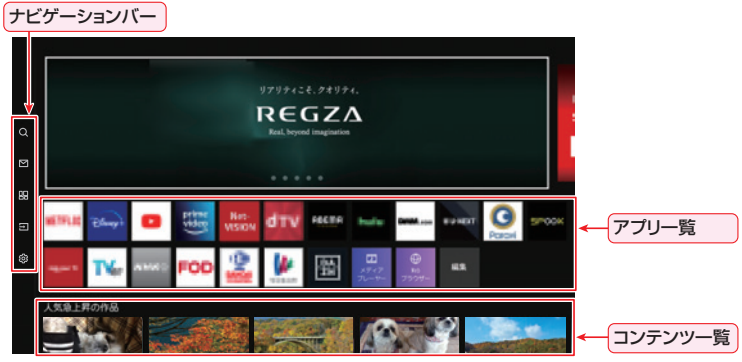
アプリ一覧

● 動画配信サービス、Webブラウザー、メディアプレーヤー、スクリーンミラーリングを起動することができます。

● 「編集」を選択すると、アプリの並び順や、アプリの表示/非表示を設定できます。

コンテンツ一覧

● 動画配信サービスのコンテンツが表示されます。



1 項目を選ぶ

● 選択した項目に合わせて、画面が切り換わります。

お知らせ

■ **Webブラウザーについて**

● Webページによっては、正しく表示、再生ができない場合があります。

■ **スクリーンミラーリングについて**

● 接続する機器によっては、スクリーンミラーリングが使用できない場合があります。

■ **アプリについて**

● 表示されるアプリは、予告なく追加、削除、または変更される場合があります。

ナビゲーションバーの見かた

● ナビゲーションバーでは、以下の項目が選択できます。

検索

- 番組検索画面が表示されます。
- 検索の方法は、「見たい録画番組を探して再生する」≫の手順**2**と同様です。

メッセージ

- メッセージの一覧が表示されます。

レグザアプリ

- 録画リスト/ざんまいスマートアクセス/番組ガイドなど、レグザの各機能に切り換えるアイコンが表示されます。

入力切換

- 外部入力へ切り換えることができます。

設定

- 設定メニューを開きます。

動画配信サービスを楽しむ

- さまざまな動画配信サービスを楽しむことができます。

※ お買い上げの時期によっては、サービスをご利用いただくにはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。

※ サービスは、予告なく変更や終了する場合があります。

動画配信サービスの利用に必要な準備

- インターネットへの接続と設定が必要です。
- 動画配信サービスの利用者登録が必要な場合があります。

動画配信サービスを見る

1 ネット動画ボタンを押す

- 動画配信サービスの画面に切り換わります。

※ 【ホーム】を押して表示される画面から選択して起動することもできます。≫「ホーム画面について」

- おもな操作は動画配信サービスの画面に従います。
- 「すべての初期化」を実行すると、ログイン設定も削除されます。
- ネット動画ボタンについては、製品同梱の取扱説明書記載「リモコンの準備をする」をご覧ください。

サービス利用中の制限

- 画面サイズの切換はできません。

サービス利用中に予約開始の時刻になった場合

- 視聴予約の時刻になると、動画配信サービスを終了して予約したチャンネルが選局されます。

お知らせ

- 動画配信サービスの中には、「放送視聴制限設定」の設定に従って、視聴制限を行うサービスがあります。

⇦トップにもどる

Net-VISIONを見る

● テレビ番組を楽しむように、40チャンネル以上の番組がお手軽にお楽しみいただけます。

1 【Net-VISION】を押す

● Net-VISIONの画面が表示されます。
● Net-VISIONに関する詳しい情報は、Net-VISIONのホームページをご覧ください。

「Netflix」について

お好みの映像に調整する

● 「Netflix」の視聴中は、「おまかせAI」「あざやか」「シアター」「リビング」が選択できます。
- **リビング：** ご家庭の明るい部屋で楽しむときに適した設定です。
- **シアター：** ご家庭の暗い部屋で楽しむときに適した設定です。

※ Dolby Vision信号入力時には「Dolby Vision IQ」「Dolby Vision Dark」「あざやか」「リビング」「シアター」が選択できます。

「Netflix」サービス利用中の制限

● 無操作自動電源オフ機能が無効になります。

⇦トップにもどる

「Netflix」に関するその他の操作

● 「Netflix」に関するその他の操作を設定メニューから行うことができます。これらの操作はインターネットに接続していないときでも、操作することができます。

ESN表示

● 「ESN」は、「Netflix」サービスのために発行される機器固有のIDです。保守サービスのために必要になります。

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「Netflix設定」の順に進む

❷ 「ESN表示」を選ぶ

● ESN情報が表示されます。

Netflixの終了

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「Netflix設定」の順に進む

❷ 「Netflixの終了」を選ぶ

❸ 「はい」を選ぶ

● Netflixサービスを終了します。

ログイン設定の初期化

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「Netflix設定」の順に進む

❷ 「ログイン設定の初期化」を選ぶ

❸ 「はい」を選ぶ

● ログイン設定が初期化されます。

レグザＡＩボイス機能を利用するための設定をする

- 付属のリモコンに話しかけることで、次のようなことができます。
  - テレビを操作する
  - 録画した番組や放送する予定の番組を検索する
  - 文字入力画面で文字を入力する
  - 動画配信サービスのコンテンツを検索する
- テレビ本体に話しかけることで、ボイス機能を使用できます。また、テレビ本体に話しかけることでテレビの電源を入れることができます。
- ボイス機能を使用するには、インターネットサービスの接続と設定、レグザプライバシーポリシーとレグザAIボイス機能利用規約の同意が必要です。

お知らせ

- ボイス機能は、Bluetooth®で2.4GHz帯の周波数を使用してリモコンと通信します。無線LANが2.4GHz帯で使用されていると、電波が干渉し合いボイス機能を使用できる距離が短くなることがあります。無線LANは、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

レグザＡＩボイス機能を利用するための初期設定をする

1 【ボイス】を押す

● レグザAIボイス機能の画面が表示されます。

※ 「Bluetooth」が「オフ」のときは、表示されません。
【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「Bluetooth設定」⇨「Bluetooth」を「オン」に変更してください。

2 「次へ進む」を選ぶ

● リモコンの登録画面が表示されます。

3 【青】を押したまま【黄】を押し続ける

● そのまましばらくお待ちください。

4 「リモコンの登録を完了しました。」が表示されたら、【青】と【黄】の指を離し、【決定】を押す

● 「登録に失敗しました」が表示された場合は、[もう一度やりなおす] を選択して、再度手順 **3** の操作を行ってください。

※ このとき、テレビに近付いて操作を行ってください。

※ リモコンの乾電池が消耗していると、登録できない場合があります。そのような場合は、新しいアルカリ乾電池に交換してください。

※ 環境条件によって登録できない場合があります。詳しくは取扱説明書の「本機の無線LAN/Bluetooth®を使う際のお願い」をご確認ください。

5 「電源ボタンの信号をBluetoothで送信しますか？」画面が表示されたら、「する」または「しない」を選ぶ

● 「する」を選ぶと、リモコン本体をテレビに向けなくても【電源】ボタンで電源「入」にすることができます。
詳しくは「電源待機時にもBluetooth®ができるようにする」≫をご覧ください。

● ネットワークの接続ができていない場合は、かんたんネットワーク設定に誘導する画面が表示されます。ネットワークの接続テストをして、確認またはネットワークの設定をします。

⇦トップにもどる

6 画面の案内に従ってレグザプライバシーポリシーとレグザＡＩボイス機能利用規約の内容を最後まで確認し、同意してください

- 「同意する」にチェックマークがつきます。

7 「設定完了」を選ぶ

8 生成ＡＩ機能の画面の内容を最後まで読み、「利用する」または「利用しない」を選ぶ

- 生成AI機能をご利用いただかなくても、通常のボイス機能としてご利用いただけます。

9 「このテレビではハンズフリー機能をご利用いただけます」画面が表示されたら、「はい」または「いいえ」を選ぶ

- ハンズフリー機能を有効にすることで、本体のマイクを利用してテレビを操作できるようになります。
- あらかじめ「ハンズフリー機能」をオンに設定しているときは表示されません

10 「設定が完了しました。」が表示されたら、【決定】を押す

レグザＡＩボイス機能利用規約の設定をする

- レグザAIボイス機能を利用してレグザを操作するには、「レグザAIボイス機能利用規約」を「同意する」に設定します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「初期設定・機能操作ガイド」⇨「レグザＡＩボイス機能設定」⇨「レグザＡＩボイス機能利用規約」の順に進む

2 画面の内容を最後まで読み、「同意する」または「同意しない」を選ぶ

3 「設定完了」を選ぶ

生成ＡＩ機能を設定する

- 生成AI機能をご利用いただくと、あいまいなリクエストでも、見たいコンテンツをかんたんに見つけられます。
- ボイス機能で生成AI機能をご利用いただく場合は、「生成AI機能」を「利用する」に設定します。
  生成AI機能をご利用いただかなくても、通常のボイス機能としてご利用いただけます。

※ 生成AIの応答には不正確な内容が含まれる場合があるため、成人の方のご利用を想定しています。
18歳未満の方がボイス機能をご使用になることがある場合は、「利用しない」を選択してください。

※ 生成AI機能により提供される回答は不正確、不快、または不適切な場合がありますが、いずれも 当社の見解を示すものではありません。また、同じ問いかけをしても異なる回答をする場合があります。

※ 医学上、法律上、金融上、またはその他の専門的な助言として、生成AI機能の回答を利用しないでください。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「初期設定・機能操作ガイド」⇨「レグザＡＩボイス機能設定」⇨「生成ＡＩ機能」の順に進む

2 画面の内容を最後まで読み、「利用する」または「利用しない」を選ぶ

動作モードを設定する

● ボイス機能の動作モードを設定することができます。
※ 「生成AI機能」が「利用しない」に設定されている場合は、設定できません。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「初期設定・機能操作ガイド」⇨「レグザＡＩボイス機能設定」⇨「動作モード設定」の順に進む

2 「対話モード」または「シンプルモード」から設定を選ぶ

● 「対話モード」を選ぶと、対話形式の応答になります。対話を通して段階的にお客様の意図を解釈し、シーンや気分に合わせたおすすめのコンテンツを提示します。
● 「シンプルモード」を選ぶと、応答速度を優先し、シンプルにコンテンツを提示します。単一のフレーズを解析し、検索や機器操作のためのキーワードを抽出します。

テレビが応答で発音する設定にする

● レグザAIボイス機能で、テレビが応答時に音声による案内を出力するように設定します。
● 「オン」にしていても、外部機器との接続状況やテレビの動作状況によっては、テレビから音声による案内が出力されない場合があります。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「初期設定・機能操作ガイド」⇨「レグザＡＩボイス機能設定」⇨「ボイスガイド」の順に進む

2 「オン」を選ぶ

リモコンを登録する

- リモコンの登録をするときに設定します。(リモコンの再登録をする場合もこの設定を行います)。
- 1台のテレビには、一つのリモコンが登録できます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「初期設定・機能操作ガイド」⇨「レグザＡＩボイス機能設定」⇨「リモコンの登録」の順に進む

2 画面の説明に従って、登録する

お知らせ

- レグザAIボイス機能をご利用いただくには、「レグザAIボイス機能利用規約」に同意いただく必要があります。「レグザAIボイス機能利用規約」には、お客様が発生する音声や、その音声を文字化されたデータの取り扱いに関する内容が含まれています。内容をよくご確認のうえ、ご同意いただくようお願いいたします。
- 本機能は、予告なく休止、終了または内容を変更する場合があります。
- 当社は、本機能について、お客様のデータおよびシステムの喪失および毀損、商品性、お客様が発話する音声の識別可能性、特定目的への適合性、識別結果の正確性および再現性、権利非侵害を含む一切の保証について、当社に故意または重大な過失がある場合を除き、責任を負いません。
- 本機能のご利用において、お客様に紛争または損害が発生した場合、当該損害等が当社の故意または重過失に起因するものである場合を除き、当社は責任を負いません。

登録されていない声に対して通知を表示する

- ボイス機能を利用中に、プロフィールに登録されていない声を認識した場合、「声の登録」をおすすめする通知を表示します。
- プロフィールに声の登録をしなくても、「声の登録ガイド」を「オン」に設定している場合は、未登録の音声識別データを取得・利用します。未登録の音声識別データを取得されたくない場合は、「声の登録ガイド」を「オフ」に設定してください。
- 登録されていない声を認識しても、すぐに「声の登録」の通知が表示されるわけではありません。同じ声がある程度確認できた場合にのみ、通知を表示します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「初期設定・機能操作ガイド」⇨「レグザＡＩボイス機能設定」⇨「声の登録ガイド」の順に進む

2 「オン」または「オフ」を選ぶ

本体マイクを利用するための設定をする

● ハンズフリー機能を有効にすることで、本体のマイクを利用してテレビを操作できるようになります。

ハンズフリー機能を設定する

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「初期設定・機能操作ガイド」⇨「レグザＡＩボイス機能設定」⇨「ハンズフリー設定」⇨「ハンズフリー機能」の順に進む

2 「オン」を選ぶ

● 本体マイクに話しかけることで、テレビを操作できるようになります。

本体マイクの感度を変更する

● 本体マイクの検出感度を変更することで、声かけに反応しやすくする、もしくは、誤検出を抑えることができます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「初期設定・機能操作ガイド」⇨「レグザＡＩボイス機能設定」⇨「ハンズフリー設定」⇨「マイクの検出感度」の順に進む

2 「低」、「標準」または「高」から設定を選ぶ

本体マイクで電源を入れられるようにする

● 電源待機中に本体マイクで電源オン操作できるように設定できます。
※ 本機能を使用するには、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。
※ 「生成AI機能」が「利用しない」または「動作モード設定」が「シンプルモード」に設定されている場合は、設定できません。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「初期設定・機能操作ガイド」⇨「レグザＡＩボイス機能設定」⇨「ハンズフリー設定」⇨「電源待機中の操作」の順に進む

2 「受け付ける」または「受け付けない」から設定を選ぶ

● 「受け付ける」に設定すると、本機の待機中に本体マイクでの音声操作を受け付けるようになります。
※ 「受け付ける」に設定すると、待機中の消費電力が増えます。

本体マイクをミュートする

● 本機の本体マイクスイッチを「オフ」に切り換えると、「ハンズフリー機能」の設定に関わらず本体マイクが音声操作を受け付けなくなり、音声を収集しなくなります。
※ 本体マイクスイッチを「オフ」に設定すると、【画面表示】で表示される情報画面にマイクスイッチ オフのアイコンが表示されます。
≫「番組情報を見る」
※ 「ハンズフリー機能」が「オン」に設定されていて本体マイクスイッチが「オフ」の場合、電源「入」にした時に「本体マイク オフ」のアイコンが表示されます。

レグザＡＩボイス機能を使う

リモコンでレグザＡＩボイス機能を使う

● リモコンに向かって話しかけることで、レグザAIボイス機能が利用できます。

1 【ボイス】を押しながら、リモコンに向かって発話例のように話しかける

● 発話例については、「機能と発話例」≫をご覧ください。
● テレビの状態によっては、レグザAIボイス機能が使用できない場合があります。
● テレビが応答を発音するように設定することもできます（発音時はテレビの音量がオフになります）。

お知らせ

● 動作環境や話し方などの条件によっては、音声が認識されなかったり、正しく認識されなかったりして、意図した検索や動作がおこなわれない場合があります。

本体マイクでレグザＡＩボイス機能を使う

● テレビ本体に向かって話しかけることで、レグザAIボイス機能が利用できます。

1 テレビに向かって、「オッケーレグザ」と話しかける

● 画面上にアイコンが表示され、マイクが発話を受けつけるようになります。

2 テレビに向かって発話例のように話しかける

● 発話例については、「機能と発話例」≫をご覧ください。
● テレビの状態によっては、レグザAIボイス機能が使用できない場合があります。
● テレビが応答を発音するように設定することもできます（発音時はテレビの音量がオフになります）。

お知らせ

● 動作環境や話し方などの条件によっては、音声が認識されなかったり、正しく認識されなかったりして、意図した検索や動作がおこなわれない場合があります。
● 4K映像の視聴中は音声の認識率が低下することがあります。

本体マイクでテレビの電源を入れる

● 「電源待機中の操作」を「受け付ける」に設定すると、テレビ本体に向かって話しかけることで、テレビの電源を入れることができます。
※ 本機能を使用するには、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。
※ 「生成AI機能」が「利用しない」に設定されている場合は、本機能はご利用いただけません。

1 電源待機中のテレビに向かって、「オッケーレグザ」と話しかける

● テレビの電源表示が白色に点滅し、マイクが発話を受けつけるようになります。

2 テレビに向かって「電源オン」、「テレビつけて」のように話しかける

機能と発話例

機能	発話例
レグザＡＩボイス機能の使いかたを調べる	• ヘルプ • なにができるの？
番組やシーンを探す	• ○○○(番組名・人名・ジャンル)が見たい • ○○(番組名・人名)のシーンが見たい
番組を予約する	• 地デジで○○○(ジャンル・番組名・人名)を予約したい • 番組表から新番組の○○(ジャンル・番組名・人名)を探して
YouTubeを使う※	• ユーチューブにして • ユーチューブから○○を探して

※ YouTubeの画面に切り換わり、YouTubeでの検索になります。

⇦トップにもどる

機能	発話例	内容
電源オフ	• テレビけして	電源を待機状態にします。
チャンネル切換	• 8チャンネルに変えて • 「〇〇〇(放送局名)にして」	チャンネルを切り換えます。
放送切換	• 地デジにきりかえて • BSにきりかえて	放送を切換えます。
入力切換	• 入力切換して	入力を切換えます。
ダイレクト入力切換	• HDMI3にして	指定した外部入力に切換えます。
消音オン／オフ	• 音けして • ミュート解除	消音のオン／オフをする。
音量アップ／ダウン	• 音量あげて • ボリュームダウン • ボリュームを15にして	音量をアップ／ダウンします。 数字で指定した場合は、その音量になります。
字幕オン／オフ	• 字幕だして	字幕の表示をオン／オフします。
再生	• 再生して	USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
カーソル移動	• うえ／した／みぎ／ひだり にして	カーソルを移動します。
決定	• 決定	決定の操作をします。
戻る	• 戻る	ひとつ前の画面に戻ります。
始めにジャンプ	• 始めにジャンプして • 最初から再生	始めににジャンプをします。
ワンタッチリプレイ	• ちょっと戻って • 10秒戻って	10秒ほど戻って再生します。
ワンタッチスキップ	• ちょっと進めて • 少し進めて	30秒ほど先に進んで再生します。

機能	発話例	内容
チャプターバック	• チャプター戻して • 前のチャプター	現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。
チャプタースキップ	• チャプターをスキップして • 次のチャプター	次のチャプターの先頭にスキップして再生します。
停止	• ストップして • 停止して	再生を停止します。
一時停止	• 一時停止 • 静止して	再生を一時停止します。
終了	• 終了して	操作を終了します。

レグザＡＩボイス機能を使って文字を入力する

● 文字入力画面を表示中に操作すると、音声で文字入力をすることができます。

1 文字入力画面の文字入力欄が選ばれているときに、【ボイス】を押しながらリモコンのマイクに向かって入力する言葉を話す

- 文字入力画面のマイクアイコン( )を選択しても文字入力機能が使用できます。
- 入力欄に文字が入力されます。
- 入力文字数より多い文字数となった場合は、入らない文字は切り捨てられます。
- 文字入力の場面によっては、音声による文字入力ができないことがあります。その場合、文字入力画面のマイクアイコン( )は表示されません。

スマートスピーカーでテレビを操作する

- 対応するスマートスピーカーと連携すれば、スマートスピーカーに話しかけることでテレビを操作することができます。
- スマートスピーカーと連携するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。

※ 対応のスマートスピーカーについては、スマートスピーカー連携機能のホームページ（https://www.regza.com/craftmanship/special/smartspeaker）をご覧ください。

スマートスピーカーと連携する

- セットアップ済の対応スマートスピーカーと、そのスマートスピーカーの設定アプリをインストールしたスマートフォンを用意します。

1 スマートフォンのスマートスピーカーの設定アプリで、レグザのアプリまたはスキルを検索し、連携コード入力画面を表示する

- 連携コード入力画面の表示方法は、スマートスピーカーの設定アプリによって異なります。詳しくは各スマートスピーカーの説明書およびスマートスピーカー連携機能のホームページ（https://www.regza.com/craftmanship/special/smartspeaker）をご覧ください。

2 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「スマートスピーカー連携設定」の順に進む

3 「スマートスピーカー連携」を選ぶ

- 8ケタの連携コードが表示されます。

4 スマートフォンの連携コード入力画面に、8桁の連携コードを入力する

※ 連携コードの有効期限は10分間です。10分を超えてコードが無効になってしまった場合は、手順**3**の画面でリロードを選んで連携コードを再発行してください。

お知らせ

- AlexaスキルやOK Googleでそれぞれ連携できるレグザは1台です。

連携を解除するには

- 以下のいずれかの方法で、スマートスピーカーとの連携を解除できます。
  - 「スマートスピーカー連携設定」⇨「スマートスピーカー連携解除」を選ぶ
  - スマートフォンの設定アプリから、レグザのリンク解除をする

スマートスピーカー連携の設定をする

● スマートスピーカーとの連携に関わる設定を変更できます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「スマートスピーカー連携設定」の順に進む

※ 「スマートスピーカー連携設定」は、以下の手順でも表示できます。

- 【操作/設定】を押して表示される設定メニューで、「ネットワーク・サービス設定」⇨「スマートスピーカー連携設定」の順に進む
- 【ざんまい】を押し、「みるコレ設定」⇨「スマートスピーカー連携設定」の順に進む

2 設定する項目を選ぶ

3 お好みの設定を選ぶ

電源待機中の操作

● 電源待機中に、スマートスピーカーからの操作を受け付けるか設定します。

- **受け付ける**……電源待機中でも、スマートスピーカーからの操作を受け付けます。
  本機の待機中の消費電力が増えます。また、「省エネ設定」の「無操作自動電源オフ」が「待機にする」になります。
- **受け付けない**……電源待機中は、スマートスピーカーからの操作を受け付けません。

外部機器からの検出

● 本機が外部のAlexa搭載機器から検出されるか設定します。

- **検出する**……Alexa搭載スマートスピーカーから本機が検出できるようになります。
- **検出しない**……Alexa搭載スマートスピーカーから本機が検出できなくなります。

本機の呼称

● Alexaで操作するときの、本機の呼び方を設定します。

- **テレビ**
- **レグザ**

スマートスピーカーで操作する

スマートスピーカーに呼びかけたあと、続けて以下の発話例のように話しかけて操作する

- 呼びかけ方や発話例はスマートスピーカーによって異なります。
- 発話例は一例です。スマートスピーカーの仕様により、変更される場合があります。また、別の表現でも動作する場合があります。
- スマートスピーカーにより、他にも利用できる機能があります。詳しくはスマートスピーカー連携機能のホームページ（https://www.regza.com/craftmanship/special/smartspeaker）をご覧ください。

主な機能と発話例

機能	発話例	内容
電源オン※／オフ	テレビをつけて／ テレビをけして	電源をオン／オフします。 ※ あらかじめ「電源待機中の操作」を「受け付ける」に設定する必要があります。
チャンネル切換	テレビのチャンネルを8チャンネルにして	チャンネルを切り換えます。
入力切換	テレビの入力をＨＤＭＩ１に変えて	入力を切り換えます。
音量アップ／ダウン	テレビのボリュームをあげて／ テレビのボリュームをさげて	音量をアップ／ダウンします。
消音オン／オフ	（テレビを）ミュートして／ テレビのミュートを解除して	消音のオン／オフをします。

家電リンク機能を利用する

- 家電リンク機能を設定すると、連携したIoLIFE対応家電からのお知らせを本機に表示したり、本機の使用状況を家電リンクで確認したりできます。
- 家電リンクで連携するには、インターネットへの接続とレグザプライバシーポリシーの同意が必要です。

※ 家電リンクについては詳しくは、家電リンク機能のホームページ(https://lifemiru.net/support/setting_guide/index.html)をご覧ください。

家電リンクで連携する

- 「IoLIFE」アプリをインストールしたスマートフォンを用意します。

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「外部連携設定」⇨「家電リンク設定」の順に進む**

- 「家電リンクについて」画面が表示されます。

2 **スマートフォンで、画面の二次元バーコードをスキャンする**

3 **画面の手順に従って設定を行う**

AirPlayとHomeKitを利用する ※1

AirPlayを使用する

● AirPlayを使用して、お使いのiPhone、iPadやMacの音声や映像コンテンツを本機とワイヤレスで共有できます。音楽や映像をストリーミングしたり、写真を共有したり、デバイスの画面をそのままミラーリングできます。

1 Apple デバイスが本機と同じネットワークに接続されていることを確認する

2 本機のAirPlayをオンにする

● 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク･サービス設定」⇨「AirPlayとHomeKitの設定」の順に進め、「AirPlayとHomeKitの設定」で、AirPlayを「オン」に設定します。

● 【入力切換】を押して「AirPlay」を選び、「AirPlayとHomeKitの設定」で、AirPlayを「オン」に設定します。※2

3 Appleデバイス上で対応しているメディアアプリでAirPlayアイコン、またはAppleデバイスのコントロールセンターからスクリーンミラーリング アイコンをタップする

※ コンテンツによっては、これらの手順が異なる場合があります。

● お使いのデバイスの画面をミラーリングするには、コントロールセンターを開いて画面ミラーリングのアイコンをタップしてください( )。

● AirPlayに対応している音楽アプリやポッドキャストアプリからオーディオをストリーミングするには、AirPlay Audioのアイコンをタップしてください( )。

● AirPlayに対応しているアプリからビデオをストリーミングするには、AirPlay Videoをタップしてください( )。

4 リストから本機を選択し、AirPlayを開始する

※1 AirPlayとHomeKit機能の利用には、インターネットにアクセスして機能を有効化する必要があります。通常、機能の有効化は自動的に行われます。
※2 入力切換操作でAirPlay画面に切り換えているときは、次回電源を入れたときにAirPlayの画面が表示されます。

HomeKitを使用する

- お使いのAppleデバイスから、HomeKitを使って、簡単で安全に本機を操作できます。

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「ネットワーク・サービス設定」⇨「AirPlayとHomeKitの設定」の順に進み、HomeKitセクションから「設定」を選ぶ**

- 「HomeKitを設定」画面にペアリング用の二次元バーコードが表示されます。

2 **iPhoneやiPadなどで画面の二次元バーコードをスキャンし、画面上の指示に従ってHomeKitの設定を完了する**

お知らせ

- AirPlay を使用するには、本機がAirPlay をサポートしている必要があります。
- アイコンは参考です。アプリによっては、別のアイコンを最初にタップする必要がある場合があります。
- テレビ画面に AirPlay パスコードが表示された場合は、Appleデバイス側でパスコードを入力して続けてください。
- AirPlayの使用を停止するには、外部デバイスを切断するか、【終了】を押してください。
- 動画や音声を再生中に、リモコンの[操作/設定]ボタンを押し、「消画」を選択すると、映像をオフにして音声のみを再生できます。
- アプリやソフトウェアのバージョンにより、操作が異なる場合があります。
- Use of the Works with Apple badges means that an accessory has been designed to work specifically with the technologies identified in the badges and has been certified by the developer to meet Appleperformance standards.
- Apple, AirPlay, Apple Home, HomeKit, iPad, iPhone, and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions. The trademark “iPhone” is used with a license from Aiphone K.K.

Works with Apple AirPlay

Works with Apple Home

設定・調整をする ― 映像を調整する ―

■ お好みの映像メニューを選ぶ

■ お好みの映像に調整する

ユニカラー
黒レベル
色の濃さ
色あい
色温度
精細感・ノイズ調整
コントラスト感調整
色詳細調整
プロ調整
映像分析情報
その他の映像設定
映像調整を初期値に戻す
テレビの電源ランプを消灯する

⇦トップにもどる

お好みの映像メニューを選ぶ

- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
- 映像メニューは、放送/再生の映像や各入力端子･写真再生の映像、信号特性などでそれぞれ記憶させることができます。

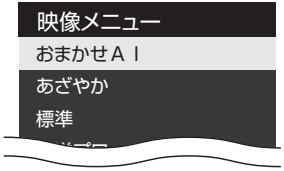
※ HDR信号を受信しているときは、映像設定はHDR信号にあわせた画質に設定されます。その場合、映像設定に「HDR」のアイコンが表示されます。

※ Dolby Vision信号を受信しているときは、映像設定に「DolbyVision」のアイコンが表示されます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進む

2 お好みの映像メニューを選ぶ

● 選択できる映像メニューは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像メニューは表示されません。



映像メニュー	内　容
おまかせAI	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質に自動調整されます。
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむときに適した設定です（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）。
放送プロ	放送映像を暗い環境で楽しむときに適した設定です。
映画プロ	映画を暗い環境で楽しむときに適した設定です。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です（HDMI入力のときに選択できます）。 ※VRR信号入力時、映像メニューは「ゲーム」になります。他の映像メニューは選択できません。
パソコン	プレゼンテーションや会議の時に適した設定です。（HDMI入力のときに選択できます）。
モニター	映像製作用モニターに近い設定です。ＰＣ接続にも適したモードです（HDMI入力のときに選択できます）。
Dolby Vision IQ、Dolby Vision Dark	Dolby Visionに対応した高画質な映像を見るときに適した設定です（Dolby Visionの信号入力時に選択できます）。
リビング	ご家庭の明るい部屋で楽しむときに適した設定です（Dolby Visionの信号入力時またはNetflixのときに選択できます）。
シアター	ご家庭の暗い部屋で楽しむときに適した設定です（Dolby Visionの信号入力時またはNetflixのときに選択できます）。

お好みの映像に調整する

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「映像設定」⇨「映像調整」の順に進む

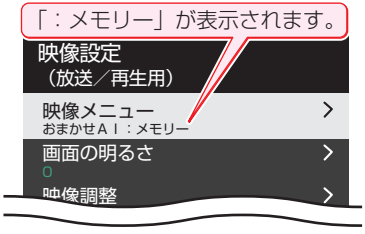
2 調整する項目を選ぶ

3 以降の手順でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順**2**から繰り返します（「ユニカラー」、「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」の調整時は、▲·▼を押せば調整項目を切り換えることができます）。

「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶され、「映像メニュー」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子、動画再生、写真再生、アプリなどの区分ごとに記憶されます。たとえば、（放送/再生）の「おまかせ：メモリー」と（HDMI1）の「おまかせ：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。
  - ※ アプリは、ネット動画（YouTube）、ネット動画（Netflix）、ネット動画（PrimeVideo）とそれ以外のネット動画の4つでそれぞれ記憶されます。
  - ※120Hzなどのハイフレームレート信号のときは、映像調整により映像メニューなどの表示も調整されます。



⇦トップにもどる

ユニカラー

● 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

① **◀·▶でお好みの映像に調整し、【決定】を押す**

● 「−50」～「+50」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります)。

黒レベル

● 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。

❶ **◀·▶でお好みの明るさに調整し、【決定】を押す**

● 「−50」(暗)～「+50」(明)の範囲で調整できます。

色の濃さ

● 映像の色の濃さを調整します。

❶ **◀·▶でお好みの濃さに調整し、【決定】を押す**

● 「−50」(淡)～「+50」(濃)の範囲で調整できます。

色あい

● 肌の色に注目して、色あいを調整します。

❶ **◀·▶でお好みの色あいに調整し、【決定】を押す**

● 「−50」(紫)～「+50」(緑)の範囲で調整できます。

色温度

● 画面全体の色味を調整します。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」のとき

① ◀·▶で調整し、【決定】を押す

● 「−5」～「＋5」の範囲で調整できます。
調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。

● 【青】を押すと、「RGBゲイン調整」に切り換えることができます。

▲·▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀·▶で調整する

調整範囲	
−30～＋30	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のとき

① ▲·▼で以下から選び、【決定】を押す

- **オート**……映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

⑴ ◀·▶で調整し、【決定】を押す

● 「0」～「10」の範囲で調整できます。
調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。

● 【青】を押すと、「RGBゲイン調整」に切り換えることができます。

▲·▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀·▶で調整する

調整範囲	
−30～+30	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。

精細感・ノイズ調整

● 「精細感･ノイズ調整」を選択して【決定】を押すと、精細感･ノイズ調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を選ぶ

● 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

❷ 以降の手順で調整する

● 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

精細感・ノイズ調整
（放送／再生用）
シャープネス 0 >
レゾリューションプラス設定 >
ディテールエンハンサー AI オート >
カラーテクスチャー設定 >
輝度エッジ補正 オート >
バンディングスムーザー オート >
ダイナミックNR オート >
モスキートNR オート

シャープネス

● 映像の鮮明さを調整します。

① ◀･▶でお好みの映像に調整し、【決定】を押す

● 「−10」～「+10」の範囲で調整できます。

レゾリューションプラス設定

- 緻密で精細感のある映像を表示します。
- 「レゾリューションプラス設定」を選択して【決定】を押すと、「レゾリューションプラス」、「ゲイン調整」、「レベル調整（X990S Z990S）」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。

※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラス

- レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「ゲイン調整」「レベル調整（X990S Z990S）」は調整できません。

※ レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

① 「レゾリューションプラス」を選ぶ

② 設定を以下から選ぶ

- **オン**……映像の種類に応じて自動的にレゾリューションプラスの機能が働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

ゲイン調整

- レゾリューションプラスの強さを調整します。

① 「ゲイン調整」を選ぶ

② 調整し、【決定】を押す

映像メニュー	調整レベル	
おまかせＡＩ	−5 ～+5	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
おまかせＡＩ以外	0 ～ 10	

⇦トップにもどる

レベル調整

X990S Z990S

● レゾリューションプラスの補正量(振幅)を設定します。

① 「レベル調整」を選ぶ

② 設定を以下から選ぶ

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀·▶で調整し、【決定】を押す

● 「0」で補正がオフになります。「10」で効果が最大になります。

ディテールエンハンサー

● 映像のくっきり感や鮮鋭感を調整します。

① お好みの映像に調整する

- **AIオート**…… AIを活用して自動で調整します。
- **レトロ映像モード**…… 入力映像の1/2解像度で製作した映像に適した設定です。(X990S Z990S)
- **オフ**…… 補正をしません。

カラーテクスチャー設定

X990S Z990S

● 色鮮やかな花や果物など、色の濃い映像部分の精彩感や質感を復元する機能です。

カラーテクスチャー

① 「カラーテクスチャー」を選ぶ

② 設定を以下から選ぶ

- **オン**……この機能が常に働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

ゲイン調整

● カラーテクスチャーの復元効果を調整します。

① 「ゲイン調整」を選ぶ

② 調整し、【決定】を押す

映像メニュー	調整レベル	
おまかせＡＩ	−5 ～+5	数値が大きくなるほど、効果が大きくなります。
おまかせＡＩ以外	0 ～ 10	

輝度エッジ補正

X990S Z990S

● 映像の輪郭を際立たせる調整をします。設定によりアニメなどで輪郭がくっきりします。

① **設定を以下から選ぶ**

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) **◀·▶で調整し、【決定】を押す**

● 「0」で補正がオフになります。「10」で効果が最大になります。

⇦トップにもどる

バンディングスムーザー

● 輪郭ノイズ除去の補正量(振幅)を設定します。

※ 「映像メニュー」が「ゲーム」、「パソコン」、「モニター」以外のときに設定できます。

X990S Z990S

① 設定を以下から選ぶ

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀·▶で調整し、【決定】を押す

● 「0」で補正がオフになります。「10」で効果が最大になります。

X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z890S Z770S

① 設定を以下から選ぶ

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **強/中/弱**……弱→中→強の順で補正が大きくなります。
- **オフ**……この機能は働きません。

⇦トップにもどる

ダイナミックNR

● 映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。
※ 「映像メニュー」が「ゲーム」、「パソコン」、「モニター」以外のときに設定できます。

① **設定を以下から選ぶ**
- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) **◀·▶で調整し、【決定】を押す**
● 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。
※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。

モスキートNR

● デジタル放送やDVDなどのモスキートノイズを減らす機能です。
※ 「映像メニュー」が「ゲーム」、「パソコン」、「モニター」以外のときに設定できます。

① **設定を以下から選ぶ**
- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

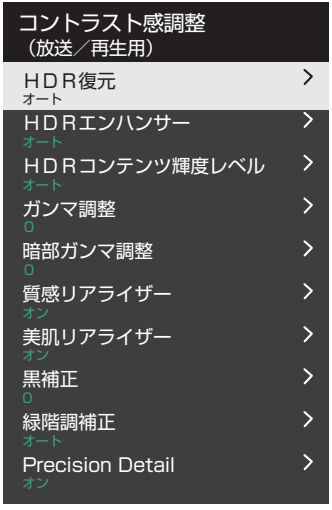
(1) **◀·▶で調整し、【決定】を押す**
● 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

コントラスト感調整

- 「コントラスト感調整」を選択して【決定】を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を選ぶ

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



❷ 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

⇦トップにもどる

HDR(ハイダイナミックレンジ)復元

● 明るさの領域を復元し、表現領域を拡大する機能です。
※ 映像信号によっては、選択できない場合があります。

① **お好みの映像に調整する**

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **モード1**……映像シーンに応じて明るさの表現領域を拡大します。
- **モード2**……明るさの領域を復元し、表現領域を拡大します。
- **オフ**……スーパーホワイト領域以外の明るさの表現領域を拡大します。

HDRエンハンサー

X990S X770S

● 暗い映像の明るい領域を復元し、表現領域を拡大する機能です。

① **お好みの映像に調整する**

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) **◀·▶で調整し、【決定】を押す**

● 「0」で効果が最小になります。「10」で効果が最大になります。

HDRコンテンツ輝度レベル

X990S Z990S

● HDRコンテンツの入力輝度に応じて、表現領域を調整します。

① 項目を以下から選ぶ

HLG信号入力時

- **オート**……映像の入力輝度に応じて自動的に制御されます。
- **300**……ピーク輝度300nitのコンテンツに対して最適な処理を行います。
- **1000**……ピーク輝度1000nitのコンテンツに対して最適な処理を行います。
- **フル**……フルレンジのコンテンツに対して最適な処理を行います。

HLG以外のHDR信号入力時

- **オート**……映像の入力輝度に応じて自動的に制御されます。
- **1000**……ピーク輝度1000nitのコンテンツに対して最適な処理を行います。
- **4000**……ピーク輝度4000nitのコンテンツに対して最適な処理を行います。
- **フル**……フルレンジのコンテンツに対して最適な処理を行います。

⇦トップにもどる

ＬＥＤエリアコントロール

ZX1S/ZX2S ZX3S Z990S Z890S Z770S

● 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

① **設定を以下から選ぶ**

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) **◀·▶で調整し、【決定】を押す**

● 「0」で効果が最小になります。「10」で効果が最大になります。

ピーク輝度伸長

ZX1S/ZX2S ZX3S Z990S Z890S

● 映像の白ピーク部分の明るさを調整します。

① **設定を以下から選ぶ**

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) **◀·▶で調整し、【決定】を押す**

● 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

⇦トップにもどる

ガンマ調整

● 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

① ◀·▶で調整し、【決定】を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
−10～+10	

暗部ガンマ調整

● 映像の暗い部分の階調を調整することができます。

① ◀·▶で調整し、【決定】を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど暗い部分が明るくなります。
−10～+10	

⇦トップにもどる

質感リアライザー

● 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。
※ 「映像メニュー」が「Dolby Vision IQ」、「Dolby Vision Dark」のときは、自動的に「－ －」になり、設定できません。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」のとき

① ◀·▶で調整し、【決定】を押す

● 「−5」〜「+5」の範囲で調整できます（数値が大きくなるほどメリハリが強調されます）。
● 【青】を押すと、「詳細質感リアライザー」に切り換えることができます。
※ 映像信号によっては、「詳細質感リアライザー」に切り換えることができない場合があります。

詳細質感リアライザー

(1) ▲·▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、【決定】を押す
(2) ◀·▶で調整し、【決定】を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	−５〜＋５	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のとき

① ▲·▼で以下から選び、【決定】を押す

- **オート**……映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。
- **オフ**……この機能は働きません。

「手動」にしたとき

(1) ▲·▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、【決定】を押す

(2) ◀·▶で調整し、【決定】を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	0～10	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

美肌リアライザー

X990S Z990S

- 映像に応じて、人物などの薄橙色の階調が自動的に調整されます。
- 「質感リアライザー」が「オフ」のときは、「美肌リアライザー」は「ーー」と表示され、操作できません。

① お好みの設定を選ぶ

- **オン**……映像に応じて自動的に制御されます。
- **オフ**……この機能は働きません。

黒補正

X990S Z990S

- 黒の引き込みレベルを調整します。
- 「質感リアライザー」が「オフ」のときは、「黒補正」は「ーー」と表示され、操作できません。

① **◀·▶でお好みの映像に調整し、【決定】を押す**

- 「−30」〜「+30」の範囲で調整できます。

緑階調補正

X990S Z990S

- ゴルフ映像などの緑の階調を調整します。
- 「質感リアライザー」が「オフ」のときは、「緑階調補正」は「ーー」と表示され、操作できません。

① **お好みの設定を選ぶ**

- **オート**……映像に応じて自動的に制御されます。
- **オン**……映像の緑階調領域を復元し表現領域を拡大します。
- **オフ**……この機能は働きません。

Precision Detail

- Dolby Vision映像を鮮明にします。

① **お好みの設定を選ぶ**

- **オン**……Dolby Vision信号の映像を鮮明にします。
- **オフ**……この機能は働きません。

色詳細調整

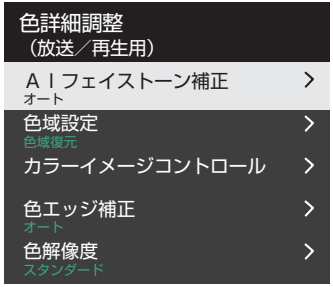
- 「色詳細調整」を選択して【決定】を押すと、色詳細調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を選ぶ

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

❷ 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。



ＡＩフェイストーン補正

X990S Z990S

● AIの顔検出結果に応じて自動的に適切な色補正を行います。

① **お好みの設定を選ぶ**

- **オート**……映像に応じて自動的に制御されます。
- **オフ**……この機能は働きません。

色域設定

X990S Z990S

● 鮮やかな色の再現方法について設定します。
「色空間モード」が「BT.709」のときに設定できます。

※ 映像信号によっては、選択できないことがあります。

① **設定を以下から選ぶ**

- **色域復元**……鮮やかな色が再現されます。
- **標準**……標準的な色による表示となります。

カラーイメージコントロール

● 映像の色調を調整することができます。

X990S Z990S

ベースカラー

● レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに、色あいや色の濃さや明るさを調整することができます。

① 「ベースカラー」の中から調整する色を選ぶ

- **レッド、グリーン、ブルー、イエロー、マゼンタ、シアン**

② 【青】を押して静止画にする

（もう一度【青】を押すと静止画が解除されます）

※ 視聴対象によって静止できない場合があります。

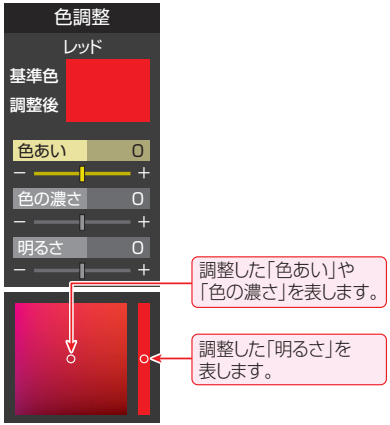
③ ▲·▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀·▶で調整する

● 調整範囲は−30 〜+30です。

※ 元の色（初期状態）に戻すには、【赤】を押します。

④ 選んだ色の調整が終わったら、【戻る】を押す

● 他の色を調整する場合は、手順①から繰り返します。



ユーザーカラー

● 画面に表示されている色を指定して、お好みの色あいや色の濃さ、明るさに調整することができます。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに反映されます。

① 「ユーザーカラー」の中からどれかを選ぶ

- ユーザー 1、ユーザー 2、ユーザー 3

● 調整した色は、選んだユーザーカラーに記憶されます。

② 【青】を押して静止画にする

（もう一度【青】を押すと静止画が解除されます）

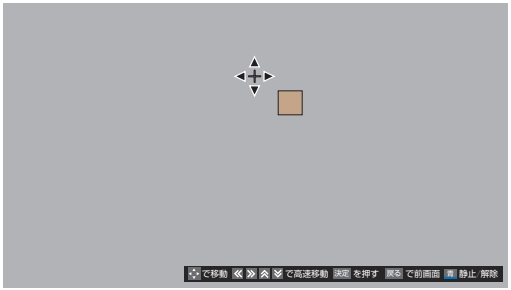
※ 視聴対象によって静止できない場合があります。

③ ▲·▼で「基準色変更」を選び、【決定】を押す

● カーソルが表示されます。

④ 調整したい色の部分まで▲·▼·◀·▶でカーソルを移動し、【決定】を押す

● 画面から選択した色がパレットに登録されます。



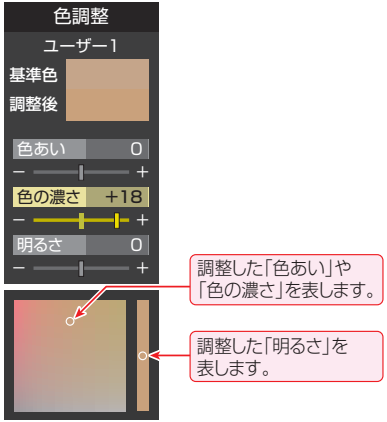
⑤ ▲·▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀·▶で調整する

- 調整範囲は−30 〜+30です。

※ 元の色(初期状態)に戻すには、【赤】を押します。

⑥ 選んだ色の調整が終わったら、【戻る】を押す

- ほかのユーザーカラーを調整する場合は、手順①から繰り返します。



X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z890S Z770S

① 「色設定」を選ぶ

② 調整したい色を選ぶ

- 「レッド」、「グリーン」、「ブルー」、「イエロー」、「シアン」、「マゼンタ」、「フレッシュトーン」から選択できます。

③ 「色あい」、「色の濃さ」または「明るさ」を選ぶ

④ ◀·▶で調整する

例

- −10 〜+10の範囲で調整できます。

色エッジ補正

X990S Z990S

● 映像の色の輪郭を際立たせる機能です。アニメなどで色の輪郭をくっきりさせることができます。

① **設定を以下から選ぶ**

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) **◀·▶で調整し、【決定】を押す**

● 「0」で補正がオフになります。「10」で効果が最大になります。

色解像度

X990S Z990S

● 色の周波数帯域を切り換えます。

① **設定を以下から選ぶ**

- **ワイド**……色の斜め線をなめらかに再現します。
- **スタンダード**……色の縦線をくっきり再現します。

プロ調整

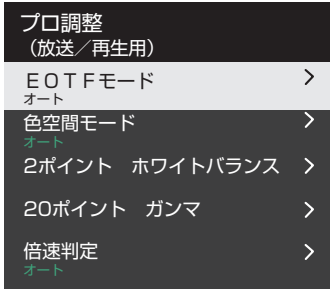
● 「プロ調整」を選択して【決定】を押すと、プロ調整のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を選ぶ

● 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

❷ 以降の手順で調整する

● 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。



ＥＯＴＦモード

● 入力映像のEOTF（Electro-Optical Transfer Function）を自動的に判別するほかにマニュアルで設定することができます。

① 設定を以下から選ぶ

- **オート**……入力映像信号から自動的に入力映像のEOTFを判別します。
- **SDR**……EOTFをSDR（Standard Dynamic Range）に設定します。
- **ST 2084**……EOTFをST 2084に設定します。
- **HLG**……HLG（Hybrid Log-gamma）ITU-R BT 2100 HLGの規約に準じた画質設定になります。

⇦トップにもどる

色空間モード

● 入力映像の色空間を設定します。

① **設定を以下から選ぶ**

- **オート**……入力映像信号から自動的に入力映像の色空間を判別します。
- **BT.709** ……色空間をITU-R BT.709に設定します。
- **BT.2020**……色空間をITU-R BT.2020に設定します。

2ポイント　ホワイトバランス

● 白い部分の色を調整します。

※ Rゲイン、Gゲイン、Bゲインは、「映像メニュー」が「DolbyVisionIQ」のときは、調整できません

① **調整したい項目を選ぶ**

② **◀·▶で調整する**

● 以下の項目を、それぞれ−25 ～+25の範囲で調整できます。

- **Rオフセット**
- **Gオフセット**
- **Bオフセット**
- **Rゲイン**
- **Gゲイン**
- **Bゲイン**
- **初期値に戻す**

20ポイント　ガンマ

● 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整します。

① **調整したい項目を選ぶ**

② **◀·▶で調整する**

● 以下の項目を調整できます。

- **調整ポイント**
- **明るさ**
- **Rゲイン**
- **Gゲイン**
- **Bゲイン**
- **初期値に戻す**

● 「調整ポイント」は5%～100%、それ以外の項目は−25～+25の範囲で調整できます。

● ▲·▼で、調整する項目を切り換えられます。

倍速判定

X990S Z990S

● 制作されたコンテンツの特性にあわせて動画補完を調整します。

① **設定を以下から選ぶ**

- **オート**……コンテンツの特性にあわせて、自動的に最適な動画補完をします。
- **アニメ優先**……コンテンツ(アニメ)の特性にあわせて動画補完を最適にします。
- **25Hz制作番組優先**……25Hz制作コンテンツの特性にあわせて動画補完を最適にします。
- **標準**……制作されたコンテンツの特性にあわせて動画補完を最適にします。

映像分析情報

X990S Z990S

- 映像の分析情報を表示します。
- 映像信号が放送(ラジオ/データ)、一部のネットサービス、Dolby Vision、120Hzなどのハイフレームレートのときは、映像の分析情報を操作できません。

1 【操作/設定】を押し、「映像分析情報」を選ぶ

- クイック設定に「映像分析情報」が表示されない場合は、「クイック設定で表示する項目を編集する」≫で「映像分析情報」を表示させてから選択します。
- 映像の分析情報が表示します。
- 【≪】/【≫】を押すと、表示する情報を切り換えることができます。
- 表示を消すには、【終了】を押します。

表示している映像の明るい部分と暗い部分、また色の分布を示したグラフです。

表示している映像の質感表現力を高めるための補正カーブを示したグラフです。

その他の映像設定

● 「映像メニュー」「映像調整」以外の項目は、項目を選択してから以下の手順で設定します。

かんたん調整

● 色温度や色の濃さ、コントラスト感などをかんたんに調整できます。

❶ ◀·▶で調整する

● 「−5」〜「+5」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほどメリハリが強調されます)。

倍速モード

● 「映像メニュー」に合わせて倍速処理をします。

※ 入力信号や映像メニューによって、選択できる項目は変わります。

❶ ▲·▼で以下から選び、【決定】を押す

- **おまかせ**……コンテンツにあわせ、倍速モードを設定します。(「映像メニュー」が「おまかせAI」「あざやか」「ゲーム」のときに選択できます)。
- **クリアスムーズ**……映画やアニメが最もなめらかな動きで表示されます。
- **スムーズ**……映画やアニメがなめらかな動きで表示されます。
- **フィルム**……映画やアニメのオリジナルの動きを忠実に再現します。
- **ナチュラル**……補間映像を自然な形で表示します。
- **オフ**……補間映像の挿入は行わず、元の入力映像をそのまま表示します。
- **ダイレクト**……映像をそのまま表示します。(「映像メニュー」が「モニター」「パソコン」のときに選択できます(入力信号によっては選択できません。))
- **ゲームダイレクト**……映像をそのまま表示します。(「映像メニュー」が「ゲーム」のときに選択できます(入力信号によっては選択できません。))
- **ゲームスムーズ**……ソース機器の映像をなめらかな動きで表示します。(「映像メニュー」が「ゲーム」のときに選択できます。ただし、写真再生時や120Hz、144Hz、VRR信号を受信時は、選択できません。ゲームダイレクトより遅延は大きくなります)

ソースセレクト

● ソースの種類にあわせた画質を設定します。

❶ 設定を以下から選ぶ

- **ソースモード**……ソースの種類にあわせた画質を設定します。
- **コンテンツモード**……コンテンツの種類にあわせた画質を設定します（X990S ZX1S/ZX2S ZX3S Z990S Z890S）。
- **シーンモード**……シーンの種類にあわせた画質を設定します。
- **ネット動画解像度設定**……指定した解像度にあわせて最適な画質に設定します。ネットサービス起動時に設定を反映します（X990S Z990S）。

❷ モードを以下から選ぶ

ソースモード

- **オート**……ソースの種類にあわせて自動的に最適な画質を設定します。
- **放送**……地上デジタル放送やBS・110度CS放送、BS/CS 4K放送にあわせた画質を設定します。
- **ネット動画**……ネット動画にあわせた画質を設定します。
- **パッケージメディア**……DVD/BD/UHD-BDにあわせた画質を設定します。

コンテンツモード

- **AIオート**……見ている映像にあわせて自動的に切り換えます。
- **ビデオ**……ビデオカメラで撮影された映像に適した画質に設定します。
- **フィルム**……フィルム撮影された映像に適した画質に設定します（X990S Z990S）。
- **セルアニメ**……セルで制作されたアニメ映像に適した画質に設定します（X990S Z990S）。
- **デジタルアニメ**……デジタルで制作されたアニメ映像に適した画質に設定します（X990S Z990S）。
- **ソースダイレクト**……三次元映像処理を行わずありのままに表示します（X990S Z990S）。
- **アニメ**……アニメ映像に適した画質に設定します（ZX1S/ZX2S ZX3S Z890S）。

⇦トップにもどる

シーンモード

- **AIオート**……見ている映像にあわせて自動的に切り替えます。
- **オフ**……この機能は働きません。

ネット動画解像度設定

X990S Z990S

- **オート**……コンテンツの解像度に応じて最適となる画質設定をします。
- **4K**……4Kで制作されたコンテンツに最適となる高画質処理をします。
- **2K**……2Kで制作されたコンテンツに最適となる高画質処理をします。

ゲームセレクト

● ゲームコンテンツの種類にあわせた画質を設定します。

※ 「映像メニュー」が「ゲーム」のときに設定できます。

❶ ▲·▼で以下から選び、【決定】を押す

- **AIオート**……ゲームにあわせて自動的に切り替えます。
- **スタンダード**……ゲーム映像の標準的な設定です。
- **ロールプレイング**……質感表現を高め、また表示のカクつきを減らした設定です。
- **シューティング**……暗部の視認性を高め、また低遅延を重視した設定です。
- **レトロゲーム**……ドット映像重視のゲーム向けに視認性を増した設定です。

ピュアダイレクト

X990S Z990S

● HDMI機器から入力されるプログレッシブ映像をALL12ビット4:4:4で映像処理し、素材が本来持っている情報を最大限に引き出す機能です。
高画質専用エンジンがALL12ビット4:4:4で映像処理します。

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **オン**……入力される映像の情報を最大限に引き出します。
- **オフ**……入力される映像に適した画質で映し出します。

クラウドＡＩ高画質

● 「映像メニュー」が「おまかせAI」のときに、コンテンツに合わせた最適な映像設定に移行する機能です。

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **オン**…… この機能が働きます。
- **オフ**…… この機能は働きません。

画面の明るさ

● お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

❶ 「画面の明るさ」を選ぶ

❷ お好みの明るさに調整し、【決定】を押す

明るさ検出	調整範囲	
オフ	0～100	調整値が大きくなるほど画面が明るくなります。
オン	－15～＋15	

※ 「明るさ検出」が「オン」のとき、【青】を押すと、「明るさ詳細設定」に切り換えることができます。

お知らせ

■ 「画面の明るさ」と明るさセンサーについて

● 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えた場合は、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。

● 明るさセンサーの近くにものを置いたり、ふさいだりすると、明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。明るさセンサーの位置は製品同梱の取扱説明書の「各部のなまえ」をご覧ください。

明るさ詳細設定

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」で明るさを設定しているときに表示されます。
- 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。

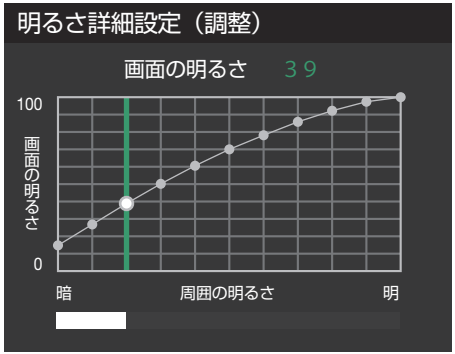
❶ 【決定】を押す

- 【青】を押すと、「画面の明るさ」に切り換えることができます。
- 【赤】を押すと、「明るさ検出感度調整」に切り換えることができます。

❷ 明るさを変えたいレベルを◀·▶で選び、▲·▼で明るさを調整する

- 必要に応じて異なるレベルの調整を繰り返します。
- 【青】を押すと、調整前のレベルに戻ります。
- 【赤】を押すと、お買い上げ時の調整に戻ります。

❸ 調整が終わったら、【決定】を押す



明るさセンサーの感度レベルの調整をする

❶ 「明るさ詳細設定」の手順❶で【赤】を押す

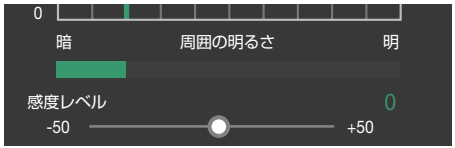
- 「明るさ検出感度調整」に切り換えることができます。

❷ ◀·▶で調整する

- 必要に応じて異なるレベルの調整を繰り返します。

❸ 調整が終わったら、【戻る】または【青】を押す

- 【青】を押すと、明るさ詳細設定に戻ります。



⇦トップにもどる

明るさ検出

● 明るさセンサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **オン**……明るさ検出機能が働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

視聴環境設定

● 視聴環境に応じて画面の色温度を自動調整する機能の設定をします

色温度検出

● 照明の色味に応じて画面の色味を自動調整する機能の設定をします。

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **オン**…… 照明の色味に応じて画面の色味を自動調整します。
- **オフ(昼白色)**…… 照明がクールな白色のときに選びます。
- **オフ(電球色)**…… 照明が暖かみのある色のときに選びます。

外光設定

● 外部からの光の設定をします

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **外光あり**…… 日中、屋外から光がはいるときに選びます。
- **外光なし**…… 日中、屋外からはいる光が少なく、室内照明を使用しているときに選びます。

映像調整を初期値に戻す

● 「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定･調整に戻します。

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「映像設定」⇨「映像調整」⇨「映像調整を初期値に戻す」の順に進む**

2 **「はい」を選ぶ**

テレビの電源ランプを消灯する

● テレビの待機中に、電源ランプの明かりが気になる場合に設定します。
※ テレビの状態を知りたい場合は、「点灯」（お買い上げ時の設定）で使用することをおすすめします。

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「待機中電源LED表示設定」の順に進む**

2 **「消灯」を選ぶ**

● 「消灯」に設定すると、本機の電源ランプが消灯します。次回電源を入れたときは、電源ランプが点灯し、そのあと消灯します。

設定・調整をする ― 音声を調整する ―

■ お好みの音声メニューを選ぶ

■ お好みの音声に調整する

立体音響
サウンドリマスター
重低音
低音強調
イコライザー
オートボリューム
クロストークリダクション
本体スピーカー設定
レグザサウンドシステム設定
音声詳細設定

⇦トップにもどる

お好みの音声メニューを選ぶ

- 見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 音声メニューは、放送/再生や各外部入力端子、動画/音楽/写真再生、アプリなどの区分ごとに記憶されます。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「音声設定」⇨「音声メニュー」の順に進む

例

2 お好みの音声メニューを◀・▶で選ぶ

音声メニュー	内　容
おまかせＡＩ	番組のジャンルやシーンに合わせてテレビが音質を自動調整します。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。
標準	ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。
クリア音声	人の声を強調して、声を聴きやすくします。
劇場	コンサートホールのような豊かな響きを表現します。
スポーツ	スポーツを楽しむときに適した設定です。
映画	映画を鑑賞するときに適した設定です。

● ▲・▼で、立体音響、サウンドリマスター、重低音※、イコライザー、オートボリュームの画面に移行できます。
※ 48X770Sは、「重低音」の代わりに「低音強調」になります。

お好みの音声に調整する

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「音声設定」を選ぶ

2 調整したい項目を選ぶ

3 以下の手順でお好みの音声に調整する

音声を調整した場合

- 調整や設定をすると、そのときに選択していた「音声メニュー」に調整・設定状態が記憶され、「音声メニュー」の表示に「:メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各外部入力端子、動画/音楽/写真再生、アプリなどの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「ダイナミック:メモリー」と(HDMI1)の「ダイナミック:メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。
  ※アプリは、ネット動画(YouTube)とそれ以外のネット動画の2つでそれぞれ記憶されます。

立体音響

- ステレオ音声に広がりを持たせる機能です。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

❶ ◀·▶でお好みの設定を選ぶ

「音声メニュー」が「おまかせＡＩ」のとき

- **おまかせ**…… コンテンツのジャンルに合わせて自動調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

「音声メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のとき

- **ライブ** …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- **ホール** …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、響き感が加わります。
- **スタジアム** …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、人の声も聴きやすくします。
- **シネマ** …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、奥行き感も加わります。
- **オフ**…… この機能は働きません。

サウンドリマスター

- 微小信号を再現し、より高精細な音質にします。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

❶ ◀·▶でお好みの設定を選ぶ

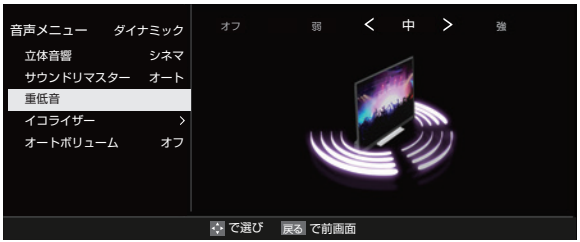
- **オート**……音声信号に合わせてオン/オフを切り換えます。
- **オン**……高精細な音質になります。
- **オフ**……この機能は働きません。

重低音

X990S | X770S | ZX1S/ZX2S | ZX3S | Z990S | Z890S | Z770S※

- 重低音の強さを調整します。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

※ 48X770Sは、この機能は対応していません。



❶ ◀·▶でお好みの設定を選ぶ

「音声メニュー」が「おまかせＡＩ」のとき

- **おまかせ**…… コンテンツのジャンルに合わせて自動調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

「音声メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のとき

- **強／中／弱** …… 重低音をお好みの強さに調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

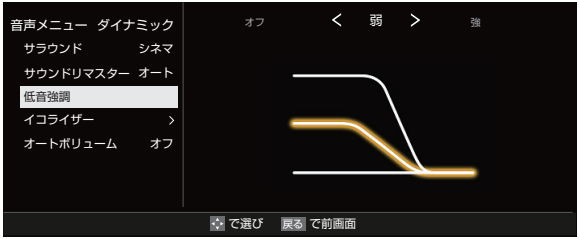
低音強調

X770S

- 低音の強さを調整します。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

※ 48X770S以外は、この機能は対応していません。

❶ ◀·▶でお好みの設定を選ぶ



「音声メニュー」が「おまかせＡＩ」のとき

- **おまかせ**…… コンテンツのジャンルに合わせて自動調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

「音声メニュー」が「おまかせＡＩ」以外のとき

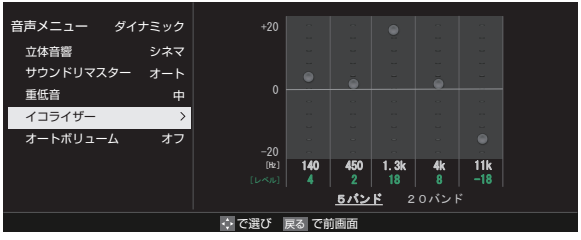
- **強／弱**…… 低音をお好みの強さに調整します。
- **オフ**…… この機能は働きません。

イコライザー

- イコライザーで音質をより詳細に調整できます。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

❶ 調整する音域を◀·▶で選び、▲·▼でレベルを変える

- 【黄】を押すと、5バンドと20バンドを切り換えられます。
- 【青】を押すと、調整前の音に戻ります。
- 【赤】を押すと、お買い上げ時の調整に戻ります。



⇦トップにもどる

オートボリューム

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

❶ 設定を以下から選ぶ

- **オン**……オートボリュームの機能が働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

オーディオキャリブレーション

- テレビからのテスト音をリモコンのマイクで測定し、最適な音響となるように本体スピーカーの音声を調整します。

音場補正

- 視聴環境にあわせた最適な音響となるように音声の出力を調整します。

❶ 設定を以下から選ぶ

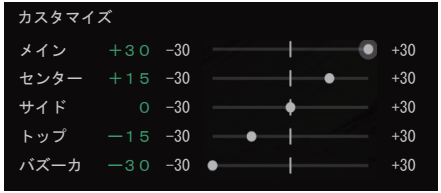
- **オン**……この機能が働きます。
- **オフ**……この機能は働きません。

タイムアライメント

X990S ZX1S/ZX2S Z990S

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **カスタマイズ**……スピーカーごとに遅延時間を個別に調整できます。
- **キャリブレーション**……視聴環境の測定で自動調整された設定になります。
- **センターフォース**……センター音声を前方に定位させます。
- **オフ**……本機能を使用しません。



※ カスタマイズを選択するとカスタマイズ調整画面が表示されます。
◀·▶で各スピーカー（メイン、センター、サイド、トップ、バズーカ）を選び、▲·▼で「−30」～「+30」の範囲で調整できます。

視聴環境の測定

● テレビからのテスト音をリモコンのマイクで測定します。

お知らせ

● 「テレビスピーカー」のみ使用しているときに、操作できます。
● 視聴環境の測定をおこなうには、リモコンの登録が必要です。

本体スピーカー設定

- テレビスピーカーから出力する音声の詳細を設定できます。
  「本体スピーカー設定」の各項目は、テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

❶ **調整する項目を選ぶ**

❷ **以降の手順で調整する**

トップ・サイドスピーカー設定

- トップスピーカーとサイドスピーカーから音声を出力するか、しないかを設定します。

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **オン**……スピーカーから音声を出力します。
- **オフ**……スピーカーから音声を出力しません。

トップスピーカーレベル

- トップスピーカーの音量レベルを調整します。
  「0」～「10」の範囲で調整できます。

❶ **◀·▶でお好みの音量に調整する**

サイドスピーカーレベル

X990S ZX1S/ZX2S Z990S

● サイドスピーカーの音量レベルを調整します。
「0」～「10」の範囲で調整できます。

❶ **◀·▶でお好みの音量に調整する**

センタースピーカーレベル

X990S ZX1S/ZX2S Z990S

● センタースピーカーの音量レベルを調整します。
「0」～「10」の範囲で調整できます。

❶ **◀·▶でお好みの音量に調整する**

マルチチャンネル出力

X990S ZX1S/ZX2S Z990S

● テレビの各スピーカーから出力する音声を独立させるかどうかを設定します。

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **オート**……各スピーカーから独立した音声を出力します。
- **オフ**……この機能は働きません。

クロストークリダクション

- 左右のスピーカーの分離度を高めて広がりを持たせる機能です。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **オート**……音声信号に合わせてオン/オフを切り換えます。
- **オフ**……この機能は働きません。

ラウドネス補正

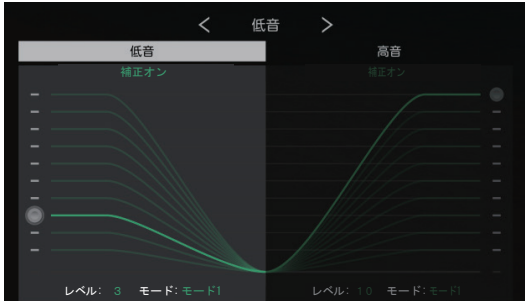
- テレビの音量が小さいとき、低音や高音を補正する機能です。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。
- シンクロドライブ動作時は設定できません。

X990S ZX1S/ZX2S Z990S

❶ ◀·▶で補正方法(低音+高音、低音、高音)を切り換える

❷ ▲·▼で補正レベルを調整する

- 「0」～「10」の範囲で調整できます。
- 【決定】を押すと、オン/オフが切り換わります。
  - **オン**……補正します。
  - **オフ**……補正しません。
- 【青】を押すと、補正モードが切り換わります。
- 【赤】を押すと、お買い上げ時の調整に戻ります。



X770S ZX3S Z890S Z770S

❶ 設定を以下から選ぶ

- **オン**……補正します。
- **オフ**……補正しません。

レグザサウンドシステム設定

- 「レグザサウンドシステム設定」対応機器を接続し、【操作/設定】を押して「設定」⇨「音声設定」⇨「レグザサウンドシステム設定」を選ぶと、テレビから接続機器に対して設定ができます。
  調整項目については、接続機器の取扱説明書をご確認ください。

  ※ テレビから接続機器への設定の反映、接続機器からテレビへの設定の反映は少し時間がかかります。
  切り換わるまで、しばらくお待ちください。

音声詳細設定

- スピーカーや音声出力端子から出力する音声の詳細を設定できます。
- テレビスピーカーやヘッドホン端子から出力する音声の詳細を設定できます。

❶ 調整する項目を選ぶ

❷ 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

Dolby Atmos

- 上方向に広がりを持たせ、立体的な音にします。

❶ 設定を以下から選ぶ

- **オン**……Dolby Atmos信号に対応したコンテンツで、縦方向への広がりが出ます。
- **オフ**……この機能は働きません。

Dolby DRC

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- Dolby DigitalやDolby AtmosなどのDolby Audioが入力された場合に機能します。(外部機器からの入力の場合には、Dolby Audioの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください)。

❶ 設定を以下から選ぶ

- **強**……音声レベルの補正効果が強く働きます。
- **弱**……音声レベルの補正効果が弱く働きます。

eARCモード

- eARC対応オーディオ機器をeARC/ARC端子に接続しているときに、音声をeARCで出力するかARCで出力するかを設定します。

※【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「外部入力・HDMI連動設定」⇨「HDMI連動設定」⇨「eARCモード」からも設定表示できます。

❶ 設定を以下から選ぶ

- **オン**……音声をeARCで出力します。
- **オフ**……音声をARCで出力します。

⇦トップにもどる

デジタル音声出力

- 光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力する音声信号の設定です。
- オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。
- オーディオ機器から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。

❶ 信号を以下から選ぶ

- **PCM**……常にリニアPCM信号が出力されます。
  オーディオ機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。
- **オート**……最適なフォーマットで出力します。
- **Dolby Audio変換**……Dolby信号に変換して出力します。
- **デジタルスルー**……AACやDolby信号がそのまま出力されます。

ご注意

- **非対応の音声フォーマットを対応と通知してくるARC対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。**
- **本機から出力されるデジタル音声は、「デジタル音声出力」を「PCM」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器(AVアンプなど)で正常に再生できない形式があります。**

お知らせ

- デジタル音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）が光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力されないことがあります。
- 以下のとき、光デジタル音声出力端子からは信号が出力されません。
  - Bluetooth®オーディオ機器またはヘッドホンを接続したとき
  - 「スピーカー出力切換」で「オーディオシステム」または「シンクロドライブ」を選択したとき
- 「シンクロドライブ」を選択したときは、HDMI入力2(eARC/ARC)端子からは、設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- 2画面のときは、HDMI入力2(eARC/ARC)端子と光デジタル音声出力端子からは、設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- 光デジタル音声出力端子からビットストリームを出力したい場合には、「スピーカー出力切換」で「光デジタル音声出力」を選択してください。
- HDMI入力の選択時に、HDMI入力端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から信号は出力されません（HDMI入力端子が対応している音声信号については、製品同梱の取扱説明書の「本機の入出力対応信号」およびHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続したオーディオ機器の仕様をご覧ください。ただし、オーディオ機器がDTSに対応していても本機はDTSの音声信号をオーディオ機器に転送することはできません）。

デジタル音声出力タイミング

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。

❶ ◀·▶でお好みのタイミングに調整し、【決定】を押す

- 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。

お知らせ

- 映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。

親切ヘッドホン設定

- ヘッドホンの出力方法を設定します。

❶ **設定を以下から選ぶ**

- **通常モード**……ヘッドホン接続時にヘッドホンからのみ音声が聞こえます。
- **親切モード**……ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。
  家族で視聴する場合など、テレビスピーカーやオーディオシステムの音声が聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホン、Bluetooth®ヘッドホンなどで聴くというような使いかたができます。

詳しくは「ヘッドホンで聴く」≫をご覧ください。

左右バランス

- 左右の音量バランスを調整します。(テレビスピーカー、ヘッドホンの時に選択できます。)

❶ **◀·▶でお好みのバランスに調整する**

テレビ設置設定

- 本機の設置状況に合わせた音質に設定します。
- テレビスピーカーから音声を出力しているときに設定できます。

❶ **▲·▼で「スタンド」または「壁掛け」を選ぶ**

設定・調整をする ― その他の設定をする ―

■ アンテナを調整する

デジタル放送の種類と特徴
電波の強さ（信号強度）を確認する
アンテナを調整する
地上デジタルアッテネーター設定を変更する
BS・110 度 CS 用アンテナの電源供給の設定を変更する
アンテナ線がショートしたとき

■ チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する
チャンネルをお好みに手動で設定する
視聴しないチャンネルをスキップする

■ データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する
災害発生時に文字情報を表示させる
ルート証明書の番号を確認する

■ 視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する
番組の視聴を制限する
インターネットの利用を制限する

■ Bluetooth® 設定をする

Bluetooth® 機器を使用する
Bluetooth® 機器を接続する / 接続を解除する

■ パネル設定をする

4K 有機 EL テレビを快適にご使用いただくため、パネルをメンテナンスする
焼き付きを防ぐための設定をする
RGB バックライトドライブ
ワイドビューアングル

■ リモコンの設定を変更する

リモコンの登録をする（ペアリング）
２台以上のレグザをそれぞれのリモコンで操作する
My.Choice ボタンの機能を設定する

■ お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

■ 設定メニュー 一覧

アンテナを調整する

デジタル放送の種類と特徴

● 本機は以下のデジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

● **UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特徴です。**

● **本機は「CATVパススルー対応」です。**
ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。

BSデジタル放送/110度CSデジタル放送

● 受信にはBS･110度CS共用アンテナを使用します。

● **BSデジタル放送**
デジタル方式の放送衛星（Broadcasting Satellite：通称BS）を使用したデジタル衛星放送です。
- 日本全国どこでも同じ放送を楽しむことができ、一部に視聴契約が必要な有料チャンネルがあります
- 2種類のデータ放送（連動データ放送、独立データ放送）や双方向サービスがあります

● **110度CSデジタル放送（CS）**
BSデジタル放送の衛星と同じ東経110度に打ち上げられている通信衛星（Communication Satellite：通称CS）を利用して、スカパー JSAT（株）が運用しているデジタル衛星放送です。
- **さまざまなテレビ番組や専門チャンネル、データ放送などの多彩な放送があります**
- **多くのチャンネルで有料の視聴契約が必要です**

4K8K衛星放送

- 「4K8K衛星放送」とは、2018年12月から放送を開始したBS･110度CSの4K･8K放送のことです。
  - 「4K8K衛星放送」の開始後も、従来のBS･110度CSおよび地上デジタル放送は引き続き提供されています。
  - 「4K8K衛星放送」はBS･110度CS放送で従来から使用されていた放送波(右旋円偏波の電波)と、新しく使用された放送波(左旋円偏波の電波)で提供されています。

電波の強さ(信号強度)を確認する

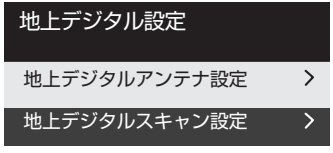
- テレビが全く映らない、または映像が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

お知らせ

- アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。
- アンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです(「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります)。

地上デジタル用アンテナの場合

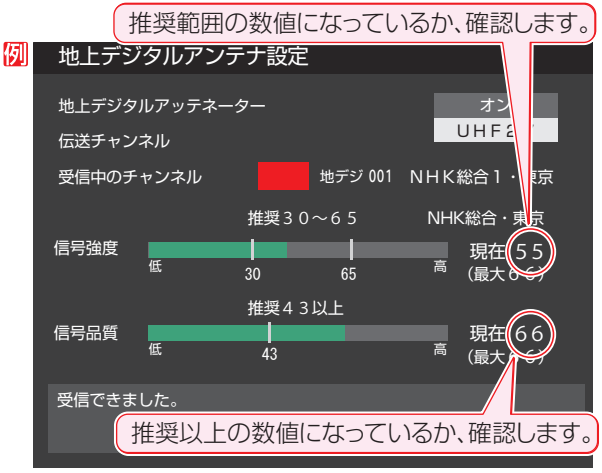
1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む



2 「伝送チャンネル」を選ぶ

3 チャンネルを選ぶ

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます（お買い上げの販売店などにお聞きください）。
- 信号強度（○印の数値）が推奨範囲内になっているか、信号品質（○印の数値）が推奨の数値以上になっているかを確認します。



※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

⇦トップにもどる

BS・110度CS用アンテナの場合

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

2 【BS/CS】で放送の種類を切り換える

3 チャンネル∧/∨ボタンでチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

BS・110度CS 4K放送用アンテナの場合

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「BS/CS 4Kアンテナ設定」の順に進む

2 チャンネル∧/∨ボタンでチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

※ 推奨範囲内の数値であっても受信状態によっては映像が乱れる場合があります。

アンテナを調整する

- 衛星を使用していて、アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。

※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

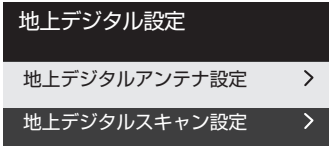
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2 アンテナを固定して、【決定】を押す

地上デジタルアッテネーター設定を変更する

- 信号強度が高すぎて受信障害が発生している場合は、「地上デジタルアッテネーター設定」を「オン」にします。
- お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む



2 「地上デジタルアッテネーター」を選ぶ

3 「オン」または「オフ」を選ぶ

※ 「オン」または「オフ」に切り換えたとき、画面にブロックノイズなどの映像乱れや音声ノイズが発生することがあります。

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「オート」に設定されています。
  マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「しない」に設定します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「ＢＳ・１１０度ＣＳアンテナ設定」の順に進む

2 「衛星アンテナ電源供給」を選ぶ

3 「する」、「しない」または「オート」を選ぶ

- **する：**……本機の状態に関わらず、アンテナに電源を供給します。
- **しない：**……アンテナに電源を供給しません。
- **オート：**……必要に応じて、本機が自動的にアンテナに電源を供給します。

お知らせ

- 「衛星アンテナ電源供給」を「オート」に設定している場合、本機の電源が「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません（BS・110度CSデジタル放送録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります）。

アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、エラーメッセージは表示されず、「衛星アンテナ電源供給」の設定が「しない」に切り換わります。

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

● 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。

- **初期スキャン**…… 「はじめての設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
- **再スキャン**……放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
- **自動スキャン**……本機の電源が「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。

※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

● 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン(数字ボタン)に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルスキャン設定」⇨「初期スキャン」の順に進む

2 お住まいの地方を選ぶ

3 お住まいの都道府県または地域を選ぶ

⇦トップにもどる

再スキャンをするとき

● 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルスキャン設定」⇨「再スキャン」の順に進む

自動スキャンの設定を変えるとき

● お買い上げ時は自動スキャンは「する」に設定されています。
チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、自動スキャンを「しない」に設定してください。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「地上デジタル設定」⇨「地上デジタルスキャン設定」⇨「自動スキャン」の順に進む

2 「する」または「しない」を選ぶ

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みで、リモコンのワンタッチ選局ボタンで選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「リモコンボタン設定」⇨「チャンネルボタン設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定するデジタル放送の種類を選ぶ

3 設定する数字ボタン(【1】～【12】)の番号を選ぶ

- 図は手順**2**で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。

4 受信チャンネルを選ぶ

110度CSデジタル放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順**2**、**3**で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。

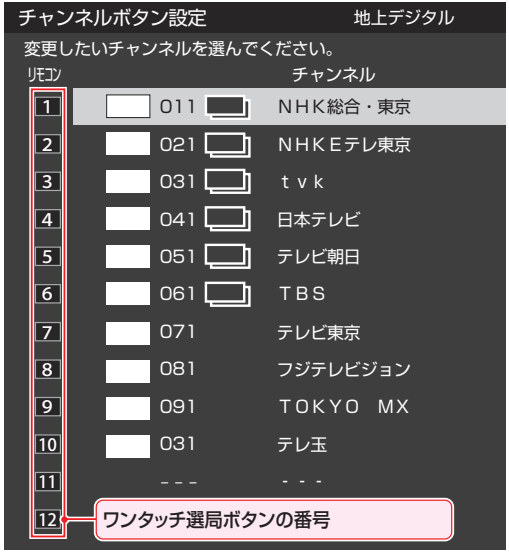
❶ 手順**2**で、「110度CS」を選び、【決定】を押す

❷ チャンネルボタン設定画面(手順**3**)で【緑】を押す

❸ 登録したいチャンネルを選ぶ

- 選んだチャンネルは、登録されていないボタンで数字が小さいボタンに登録されます。
- ボタンが登録されているチャンネルを選んだときは、登録が解除されます。

例



⇦トップにもどる

お知らせ

- 地上デジタル放送/BSデジタル放送でチャンネル番号の横に がついた放送局をチャンネルボタンに設定すると、選局時にチャンネル選局ボタンをくり返し押すことで、その放送局が放送しているチャンネルを順番に選局できます。
- チャンネルボタン設定をしたあとで、「初期スキャン」や「はじめての設定」をすると、チャンネルボタン設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

視聴しないチャンネルをスキップする

- チャンネル∧/∨ボタンで選局するときに、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- 「スキップ」に設定したチャンネルは番組表に表示されません。また、番組検索の対象になりません。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「リモコンボタン設定」⇨「チャンネルスキップ設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定する放送の種類を選ぶ

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを選ぶ

図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。

- 【決定】を押すたびに「する」⇔「しない」と交互に切り換わります。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順3の操作を繰り返します（違う放送のチャンネルを設定する場合は【戻る】を押し、手順2からの操作を繰り返します）。

例

チャンネルスキップ設定　地上デジタル

チャンネル		スキップ
011	NHK総合1・東京	しない
012	NHK総合2・東京	しない
021	NHK Eテレ1東京	しない
022	NHK Eテレ2東京	しない
023	NHK Eテレ3東京	しない
031	tvk1	しない
032	tvk2	しない
033	tvk3	しない
041	日テレ1	する
042	日テレ2	する
051	テレビ朝日	する
052	テレビ朝日	しない

お知らせ

■ **チャンネルスキップ設定について**

- 放送局の代表チャンネルを「する」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルを「する」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。

- お買い上げ時には、BS/CS 4K放送の102チャンネルはスキップ「する」に設定されています。

データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「はじめての設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

地域を設定する

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「地域設定」の順に進む

2 該当する地方を選ぶ

- 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。

3 該当する地域を選ぶ

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号を設定する

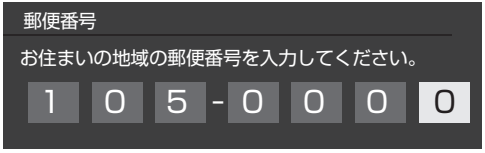
1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「郵便番号」の順に進む**

- 郵便番号の入力画面が表示されます。

2 **お住まいの地域の郵便番号を数字ボタンで入力する**

- 上3ケタを入力して【決定】を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例



お知らせ

■ **郵便番号と地域の設定について**

- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「文字スーパー表示」の順に進む**

- 「文字スーパー表示」の画面が表示されます。

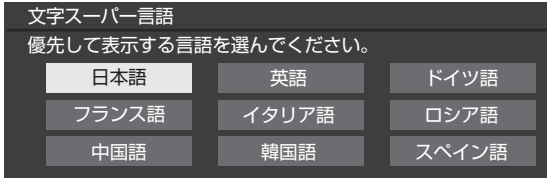
2 **「する」を選ぶ**

文字スーパーの言語を切り換える

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「文字スーパー言語」の順に進む**

- 「文字スーパー言語」の画面が表示されます。

2 **優先する言語を選ぶ**



お知らせ

■ **文字スーパー表示の設定について**

- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
- 「しない」を選択した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

ルート証明書の番号を確認する

- 地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。
- ルート証明書は地上デジタル放送で放送局から送られます。

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「放送受信設定」⇨「データ放送設定」⇨「ルート証明書番号」の順に進む**

- ルート証明書番号のリストが表示されます。

2 **ルート証明書番号を確認する**

用語

■ **ルート証明書**

- サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するものです。この証明書を基にして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たり、ネットワークサービスの利用を制限したりするときに必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更･削除および「すべての初期化」をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

ご注意

- **暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、製品同梱の取扱説明書裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。**

※ **必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。**

1 **【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「暗証番号設定」の順に進む**

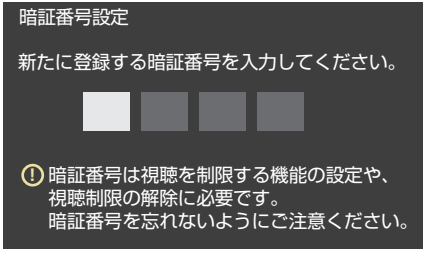
- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 **暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を数字ボタン【1】～【10】で入力する**

- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 **登録したい暗証番号を数字ボタン【1】～【10】で入力する**

- 間違えて入力した場合は、◀を押し、もう一度入力します。
- 入力した数字は画面には「*」で表示されます。



- **重要**
  登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4 数字ボタン【1】～【10】でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で【決定】を押す

暗証番号を削除するとき

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「暗証番号削除」の順に進む

● 暗証番号の入力画面になります。

2 数字ボタン【1】～【10】で暗証番号を入力する

3 確認画面で「はい」を選ぶ

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「放送視聴制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 数字ボタン【1】～【10】で暗証番号を入力する

3 年齢を設定する

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳（制限しない）」に設定します。

放送視聴制限設定

４～２０歳の間で、視聴制限したい年齢を設定してください。

４歳 ＞

番組の対象年齢が、設定した年齢よりも高い場合、その番組を視聴するためには暗証番号の入力が必要になります。
視聴制限を使わないときは「２０歳（制限しない）」に設定してください。

- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- 【決定】を押し、数字ボタン【1】～【10】で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- 【決定】を押し、設定が必要な項目を設定します。

インターネットの利用を制限する

- ネットワークサービスを使用する際に、パスワードで利用を制限することができます。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

起動制限設定

- Webブラウザーや動画配信サービスを使用する際に、暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「インターネット制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 数字ボタン【1】～【10】で暗証番号を入力する

3 「起動制限設定」を選ぶ

4 起動を制限したいネットワークサービスを選ぶ

- 【決定】を押すたびに、○と✓が交互に切り換わります。
- ✓のついたネットワークサービスは、起動時に暗証番号の入力が必要になります。
- 【青】を押すと、すべての項目に✓がつきます。【赤】を押すと全てのチェックが解除されます。

5 設定が完了したら、「設定完了」を選ぶ

表示制限設定

● ホーム画面のおすすめ動画等、本機の様々な機能で表示される動画の表示制限について設定します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「インターネット制限設定」の順に進む

● 暗証番号の入力画面になります。

2 数字ボタン【1】～【10】で暗証番号を入力する

3 「表示制限設定」を選ぶ

4 「制限する」「一部制限する」または「制限しない」を選ぶ

- **制限する**……すべてのコンテンツを表示しません。※1
- **一部制限する**…R18のコンテンツは表示されなくなります。※1 ※2
- **制限しない**……年齢制限のあるものも含めて、すべてのコンテンツが表示可能です。

※1 動画サービスや検索機能の利用等で不適切な動画を扱わないことが確認できている場合には表示制限設定の設定値にかかわらず、動画が表示される場合があります。

※2 コンテンツの年齢制限情報が確認できない動画サービスでは「制限する」と同様にすべてのコンテンツが表示されなくなります。

フィルタリング設定

- 本機能はデジタルアーツ株式会社が提供する「i-フィルター」サービスを使用します。ご利用にはデジタルアーツ株式会社へのお申し込みと利用料金のお支払が必要になります。

フィルタリング設定の申し込みを行う

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「視聴制限設定」⇨「インターネット制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

❷ 【1】～【10】で暗証番号を入力する

❸ 「フィルタリング設定」を選ぶ

- お申し込み手続きをされていない場合、確認画面が表示され、【決定】を押すと、デジタルアーツ株式会社のホームページが表示されます。お申し込みの条件・料金・機能などの内容を、よくご確認の上、ご利用になる場合には、必要な手続きを行ってください。
- お申し込みされた場合、本機の「すべての初期化」を行って設定を解除したり、本機を廃棄してもデジタルアーツ株式会社との契約は継続し利用料金が必要になります。契約の解除を行うには「フィルタリング強度設定を行う／契約内容を確認・変更する」≫でデジタルアーツ株式会社のホームページから、必要な手続きを行ってください。「すべての初期化」後、再設定を行うには❶から❸の操作を行い、デジタルアーツ株式会社のホームページで「「ユーザーID」を発行済みの方」を選び、必要な手続きを行ってください。
- 本サービスはデジタルアーツ株式会社が運営するサービスです。本サービスの制御の正確性及び安全性、並びに本サービスで被った損害について、当社は一切関与いたしません。
- 本サービスのお申し込みはお客様とデジタルアーツ株式会社との間での契約に基づいて行われるものであり、当社は一切関与いたしません。また、本サービスの申し込みに必要なお客様の情報については、デジタルアーツ株式会社の定める個人情報保護方針に基づきデジタルアーツ株式会社によって取得及び管理され、当社は一切関与いたしません。

※ 申し込みに必要な情報及びデジタルアーツ株式会社の個人情報保護方針についてはデジタルアーツ株式会社のホームページをご確認ください。

⇦トップにもどる

フィルタリング機能を変更する

❶「フィルタリング設定の申し込みを行う」の手順❶～❸を行う

❷「フィルタリング機能」を選ぶ

❸「使用する」または「使用しない」を選ぶ

- 「使用しない」にしてフィルタリング機能を使わなくても、デジタルアーツ株式会社とのご契約は解除されません。利用料金は必要になりますのでご注意ください。

フィルタリング強度設定を行う／契約内容を確認・変更する

❶「フィルタリング設定の申し込みを行う」の手順❶～❸を行う

❷「フィルタリング強度／登録変更」を選ぶ

- デジタルアーツ株式会社のフィルタリング強度設定/登録情報確認･変更のホームページが表示されます。

❸ 内容を確認し、設定・手続きを行う

ご利用上の注意を見る

❶「フィルタリング設定の申し込みを行う」の手順❶～❸を行う

❷「ご利用上の注意」を選ぶ

- フィルタリング設定の申し込みを行うときに表示された確認画面の同意内容を確認することができます。

⇦トップにもどる

フィルタリング設定について

- 「フィルタリング設定」はデジタルアーツ株式会社が提供する「i-フィルター」のフィルタリング用URLデータベースを使用したサービスです。
  有害サイトの判定にあたっては、利用者がリクエストしたURL情報がデジタルアーツ株式会社に送付されることをあらかじめご了承ください。デジタルアーツ株式会社のプライバシーの考え方については、http://www.daj.jp/privacy/ をご覧ください。

※ 本サービスは、デジタルアーツ株式会社のサービス利用規約にしたがって変更または終了される場合があります。

ご注意

- **「フィルタリング設定」は当社が提供する機能ではありません。フィルタリング機能の効果などについて当社は一切関与いたしません。**

Bluetooth®設定をする

● 本機でBluetooth®機器を使用する設定をします。Bluetooth®で接続することで、Bluetooth®オーディオ機器が使えるようになります。

Bluetooth®機器を使用する

● Bluetooth®を利用するかしないかの設定をします。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「Bluetooth設定」⇨「Bluetooth」の順に進む

2 「オン」を選ぶ

● 「オフ」にするとレグザAIボイス機能や「Bluetooth機器一覧」に登録されているデバイスが無効になり、使用できません。

Bluetooth®機器を接続する/接続を解除する

● 本機とBluetooth®機器の登録/解除(ペアリング)や接続/切断の操作ができます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「Bluetooth設定」⇨「Bluetooth機器一覧」の順に進む

● 接続可能なBluetooth®機器を検出し、リストが表示されます。
LE Audio機器はリスト表示時LE Audioが表示されます。

※ LE Audio機器を接続時に音途切れ、ノイズが気になる場合は、Classic Audio(従来の接続方式)に切り換えてください。
LE Audio、Classic Audioに限らず、電波環境に影響を受けるため、すべての動作を保証できません。

2 Bluetooth®機器を選ぶ

Bluetooth®機器を登録する

❶ 「Bluetooth機器一覧」画面で【赤】を押す

● 未登録のBluetooth®機器の検出を開始するので、登録したい機器がリストに表示されたら、機器を選び、【決定】を押します。

※ Bluetooth®マウスなど一部の周辺機器は表示されません

3 確認画面が表示されるので、【決定】を押す

※ PIN認証が必要なBluetooth®機器の場合、画面に表示されるPINコードを機器側で入力します。

登録(ペアリング)を解除する

● 「Bluetooth機器一覧」で機器を選び、【黄】を押すと登録(ペアリング)を解除できます。解除したBluetooth®機器は再登録するまで本機で使用できません。

パネル設定をする

X990S X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z990S Z890S※ Z770S※

● パネルの表示特性を補正する設定をします。

4K有機ELテレビを快適にご使用いただくため、パネルをメンテナンスする

X990S X770S

● 長時間同じ表示を続けたり、繰り返し同じ表示を出したりすると、画面に残像が見える場合があります。パネルメンテナンスを実行することにより残像が低減します。
電源を切る場合は、電源プラグをコンセントに差し込んだまま、リモコンまたは本体の「電源」ボタンで操作してください。電源が「待機」になり、自動的にパネルをメンテナンスします。

● パネルメンテナンスは完了まで10分ほどかかります。完了後、電源は「待機」状態を継続します。
パネルメンテナンスは手動で実行する事もできます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「パネル設定」⇨「パネルメンテナンス」の順に進む

2 「はい」を選ぶ

● 自動で電源が切れ、パネルメンテナンスが実行されます。実行中は電源LEDが白色に点滅します。

焼き付きを防ぐための設定をする

X990S X770S

● 画面の表示位置を一定時間ごとにわずかに移動させることで、長時間同じ表示を続けることによるパネルの焼き付きの発生を軽減します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「パネル設定」⇨「ピクチャーシフト」の順に進む

2 「オン」または「オフ」を選ぶ

RGBバックライトドライブ

ZX1S/ZX2S ZX3S

● RGBバックライトドライブの駆動レベルを調整します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「パネル設定」⇨「RGBバックライトドライブ」の順に進む

2 設定を以下から選ぶ

- **オート**……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- **手動**……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀·▶で調整し、【決定】を押す

● 「0」で効果が最小になります。「10」で効果が最大になります。

バックライトスキャン

Z990S

● バックライトの明滅を自動調整することで動きのある映像のぼけを改善します。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「パネル設定」⇨「バックライトスキャン」の順に進む

2 「オン」または「オフ」を選ぶ

ワイドビューアングル

Z890S※ Z770S※

● 広い範囲で見る場合に見やすい階調設定する機能です。

※ 75/65Z770S、75/65E770S、85/75/65/55Z890Sは、この機能に対応していません。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「パネル設定」⇨「ワイドビューアングル」の順に進む

2 「オン」または「オフ」を選ぶ

リモコンの設定を変更する

リモコンの登録をする(ペアリング)

- 本機のリモコンは、Bluetooth®通信に対応しています。リモコンを本機に登録すると、本機とリモコンの通信はBluetooth®無線技術で行われますので、リモコンをテレビ本体のリモコン受光部に向けることなく操作することができます。
- 「する」に設定すると、待機時の消費電力が若干増えます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「リモコン設定」⇨「リモコンの登録」の順に進む

2 画面の説明に従って、登録する

- 登録は、リモコンをテレビ本体に近づけて行ってください。
- リモコンの電池残量が少ない時や、電波環境によって正しく登録できないことがあります。
- リモコンの登録を行わない場合でも、ボイス機能以外のリモコン操作をすることができます。(その場合は赤外線通信でリモコンコードが送信されます)。
- ボイス機能は、リモコンが登録されている場合のみご利用いただけます。
- 1台のテレビには、一つのリモコンが登録できます。
- 本機に登録したリモコンは、本機の電源が「入」の状態では本機以外のテレビを操作することができません。
- Bluetooth®は2.4GHz帯の無線を使用します。他の無線機器との間で電波干渉が発生し、本機を操作できない場合があります。詳しくは、本機同梱の取扱説明書記載「本機の無線LAN/Bluetooth®を使う際のお願い」をご確認ください。
- 電波干渉が発生する場合、電波環境を見なおしていただくか、リモコンの登録を解除してご利用ください。≫「リモコンの登録を解除する」

お買い上げ時の設定では、本機の電源が「待機」の状態ではBluetooth®通信ができないため、赤外線通信でリモコンコードを送信します。テレビ本体のリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。
「電源ボタンBluetooth送信」を「する」に設定すると、本機の電源が「待機」の状態でもBluetooth®通信で、電源「入」にすることができます。
≫「電源待機時にもBluetooth®ができるようにする」

電源待機時にもBluetooth®ができるようにする

- 「電源ボタンBluetooth送信」を有効にすると、本機の電源が「待機」の状態でもBluetooth®通信で、電源「入」にすることができます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「リモコン設定」⇨「電源ボタンBluetooth送信」の順に進む

2 「する」または「しない」を選ぶ
- 「する」に設定すると、リモコンをテレビ本体のリモコン受光部に向けることなく電源を入れることができるようになります。
- 「する」に設定すると、待機時の消費電力が若干増えます。

リモコンの登録を解除する

- リモコンの登録を解除できます。リモコンの登録を解除すると、本機とリモコンの通信は赤外線通信で行われますので、解除後はリモコンをテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

1 本機の電源を切る

2 リモコンの【青】を押しながら【黄】を同時に2秒以上押す
- ボイス機能はご利用いただけなくなります。

⇦トップにもどる

2台以上のレグザをそれぞれのリモコンで操作する

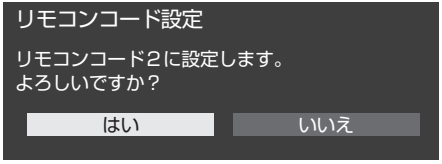
● テレビとリモコンの通信が赤外線通信の状態で、同じ室内で東芝テレビを2台使用している場合などに、リモコンを操作すると2台とも反応してしまうことがあります。このような場合、リモコンコードの設定を変えれば1台だけを操作できるようになります。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「リモコン設定」⇨「リモコンコード設定」の順に進む

2 「リモコンコード1」、「リモコンコード2」または「リモコンコード3」を選ぶ

3 「はい」を選ぶ

● 今までと異なるコードに設定した場合、次の手順**4**を終えるまでの間リモコン操作ができなくなります。



4 【決定】を押したままで、数字ボタンの【1】、【2】または【3】を約2秒間以上押し続ける

● 手順**2**～**3**で「リモコンコード」に設定した数字のボタンを押し続けます。

※ この操作ができるのは、付属のリモコンだけです。

5 リモコンでテレビが操作できることを確認する

リモコンの乾電池を取りはずした場合(電池交換などの際)、「リモコンコード1」になることがあります。

お知らせ

- テレビ本体とリモコンのリモコンコードが一致していない場合、電源が「待機」のときにリモコンの【電源】を押すと、本体の「電源」表示が赤色に点滅します。その場合は、リモコンまたは本体のリモコンコードを変更してください。

テレビ本体のボタンで設定するとき

- テレビ本体のリモコンコードを、本体の操作ボタンを使って以下の手順で設定することもできます。

1 本体ボタンを押して、本体ボタンメニューを表示する

2 「リモコンコード」を選択し、リモコンコード１、２、３から選択する

My.Choiceボタンの機能を設定する

- 【My.Choice】ボタンに機能を登録しておくと、お好みの動画配信サービスや外部入力に接続した機器、登録したアプリに切り換えることができます。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「リモコン設定」⇨「My.Choiceボタン設定」の順に進む

2 【決定】を押す

- 【My.Choice】ボタンに設定できる機能の一覧が表示されます。

3 登録する機能を選ぶ

- 動画配信サービス、「HDMI1」～「HDMI4」、またはアプリから選択できます。
- 機能を選択すると、【My.Choice】ボタンの設定が完了します。

お買い上げ時の設定に戻すには（設定内容を初期化するには）

● お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて操作してください。

ご注意

※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

項　目	内　容
初期化1	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。※ • リモコンコード設定 • 地上デジタルスキャン設定 • リモコンボタン設定 • タイムシフトマシン設定 • レグザAppsコネクト • デバイス名設定 • 本機の名称 • 外部入力・ＨＤＭＩ連動設定 • Bluetooth設定 • 設置場所 • 「My.Choiceボタン設定」 • 「レグザプライバシー設定」 • 「スマートスピーカー連携設定」 • USBハードディスクの「自動削除設定」 • 「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定 ※ BS、CS、BS/CS 4Kで新しく放送されているチャンネルが消えたり、すでに終了したチャンネルが再び現れたりしません。 ※ 暗証番号入力が必要な設定は初期化されません

初期化2	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。※ • リモコンコード設定 • タイムシフトマシン設定 • レグザAppsコネクト • デバイス名設定 • 本機の名称 • 外部入力・HDMI連動設定 • Bluetooth設定 • 設置場所 • 「My.Choiceボタン設定」 • 「レグザプライバシー設定」 • 「スマートスピーカー連携設定」 • USBハードディスクの「自動削除設定」 • 「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定 ※ 暗証番号入力が必要な設定は初期化されません
すべての初期化	● 本機に設定された「リモコンコード設定」以外のすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ※ **この初期化は、データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)、ネットワークサービスの登録情報などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。**

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「設定の初期化」の順に進む

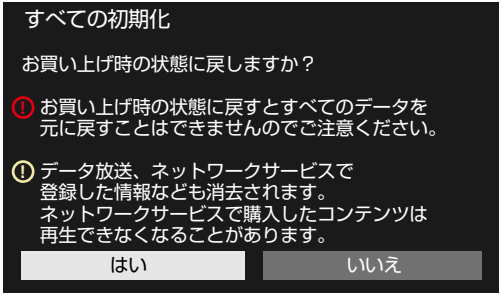
2 「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選ぶ

- 初期化される項目の内容は、前ページの表をご覧ください。

すべての初期化をする場合

- 暗証番号を設定している場合は暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力します。

3 初期化する場合は「はい」を選ぶ



4 初期化終了の画面が表示されたら、以下の操作をする

- 「初期化1」、「初期化2」の場合は【決定】を押します。
- 「すべての初期化」の場合は電源を切ります。

設定メニュー 一覧

- 設定メニュー 一覧を以下に示します。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無、視聴している放送や映像信号などによって変わります。
- 選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。

映像設定

- 映像メニュー
- 画面の明るさ
- 明るさ詳細設定 /明るさ詳細設定(調整)
  - 明るさ検出感度調整
- 映像調整
  - ユニカラー
  - 黒レベル
  - 色の濃さ
  - 色あい
  - 色温度
    - RGBゲイン調整
  - 精細感・ノイズ調整
    - シャープネス
    - レゾリューションプラス設定
      - レゾリューションプラス
      - ゲイン調整
      - レベル調整 X990S Z990S
    - ディテールエンハンサー

	カラーテクスチャー設定				X990S	Z990S
		カラーテクスチャー			X990S	Z990S
		ゲイン調整			X990S	Z990S
	輝度エッジ補正				X990S	Z990S
	バンディングスムーザー					
	ダイナミックＮＲ					
	モスキートＮＲ					
コントラスト感調整						
	ＨＤＲ復元					
	ＨＤＲエンハンサー				X990S	X770S
	ＨＤＲコンテンツ輝度レベル				X990S	Z990S
	ＬＥＤエリアコントロール	ZX1S/ZX2S	ZX3S	Z990S	Z890S	Z770S
	ピーク輝度伸長		ZX1S/ZX2S	ZX3S	Z990S	Z890S
	ガンマ調整					
	暗部ガンマ調整					
	質感リアライザー					
	美肌リアライザー				X990S	Z990S
	黒補正				X990S	Z990S
	緑階調補正				X990S	Z990S
	Precision Detail					
色詳細調整						
	ＡＩフェイストーン補正				X990S	Z990S
	色域設定				X990S	Z990S
	カラーイメージコントロール					
	色エッジ補正				X990S	Z990S
	色解像度				X990S	Z990S

	プロ調整		
		ＥＯＴＦモード	
		色空間モード	
		２ポイント　ホワイトバランス	
		２０ポイント　ガンマ	
		倍速判定	X990S Z990S
	映像調整を初期値に戻す		
かんたん調整			
倍速モード			
ソースセレクト/ゲームセレクト			
	ソースモード		
	コンテンツモード		X990S ZX1S/ZX2S ZX3S Z990S Z890S
	シーンモード		
	ネット動画解像度設定		X990S Z990S
ピュアダイレクト			X990S Z990S
クラウドＡＩ高画質			
明るさ検出			
視聴環境設定			
	色温度検出		
	外光設定		

音声設定

音声メニュー
立体音響
サウンドリマスター

重低音		X990S X770S *1 ZX1S/ZX2S ZX3S Z990S Z890S Z770S
低音強調		X770S *2
イコライザー		
オートボリューム		
オーディオキャリブレーション		
	音場補正	
	タイムアライメント	X990S ZX1S/ZX2S Z990S
	視聴環境の測定	
本体スピーカー設定		
	トップ・サイドスピーカー設定	
	トップスピーカーレベル	
	サイドスピーカーレベル	X990S ZX1S/ZX2S Z990S
	センタースピーカーレベル	X990S ZX1S/ZX2S Z990S
	マルチチャンネル出力	X990S ZX1S/ZX2S Z990S
	クロストークリダクション	
	ラウドネス補正	
レグザサウンドシステム設定		
音声詳細設定		
	Dolby Atmos	
	Dolby DRC	
	eARCモード	
	デジタル音声出力	
	デジタル音声出力タイミング	
	親切ヘッドホン設定	

*1：「重低音」は、48X770Sは対応していません。
*2：「低音強調」は、65/55X770Sは対応していません

	左右バランス			
	テレビ設置設定			
タイムシフトマシン設定		X990S	Z990S	Z890S
タイムシフトマシン機能		X990S	Z990S	Z890S
かんたんタイムシフトマシン設定		X990S	Z990S	Z890S
タイムシフトマシン録画		X990S	Z990S	Z890S
ＵＳＢハードディスク設定		X990S	Z990S	Z890S
	機器の登録	X990S	Z990S	Z890S
	省エネ設定	X990S	Z990S	Z890S
	機器の取りはずし	X990S	Z990S	Z890S
	動作テスト	X990S	Z990S	Z890S
	機器の初期化	X990S	Z990S	Z890S
録画チャンネル		X990S	Z990S	Z890S
録画時間		X990S	Z990S	Z890S
システムメンテナンス		X990S	Z990S	Z890S
	システムメンテナンス時間	X990S	Z990S	Z890S
	システムメンテナンスの実行	X990S	Z990S	Z890S
タイムシフトリンク設定		X990S	Z990S	Z890S
	機器の登録	X990S	Z990S	Z890S
	省エネ設定	X990S	Z990S	Z890S
タイムシフトマシン設定の初期化		X990S	Z990S	Z890S
録画・再生設定				
通常録画用ＵＳＢハードディスク設定				
	機器の登録			
	省エネ設定			
	機器の取りはずし			

- 動作テスト
- 録画番組の修復
- 機器の初期化

録画設定

- 録画先機器の設定
- マジックチャプター設定

再生設定

- ワンタッチスキップ設定
- ワンタッチリプレイ設定

オートメディアプレーヤー

ネットワーク・サービス設定

ネットワーク接続設定

- かんたんネットワーク設定
- 詳細設定
  - 接続方法
  - 無線ＬＡＮ設定
    - 自動設定
    - 手動設定
    - 無線ＬＡＮ設定の初期化
  - アドレス設定（ＩＰｖ４）
  - ＩＰｖ６接続
- 接続テスト
- ネットワーク情報

タイムシフトリンク設定 X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S

- 機器の登録 X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S
- 省エネ設定 X770S ZX1S/ZX2S ZX3S Z770S

	システムメンテナンス		X770S	ZX1S/ZX2S	ZX3S	Z770S
		システムメンテナンス時間	X770S	ZX1S/ZX2S	ZX3S	Z770S
		システムメンテナンスの実行	X770S	ZX1S/ZX2S	ZX3S	Z770S
外部連携設定						
	サーバー機能設定					
		サーバー機能				
		アクセス制限				
		アクセス機器の登録				
		視聴制限番組の配信				
	リモート電源オン設定					
		外部機器から電源オン				
		外部機器を電源オン				
	レグザAppsコネクト設定					
		レグザAppsコネクト				
		デバイス名設定				
	家電リンク設定					
	本機の名称					
AirPlayとHomeKit設定						
スマートスピーカー連携設定						
Netflix設定						
	ESN表示					
	Netflixの終了					
	ログイン設定の初期化					
ネットワークサービス情報の初期化						

放送受信設定

- 地上デジタル設定
  - 地上デジタルアンテナ設定
  - 地上デジタルスキャン設定
    - 初期スキャン
    - 再スキャン
    - 自動スキャン
- ＢＳ・１１０度ＣＳアンテナ設定
- ＢＳ/ＣＳ ４Ｋアンテナ設定
- リモコンボタン設定
  - チャンネルボタン設定
    - 地上デジタル
    - ＢＳ
    - １１０度ＣＳ
    - ＢＳ/ＣＳ ４Ｋ
  - チャンネルスキップ設定
    - 地上デジタル
    - ＢＳ
    - １１０度ＣＳ
    - ＢＳ/ＣＳ ４Ｋ
- データ放送設定
  - 地域設定
  - 郵便番号
  - 文字スーパー表示
  - 文字スーパー言語
  - ルート証明書番号

ＡＣＡＳチップ情報
ＲＭＰ情報 X990S Z990S Z890S

初期設定・機能操作ガイド

はじめての設定
かんたんタイムシフトマシン設定 X990S Z990S Z890S
かんたんネットワーク設定
レグザＡＩボイス機能設定
- リモコンの登録
- ハンズフリー設定
  - ハンズフリー機能
  - マイクの検出感度
  - 電源待機中の操作
- レグザＡＩボイス機能利用規約
- 生成ＡＩ機能
- 動作モード設定
- ボイスガイド
- 声の登録ガイド

プロフィール設定
機能操作ガイド

省エネ・その他の設定

省エネ設定
- 節電モード
- 番組情報取得設定
- 無操作自動電源オフ
- オンエアー無信号オフ
- 外部入力無信号オフ

センシング設定			X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
	センシング機能		X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
	センシング感度調整		X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		検出エリア指定	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		検出感度	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
	センシング映像調整		X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
	視聴距離明るさ調整		X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		視聴距離明るさモード	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		明るさ補正	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		視聴距離設定	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
	センシング音声調整		X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		視聴距離補正	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		視聴距離補正レベル	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		視聴角度補正	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
	スマートちょっとタイム設定		X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		スマートちょっとタイム	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
		離席時一時停止	X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
	スマート省エネ		X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
	スクリーンセーバー起動までの時間		X990S	ZX1S/ZX2S	Z990S
詳細機能設定					
	信号フォーマット詳細表示設定				
	待機中電源ＬＥＤ表示設定				
	待機中ＵＳＢ電源供給				
	設置場所				

- 外部入力・ＨＤＭＩ連動設定
  - リモコン設定
    - リモコンの登録
    - リモコンコード設定
    - My.Choiceボタン設定
    - 電源ボタンBluetooth送信
    - 電池残量
    - リモコンのバージョン
  - 外部入力設定
    - 外部入力表示設定
      - ＨＤＭＩ１
      - ＨＤＭＩ２
      - ＨＤＭＩ３
      - ＨＤＭＩ４
    - HDMI※（※ HDMI入力端子番号が表示されます）。
      - 自動ゲーム機器設定
      - ＡＬＬＭ設定
      - コンテンツタイプ連動
      - ＲＧＢゲーム設定
      - ＶＲＲ設定
      - ストリーミング機器設定
      - ＨＤＭＩモード設定
      - ＨＤＭＩモード設定切換
      - 通知
      - ＲＧＢレンジ設定
      - ２画面時動作モード切換

- HDMI連動設定
  - HDMI連動機能
  - リモコン動作モード
  - 連動機器→テレビ入力切換
  - 連動機器→テレビ電源
  - テレビ→連動機器電源オフ
  - オーディオシステム音声入力
  - 機器操作メニュー自動表示
  - オーディオシステム音質連動
  - eARCモード
  - 電源オン時優先スピーカー

- Bluetooth設定
  - Bluetooth
  - Bluetooth機器一覧

- 視聴制限設定
  - 放送視聴制限設定
  - インターネット制限設定
    - 起動制限設定
    - 表示制限設定
    - フィルタリング設定
      - フィルタリング機能
      - フィルタリング強度／登録変更
      - ご利用上の注意
  - 暗証番号設定
  - 暗証番号削除

		X990S	X770S	ZX1S/ZX2S	ZX3S	Z990S	Z890S *	Z770S *
パネル設定								
	パネルメンテナンス						X990S	X770S
	ピクチャーシフト						X990S	X770S
	RGBバックライトドライブ						ZX1S/ZX2S	ZX3S
	バックライトスキャン							Z990S
	ワイドビューアングル						Z770S *	Z890S *
ソフトウェアのダウンロード								
	自動ダウンロード							
	最新ソフトウェアの自動確認							
	ソフトウェアの更新							
本機の情報								
ソフトウェアの利用について								
	レグザプライバシー設定							
	本製品に関する重要なお知らせ							
	ソフトウェアのライセンス情報							
	ボイス機能のソフトウェアライセンス情報							
設定の初期化								

*:「ワイドビューアングル」は、75/65Z770S、75/65E770S、85/75/65/55Z890Sは対応していません。

さまざまな情報

■ ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について
ソフトウェアの自動ダウンロードについて
サーバーから手動でダウンロードする
ソフトウェアのバージョンを確認するには

■ 文字を入力する

■ アイコン一覧

番組についてのアイコン
お知らせ、予約、その他についてのアイコン

■ 画面サイズについて

■ 対応フォーマット

本機で対応している HDMI 入力信号フォーマット
本機で再生できるファイルのフォーマット
本機で対応している USB メモリーのフォーマット

⇦トップにもどる

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタル放送の放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
  ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(https://www.regza.com/support) でお知らせしています。
  - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用してサーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。
  ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」（お買い上げ時の設定）にし、本機の電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、インターネットまたは放送電波から更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。
  本機のソフトウェアの更新はインターネットからのダウンロードで行われます。インターネットに接続していれば自動的にソフトウェアの更新を行います。
  放送電波で更新用ソフトウェアが送られる場合、ダウンロード情報はBSデジタル放送または110度CSデジタル放送の放送電波で、更新用のソフトウェアはBSデジタル放送の放送電波で送られてきます。本機でBSデジタル放送を視聴できるようにすることで、自動的にソフトウェアの更新を行います。

自動ダウンロードの設定を変更する

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「自動ダウンロード」の順に進む

2 「する」または「しない」を選ぶ

- 【青】を押すと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 手動でソフトウェアの更新をすることもできます。≫「サーバーから手動でダウンロードする」

電源をオンにしたときにソフトウェア更新のお知らせを通知する

- 本機の電源をオンにしたときにサーバーに新しいソフトウェアがあるかどうかを確認して、画面上に通知することができます。
- 製品同梱の取扱説明書記載「インターネットを利用するための接続をする」とインターネットを利用するための設定 ≫が必要です。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「最新ソフトウェアの自動確認」の順に進む

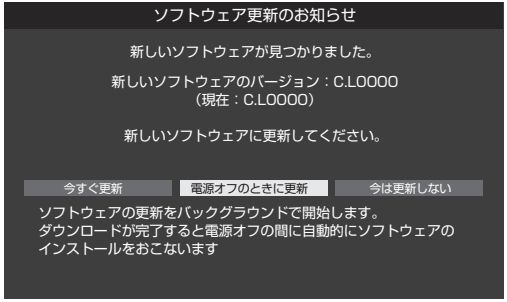
2 「する」または「しない」を選ぶ

ご注意

- 自動ダウンロードが「する」に設定されている場合は設定できません。

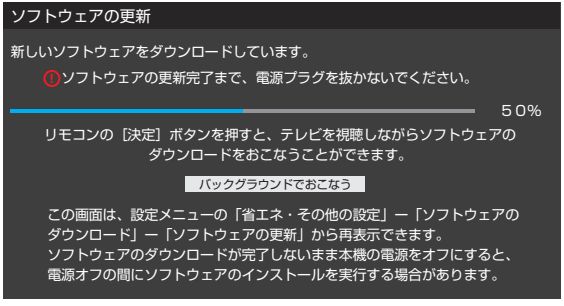
ソフトウェア更新のお知らせ

● サーバーに新しいソフトウェアが見つかった場合、本機の画面上に「ソフトウェア更新のお知らせ」画面が表示されます。
※「自動ダウンロード」の設定が「する」に設定されている場合は表示されません。



● 以下のどれかを選び、【決定】を押します。

- **今すぐ更新**
  ソフトウェアの更新を始めます。
  ● 「バックグラウンドでおこなう」を選んで【決定】を押すと、ダウンロードをバックグラウンドでおこない、テレビを操作できるようになります。ダウンロード画面を再度表示するには、「サーバーから手動でダウンロードする」≫の手順をおこなってください。
- **電源オフのときに更新**
  バックグラウンドでソフトウェアのダウンロードを開始し、本機の電源が待機状態の間に、ソフトウェアの更新処理をおこないます。
- **今は更新しない**
  ソフトウェアの更新は始めません。次に本機の電源をオンにしたときに、再度このお知らせ画面を表示します。



お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。

■ **サーバーからのダウンロードについて**

- 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用してサーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機のソフトウェアを更新することができます。
- 製品同梱の取扱説明書記載「インターネットを利用するための接続をする」とインターネットを利用するための設定≫が必要です。

1 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェアの更新」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。

※ 新しいソフトウェアのダウンロード中の場合は、ダウンロードの進捗が表示されます。

2 「今すぐ更新」、「電源オフのときに更新」または「今は更新しない」を選ぶ

- 「今すぐ更新」、「電源オフのときに更新」、「今は更新しない」は「ソフトウェア更新のお知らせ」≫と同じです。

ソフトウェアの更新

新しいソフトウェアが見つかりました。

新しいソフトウェアのバージョン：C.L0000
（現在：C.L0000）

新しいソフトウェアに更新してください。

※更新内容については、レグザホームページの「ソフトウェアダウンロード情報」をご確認ください。

今すぐ更新 | 電源オフのときに更新 | 今は更新しない

ソフトウェアの更新をバックグラウンドで開始します。
ダウンロードが完了すると、電源オフの間に自動的にソフトウェアのインストールをおこないます。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 【操作/設定】を押し、操作メニューの「本機の情報」を選ぶ

❶ 【操作/設定】を押し、「設定」⇨「省エネ・その他の設定」⇨「本機の情報」でも確認できます

用語

■ **ダウンロード**

放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末（この場合は本機）に転送することです。

文字を入力する

● 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。

1 ▲·▼·◀·▶ で文字を選び、【決定】を押して入力する

- 文字に続けて「゛゜大⇔小」を押せば、濁点(゛)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。
- 「⇧」を選ぶと、英字の大文字と小文字が切り換わります。
- スペースを入力するときは、「␣」を選びます。
- 文字を挿入するときは、挿入する場所を「◀·▶」で選んで入力します。
- 入力文字の種類を変えるときは、次のキーを選びます。

🌐.....ひらがな/カタカナ入力と数字英字入力を相互に切り換えます。
ABC.....ひらがな/カタカナ/数字英字入力と数字記号入力を相互に切り換えます。
あいう....ひらがな入力に切り換えます。
アイウ ...カタカナ入力に切り換えます。
?123 .....数字英字入力に切り換えます。
¥√α ....記号入力に切り換えます。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、「⌫」を選びます。
カーソルの左の1文字が削除されます。

⇦トップにもどる

2 以下の操作で文字を確定する

● 変換するときは、キーボード上部に表示されている変換候補を選択し、【決定】を押します。

※ 変換禁止の場合は、変換候補は表示されません。

3 すべての入力が終わったら、「←」をえらんで【決定】を押す

● 文字入力画面が表示される前の操作場面に戻ります。

お知らせ

● 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

⇦トップにもどる

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明
ステレオ	ステレオ音声放送
サラウンド	サラウンドステレオ放送
二重音声	二重音声放送
字	字幕放送
HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
4K：2160p	放送フォーマットが2160pの4K映像放送
8K：4320p	放送フォーマットが4320pの8K映像放送
信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある番組

○○才～	視聴年齢制限が設定されている番組。○○は4～20の数字が入ります。
契約済	有料放送で契約済の番組
未契約	有料放送で契約していない番組
ダビング	録画回数が制限されている番組
デジタルコピー可	デジタル録画ができる番組
デジタルコピーX	デジタル録画ができない番組
光デジタルコピー可	光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピー1	1回だけ光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピーX	光デジタル録音ができない番組

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説　明
	録画予約
	連ドラ予約
	視聴予約
	録画中
	録画準備中 録画の約 1 分前に表示されます。
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、有料番組の予約が重なったときなどに表示されます。
おまかせ	おまかせ録画予約
	視聴予約が重なったときに表示されます。

	録画番組が「保護」対象
	録画番組が「上書き」対象
	未読の「お知らせ」
	既読の「お知らせ」
	非リンク型サービス（通信番組） ≫「データ放送やラジオ放送を楽しむ」

- ここに記載されているアイコン以外のアイコンが表示されることがあります。

画面サイズについて

- 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
- 画面の見えかたについては、次ページをご覧ください。
- 信号フォーマットについては、「本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット」≫をご覧ください。

放送番組の映像や動画の再生を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4：3の映像（480p、480i）	ノーマル、ズーム
デジタル放送の16：9の映像	ノーマル

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

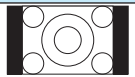
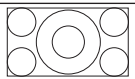
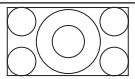
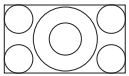
- 「本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット」≫をご覧ください。

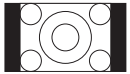
※ 映像メニューのゲーム/モニターを選んでいるときは、ズームを選択できません。

お知らせ

- 本機は、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、飲食店、ホテルなどで、画面サイズの切換機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 一部のネットワークサービスの映像などでは、画面サイズの切り換えができないことがあります。

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説　　明
4:3	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
	ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックス「LB」)を拡大して楽しむモードです。
16:9	ノーマル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	ネイティブ		入力信号の１ドットを縦・横２ドットずつの４ドットで表示するモードです。
	ズーム		上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
4K信号	ノーマル (3840×2160p)		4K信号の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
	ズーム (3840× 2160p)		上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある映像を、ワイド画面で楽しむモードです。 ※左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」(4K信号3840×2160p)にした場合の見えかたです。

HDMI	ノーマル/ Normal		映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
	フル/Full		映像を画面いっぱいに表示するモードです。

⇦トップにもどる

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

● 機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。
一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。

※ 画面サイズについては、「画面の見えかたについて」≫をご覧ください。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	選択できる画面サイズ
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750KHz	27.000 / 27.027MHz	4:3、16:9、ズーム
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500KHz	27.000 / 27.027MHz	4:3、16:9、ズーム
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750KHz	74.176 / 74.250MHz	ノーマル、ズーム
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000KHz	74.176 / 74.250MHz	ノーマル、ズーム
1080p	1920×1080	143.87 / 144Hz ※	169.031 / 169.200kHz	344.823 / 345.168MHz	ノーマル、ネイティブ
		119.88 / 120Hz	134.865 / 135.000KHz	296.703 / 297.000MHz	ノーマル、ネイティブ
		59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500KHz	148.352 / 148.500MHz	ノーマル、ネイティブ、ズーム
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000KHz	74.176 / 74.250MHz	
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750KHz	74.176 / 74.250MHz	
2160p	3840×2160	143.87 / 144Hz ※	332.883 / 333.216kHz	1331.532 / 1332.864MHz	ノーマル
		119.88 / 120Hz	269.730 / 270.000KHz	1186.800 / 1188.000MHz	ノーマル
		59.94 / 60Hz	134.865 / 135.000KHz	593.407 / 594.000MHz	ノーマル、ズーム
		23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000KHz	296.703 / 297.000MHz	
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500KHz	296.703 / 297.000MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500KHz	25.175 / 25.200MHz	ノーマル、フル
SVGA	800×600	60Hz	37.879KHz	40.000MHz	ノーマル、フル
XGA	1024×768	60Hz	48.363KHz	65.000MHz	ノーマル、フル

※ 48/55/65X770Sは144Hz信号に対応していません。

⇦トップにもどる

WXGA	1280×768	60Hz	47.776KHz	79.500MHz	ノーマル、フル
	1360×768	60Hz	47.712KHz	85.500MHz	ノーマル、フル
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981KHz	108.000MHz	ノーマル、フル
WQHD	2560×1440	60Hz	88.787KHz	241.500MHz	ノーマル
		120Hz	183.000KHz	497.760MHz	ノーマル

※ DVI信号をHDMIケーブルで入力した場合、画質調整機能や画面表示が正しく動作しないことがあります。

本機で再生できるファイルのフォーマット

※ コンテンツを編集したツールやその他の理由によって、以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

コンテンツ形式	ファイル形式
動画	MPEG2-TS、MP4、MOV、MKV、FLV、WEBM
音楽	LPCM、MPEG1/2 Layer1、MPEG1/2 Layer2、MPEG1/2/2.5 Layer3、AAC、FLAC、VORBIS、OPUS
写真	JPEG、BMP、PNG、GIF、WEBP

本機で対応しているUSBメモリーのフォーマット

※ メディアプレーヤーで使用できるUSBメモリー等のメディアフォーマットは下の表のとおりです。

USBデバイス	メディアフォーマット(ファイルシステム)
USBメモリー USBカードリーダー など	FAT(FAT16)、FAT32、exFAT

困ったときには

■ 症状に合わせて解決法を調べる

テレビが操作できなくなったとき－テレビをリセットする
操作
映像
音声
地上デジタル放送
BS・110 度 CS デジタル放送
番組表
お知らせアイコン ⓘ が何度も表示される
録画・再生
メディアプレーヤー
HDMI 連動機能
クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない
ネットワークサービス等の映像が乱れる
正しくセンシングできない

■ エラーメッセージが表示されたとき

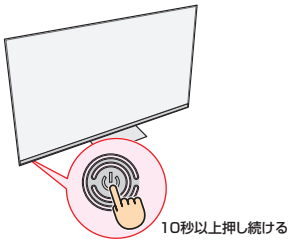
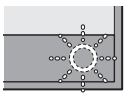
全般
USB ハードディスクに関するエラー表示
東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示
LAN 端子を使った通信に関するエラー表示
ボイス機能に関するエラー表示
BS・110 度 CS の 4K 放送に関するエラー表示

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、よくあるご質問(FAQ)、チャット、メールでご相談ください。
  https://v-ivr-cs.regza.com/

テレビが操作できなくなったとき－テレビをリセットする

- リモコンでもテレビの本体ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。

電源プラグを抜いてリセットする	本体ボタンを長押ししてリセットする
❶ 電源プラグをコンセントから抜く ❷ 1分間以上待つ ❸ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	❶ テレビの本体ボタンを10秒以上押し続ける  ❷ 本体前面の表示ランプが点滅したら、本体ボタンから手を離す  ● しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

操作

電源がはいらない

電源プラグが抜けていませんか。

⇒ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源コードが本体から抜けていませんか。

⇒ 電源コードのコネクターを本機のAC IN端子に接続します。

「電源」表示が赤色に点滅していますか。

⇒ 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。

リモコンで操作ができない

リモコンの乾電池が消耗していませんか。

⇒ 新しい乾電池に交換します。

リモコンの乾電池の向き(+、−)が合っていますか。

⇒ 向き(+、−)を確認し、正しく入れてください。

他のチャンネルでは、操作ができますか。

⇒ データ放送のサービスに、リモコン操作が使用される場合があります。
その場合、【操作/設定】を押し、操作メニューの「データ放送終了」を選びます。

Bluetooth®通信の場合

電波が干渉していませんか。

⇒ Bluetooth®通信は2.4GHz帯の無線を使用します。通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、無線ネットワークの使用状況などに影響されます。
その場合、電波環境を見なおしていただくか、リモコンの登録を解除してご利用ください。≫「リモコンの登録を解除する」

本機の状態が「待機」ではありませんか。

⇒ お買い上げ時の設定では、本機の電源が「待機」の状態ではBluetooth®通信ができないため、赤外線通信でリモコンコードを送信します。テレビ本体のリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。
「電源ボタンBluetooth送信」を「する」に設定すると、電源待機時にも本機とリモコンの通信はBluetooth®無線技術で行われるようになります。
≫「電源待機時にもBluetooth®ができるようにする」

赤外線通信の場合

リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありませんか。

⇒ 障害物を取り除きます。
リモコン受光部の位置は、製品同梱の取扱説明書の「各部のなまえ」でご確認ください。

リモコンと本体のリモコンコードが合っていますか。

⇒ リモコンと本体のリモコンコードが合っていないと、操作できません。リモコンと本体のリモコンコードを正しく合わせてください。
≫「2台以上のレグザをそれぞれのリモコンで操作する」

本体のボタンでは操作ができますか。

⇒ 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。

リモコンが登録できない(ペアリングできない)

リモコンの電池が消耗していませんか。

⇒ 電池残量が少ない場合に正しく登録できないことがあります。新しい電池に交換してください。

電波が干渉していませんか。

⇒ Bluetooth®通信は2.4GHz帯の無線を使用します。通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、無線ネットワークの使用状況などに影響されます。
テレビ本体とリモコンを近づけて登録の操作を行ってください。それでも改善しない場合は、電波環境をみなおしてください。

操作メニューが表示されない

⇒ 動作している状態によって操作項目が変わります。2画面など、操作項目が表示されない場合があります。

「さらに表示」が表示されていませんか。

⇒ 「さらに表示」を選択して、表示されていない操作項目を表示します。

クイック設定で「表示する項目」に設定されていますか。

⇒ クイック設定の項目は、表示する項目を設定できます。≫「クイック設定で表示する項目を編集する」

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。

⇒ アンテナ線を確認して正しく接続します。

※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。

アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。

⇒ 確認して、まっすぐにします(折らないようにご注意ください)。

※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。

アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。

⇒ アンテナ線を交換します。

※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。

レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。

⇒ アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。

⇒ アンテナ線を分配して接続します。

電波が弱くありませんか。

⇒ アンテナレベルを確認します。≫「電波の強さ(信号強度)を確認する」

⇒ アンテナの向きを調整してみます(販売店にご相談ください)。

アンテナ線の差し込みがゆるんでいたり、接触不良になっていたりしていませんか。

⇒ 確認して、しっかりと接続します。

※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。

アンテナ線(端子)がさびていませんか。

⇒ アンテナ線を交換します。

※ 屋外の端子・接続については、販売店にご相談ください。

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

機器が正しく接続されていますか。

⇒ 確認して正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

⇒ 機器の電源を入れます。

接続した機器の入力に切り換えましたか。

⇒ リモコンの【入力切換】で、外部機器を接続した入力端子を選びます。≫「外部入力の機能を設定する」

機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。

⇒ 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。≫「HDMIモードを変更する」

画面が暗い、または暗くなるときがある

部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。

⇒ 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせAI」を選択してみます。≫「お好みの映像メニューを選ぶ」

⇒ 「明るさ」や「画面の明るさ」で適切な明るさに調整します。≫「その他の映像設定」

「映像メニュー」が「おまかせＡＩ」の場合、明るさセンサーの前に障害物がありませんか。

⇒ 明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。

※ 「映像メニュー」が「おまかせAI」の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。

一時停止や、静止画になっていませんか。

⇒ 動きの少ない映像の場合に、しばらくすると徐々に暗くなることがあります。動きのある映像になると元の明るさに戻ります。

色がおかしい

お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。

⇒ 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。≫「お好みの映像メニューを選ぶ」

⇒ お好みの映像に調整することもできます。≫「お好みの映像に調整する」

放送の映像の表示が遅い

「AIボイスフィルター」が「オン」に設定されていますか

⇒ 本機の操作メニューにある「AIボイスフィルター」を確認します。≫「人の声と背景音のバランスを調整する」

残像が見える

X990S X770S

長時間同じ表示を続けたり、繰り返し同じ表示を出したりしましたか。

⇒ 長時間、同じ表示を続けると、焼き付き(残像)が発生する場合があります。
【操作/設定】を押して「設定」→「省エネ・その他の設定」→「パネル設定」→「パネルメンテナンス」を選び、パネルメンテナンスを実行することで、焼き付きが低減します。

「映像メニュー」が一定時間後あざやかに変更される

はじめての設定の「テレビをお使いになる場所(設置場所)」で「店頭」が選択されていませんか。

⇒ 【操作/設定】を押し、「設定」→「省エネ・その他の設定」→「詳細機能設定」→「設置場所」と進み、「ご家庭」を選んでください。

「REGZA」ロゴが画面に表示される

X990S X770S

一時停止や、静止画になっていませんか。

⇒ 一時停止や番組表、録画リストなどの画面の表示やが続くと、スクリーンセーバーが機能し、「REGZA」ロゴが画面に表示されることがあります。
リモコン操作すると、スクリーンセーバーは解除され、元の画面に戻ります。

「映像メニュー」が「ゲーム」のまま変更できない

VRR信号が入力されていませんか。

⇒ VRR信号入力時、映像メニューは「ゲーム」に設定され、変更できません。
映像メニューを変更するには、入力信号をVRR以外の信号に設定してください。

音声

音声が出ない

音量が最小になっていませんか。

⇒ 音量ボタンで音量を上げます。 ≫「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」

画面に消音のアイコンが表示されていませんか。

⇒ 【消音】を押すと消音を解除できます（音量ボタンでも解除されます）。
≫「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」

「光デジタル音声出力」または「オーディオシステム」になっていませんか。

⇒ 【操作/設定】を押し、操作メニューの「スピーカー出力切換」で「テレビスピーカー」に設定します。≫「オーディオ機器（オーディオシステム）で聴く」

機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。

⇒ 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。≫「HDMIモードを変更する」

視聴している音声に違和感がある

「ＡＩボイスフィルター」が「オン」に設定されていますか

⇒ 本機の操作メニューにある「AIボイスフィルター」を確認します。≫「人の声と背景音のバランスを調整する」

音声が途切れる

Bluetooth機器をLE Audioで接続していませんか？

⇒ LE Audio機器を接続時に音途切れ、ノイズが気になる場合は、Classic Audio（従来の接続方式）に切り換えてください。
≫「Bluetooth®機器を接続する/接続を解除する」

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。

⇒ 設定の「地上デジタルアンテナ設定」を選んでアンテナレベルを確認します。≫「電波の強さ（信号強度）を確認する」

※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。

「初期スキャン」をしましたか。

⇒ 「初期スキャン」をします。

お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。

⇒ 一般社団法人　放送サービス高度化推進協会（A-PAB）ホームページ（https://www.apab.or.jp/）で確認することもできます。

共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。

⇒ CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）。

BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

アンテナ接続に分配器を使用していますか。

⇒ 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。

有料放送ではありませんか。

⇒ 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。

マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。

⇒ 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

⇒ ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS･110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます（地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ）。

⇒ BS･110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS･110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。

テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線ＬＡＮアクセスポイントなどの無線機器を使用していませんか。

⇒ 上記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像･音声が乱れることがあります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。

⇒ BS･110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS･110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。
「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。
≫「BS･110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する」

※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。

⇦トップにもどる

BS・110度CSの4K放送が映らない、または映像が乱れる

アンテナ接続に分配器を使用していますか。

⇒ 分配器は「4K放送対応全端子通電型」のものを使用します。

有料放送ではありませんか。

⇒ 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。

マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。

⇒ 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

⇒ ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS･110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます（地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ）。

⇒ BS･110度CSの4K放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS･110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。

テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線ＬＡＮアクセスポイントなどの無線機器を使用していませんか。

⇒ 上記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像･音声が乱れることがあります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。

⇒ 4K放送対応のBS･110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、4K放送対応のBS･110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。

≫「BS･110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する」

※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。

番組表

番組表に内容が表示されない

電源プラグを抜いていませんでしたか。

⇒ 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。

⇒「番組表を更新する」の操作をします。≫「番組表を更新する」

番組表の文字が小さい

⇒ 番組表を表示中に【赤】を押して、文字の大きさを変更することができます。≫「文字サイズを大きくする」

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

「1チャンネル表示」にしていませんか。

⇒【操作/設定】を押し、操作メニューで「マルチ表示」を選択します。≫「1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える」

「チャンネルスキップ設定」で「する」になっていませんか。

⇒「チャンネルスキップ設定」で「しない」を選択してください。「する」に設定されているチャンネルは表示されません。
≫「視聴しないチャンネルをスキップする」

お知らせアイコン ⓘ が何度も表示される

「お知らせ」の内容を確認しましたか。

⇒【操作/設定】を押し、操作メニューの「お知らせ」で内容を確認します。

※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、【画面表示】を押したときにアイコンが表示されます。

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。

⇒ 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ(https://www.regza.com/support)でお知らせしています。

※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。

機器が正しく接続されていますか。

⇒ 製品同梱の取扱説明書記載「録画機器を接続する」の「USBハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

⇒ USBハードディスクの電源を入れます。

※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

機器が本機に登録されていますか。

⇒ USBハードディスクを本機に登録します。≫「機器の登録」

USBハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていますか。

⇒ ホームページ(https://www.regza.com/support)でUSBハブが推奨機器であることを確認します。

※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクの接続をする」の「お知らせ」をご覧ください。

※ USBハブは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

⇦トップにもどる

タイムシフトマシン録画・再生ができない、録画番組が消えた

X990S Z990S Z890S

接続や設定は正しいですか。

⇒ 確認して、正しく接続・設定をします。
また、認識されていたタイムシフトマシン録画用USBハードディスクが認識されなくなった場合は、一度本機からはずし、再度接続してみてください。

「タイムシフトマシン機能」が「使用しない」になっていませんか。

⇒ 確認して「使用する」に設定します。

「タイムシフトマシン録画」が「しない」になっていませんか。

⇒ 確認して「する」に設定します。

録画チャンネル数を変更しませんでしたか。

⇒ 録画チャンネル数を変更すると、タイムシフトマシン録画番組は削除されます。
※ 設定を変更しなくても、古い番組は自動的に削除されます。

「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。

⇒ 操作メニューの「お知らせ」で内容を確認します。

タイムシフトマシン録画を設定したチャンネルで、コンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)に対応していないと表示されませんでしたか。または、「設定の変更ができませんでした。コード：ＥＣ２２」と表示されませんでしたか。

⇒ 一部ケーブルテレビの自主放送チャンネルなどコンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)を採用していない番組は、タイムシフトマシン録画できません。
通常の録画予約で録画してください。
※ コンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

録画ができない、または録画されなかった

USBハードディスクの残量が足りていますか。

⇒ 残量を確認する。≫「機器の情報を確認する」

⇒ 不要な番組を削除する。≫「録画番組を消す」

⇒「自動削除設定」を「削除する」に変更する。≫「自動的に消す（自動削除設定）」

コピー禁止の番組ではありませんか。

⇒ 録画はできません。

外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークサービスの映像などではありませんか。

⇒ 本機は上記の番組や映像の録画には対応しておりません。

予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。

⇒ 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。

※「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。

連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。

⇒「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。≫「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」

※ 1回限りのキーワード（「第○○話」や出演者名など）を削除します。

「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。

⇒ 操作メニューの「お知らせ」で内容を確認します。

※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。

⇦トップにもどる

録画した番組が消えた

「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。

⇒「自動削除設定」を「削除しない」に設定する。≫「自動的に消す（自動削除設定）」
または、消したくない番組を保護する。≫「誤って消さないように保護する」

録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。

⇒ 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。
※ 上記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。
⇒「録画番組を修復する」≫の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。

ホームネットワークの機器が認識されない、再生できない、映像が止まる、またはノイズが出る

接続は正しいですか。

⇒ ルーターを通して正しく接続します。
⇒ 配信機器と本機を無線LANで接続してるときに、配信機器からの映像が止まったり、ノイズが出たりする場合は、無線LANのアクセスポイントと本機の設定が正しく設定しているか確認します。設定が正しいと確認できたあとも、映像が止まったり、ノイズがでたりする場合は、以下の操作をしてみてください。

① **本機と無線LANアクセスポイントの電源を「切」にする**
② **本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜く**
③ **1分間以上待つ**
④ **本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントに差し込む**
⑤ **本機と無線LANアクセスポイントの電源を「入」にする**
- 映像が止まったり、ノイズが出たりしないか確認します。

それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。

ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。

⇒ ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。

本機のネットワーク設定および接続機器はアドレス情報(IPv4)のIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。

⇒ 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。≫「IPアドレス」

※ 機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。

ネットワークメディアサーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。

⇒ 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の取扱説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。

※ 本機のMACアドレスは、「ネットワーク・サービス設定」の「ネットワーク情報」や「省エネ・その他の設定」の「本機の情報」で確認することができます。

無線LANをご使用の場合、暗号方式が「Open System」になっていませんか。

⇒ 無線LANをご使用の場合、セキュリティが「Open System」のときは、無線LANの通信データが暗号化されない場合があります。無線LANの通信データが暗号化されていない場合、デジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も、無線LANの通信データが暗号化されるようにセキュリティ設定を見直すことを強く推奨します。

本機が再生できる種類のコンテンツですか。

⇒ 本機で対応しているフォーマットで機器から出力できるか、機器の取扱説明書で確認します。

ほかのレグザで再生できない

⇒ USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)。

⇦トップにもどる

メディアプレーヤー

メディアプレーヤーで動画を視聴すると、映像・音声が乱れる

「AIボイスフィルター」が「オン」に設定されていますか

⇒ メディアプレーヤーの再生を停止し、操作メニューにある「AIボイスフィルター」を「オフ」に変更してからご視聴ください。

※ 「AIボイスフィルター」が「オン」で動作しているとき、メディアプレーヤーで動画を視聴すると、映像･音声が乱れることがあります。

※ メディアプレーヤーで動画を視聴すると、「AIボイスフィルター」を「オフ」に変更する場合があります。

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

接続は正しいですか。

⇒ HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。

※ はじめてレグザリンク対応のHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。

推奨機器(対応機器)ですか。

⇒ ホームページ(https://www.regza.com/support)でお知らせしています。

※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

本機と接続機器の設定は正しいですか。

⇒ 接続機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。

⇒ 本機の「省エネ･その他の設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。≫「HDMI連動機能」

オーディオ機器に接続されているスピーカーから音が出ない

接続は正しいですか。

⇒ HDMIケーブルで接続する場合は、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。

⇒ レグザサウンドシステムやeARC/ARC対応のオーディオ機器はHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。

⇒ eARC/ARC対応していないオーディオ機器をHDMIケーブルで接続する場合は、オーディオ用光デジタルケーブルも接続してください。

接続機器側の設定は正しいですか。

⇒ オーディオ機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。

本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。

⇒ 「HDMI連動設定」の「オーディオシステム音質連動」を「スピーカー・音質連動」、または「スピーカー連動」に設定します。
また、「HDMI連動設定」の「電源オン時優先スピーカー」を「オーディオシステム」に設定しておくと、テレビの電源をオンにした時にオーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。≫「電源オン時優先スピーカー」

⇒ 【操作/設定】を押し、操作メニューの「スピーカー出力切換」で「オーディオシステム」に切り換えます。≫「操作メニューについて」

クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない

プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。

⇒ 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

⇒ ネットワークサービスによっては、申し込みが必要な場合があります。

接続や設定は正しいですか。

⇒ 確認して、正しく接続・設定します。

ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。

⇒ ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。

本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。

⇒「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。≫「IPアドレス」

レグザプライバシーポリシーを「同意する」にしていますか。

⇒「同意する」に設定します。≫「レグザプライバシー設定を変更する」

本機のソフトウェアバージョンが該当のクラウドサービス（機器側の機能へのリンクや、他社サービスを除く）を利用できるソフトウェアバージョンですか。

⇒ ソフトウェアのバージョンによっては、ご利用いただけないサービスがあります。
クラウドサービスについて、詳しくは、ホームページ（https://www.regza.com/charm）をご覧ください。

※ 本機のソフトウェアバージョンを常に新しい状態にするために、電源プラグを抜かないようにしてください。クラウドサービスが正しく表示されない場合、「ネットワークサービス情報の初期化」を行うと、正しく表示されるようになります。

無線LANが使えない

接続や設定は正しいですか。

⇒ 確認して、正しく設定します。

⇒ お使いの無線LANアクセスポイントの認証方式を確認してください。

お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。

⇒ 無線LANに対応していない場合は、無線LANでの接続はできません。
その場合、無線LANアクセスポイントが必要です。

複数の無線LANアクセスポイントがありませんか。

⇒ 無線LANは、近くに複数の無線LANアクセスポイントがある場合、複数の周波数帯が使われている場合、また近くに電波を出す機器がある場合などは、電波の干渉が起こり接続できないことがあります。
周波数帯を変更するか、電波を出す機器の近くで使わないようにします。市販の無線LANコンバーターをお使いの場合は、お使いの無線LANコンバーターの取扱説明書で確認するか、メーカーにお問い合わせください。

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できない

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが空欄ですか。

⇒「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv4)」を確認します。≫「ネットワーク情報」

⇒ 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。

① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する

② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します)

③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する

- 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします
  機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする
  接続できたとき
  最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。
  接続できなかったとき
  ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。

④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する

⑤ 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する

- 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。
  リセットのしかたは、「テレビが操作できなくなったとき－テレビをリセットする」≫をご覧ください。
- リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。
- 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照)にお問い合わせください。

⇦トップにもどる

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

アドレス情報(IPv4)の取得しているIPアドレスが「192.168. ～」から始まっていますか。

⇒ お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。

⇒ 「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv4)」を確認します。≫「ネットワーク情報」

⇒ 取得しているIPアドレスが「192.168. ～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。

⇒ 「169.254. ～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作をしてみてください。

- ルーターを再起動する。
- 本機をリセットする
- 本機のIPアドレスを確認する

アドレス情報(IPv6)のIPアドレスが取得できない

アドレス情報(IPv6)のIPアドレスが空欄ですか。

⇒「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv6)」を確認します。≫「ネットワーク情報」

⇒ 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。

① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する

② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します)

③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する

- 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします
  機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする
  接続できたとき
  最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。
  接続できなかったとき
  ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。

④ 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する

- 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。
  リセットのしかたは、「テレビが操作できなくなったとき−テレビをリセットする」≫をご覧ください。
- リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。
- 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター(製品同梱の取扱説明書裏表紙参照)にお問い合わせください。

アドレス情報(IPv6)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

⇒ お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。
⇒ 「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv6)」を確認します。≫「ネットワーク情報」
⇒ アドレス、デフォルトゲートウェイ、プレフィックス長、プライマリアドレスに何らかの値が設定されていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。

PPPoE設定ができない

⇒ 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

ネットワークサービス等の映像が乱れる

無線LANの電波強度が低くなっていませんか。

⇒「ネットワーク情報」にある「電波強度」を確認します。≫「ネットワーク情報」

⇒ 上記の確認で電波強度のアンテナアイコンの本数が少ない場合は電波強度が低くなっています。以下を試してみてください。

① 無線LANアクセスポイントの位置を変更する。

② 本機と無線LANアクセスポイントの間の障害物を取り除く。

③ 使用する無線LANの周波数帯や通信チャンネルを変更する。

電波強度を高くするのが難しい場合は、有線LANで接続してください。

本機以外の機器で動画配信サービス等を利用していませんか。

⇒ ホームネットワークに接続されている本機以外の機器で動画配信サービスの視聴等をしている場合、ホームネットワーク全体の通信データ量が多くなります。他機器での再生を止めることで、本機の映像再生が改善する場合があります。

正しくセンシングできない

X990S ZX1S/ZX2S Z990S

人感センサー（ミリ波レーダー）の周りに金属などの遮蔽物が置かれていませんか？

⇒ 検知範囲内に金属物が多いと正しく動作しない場合があります。

検知範囲内でペットがいませんか？

⇒ ペットを検出する場合があります。

検知範囲内で動いているもの（扇風機やカーテンなど）がありませんか？

⇒ 動いているものを検知する場合があります。

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「電波の受信状態が良くありません。[操作メニュー]から「降雨対応放送」に切り換えられます。コード：Ｅ２０１」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。 ⇒ 降雨対応放送に切り換えることができます。≫「降雨対応放送について」
「放送が受信できません。 １．　テレビと壁のアンテナ線の接続を確認してください。 アンテナ線を接続しなおしてみてください。 地デジとＢＳ・１１０度ＣＳのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 ２．　リモコンで見たい放送（【地デジ】【BS/CS】）ボタンを押してください ３．　リモコンの青ボタンを押して、アンテナレベルを確認してください 詳細は取扱説明書・機能操作ガイドのエラーメッセージの項目をご確認ください。 お問い合わせ先を確認する場合は、赤ボタンを押してください。 コード：Ｅ２０２」	• アンテナが放送に適合していない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • BS･110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※放送が休止中の場合も表示されることがあります。 ⇒ 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 ⇒ アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します（販売店にご相談ください）。 ≫「電波の強さ（信号強度）を確認する」 ⇒ BS･110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。

⇦トップにもどる

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「現在放送されていません。 コード：Ｅ２０３」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。 ⇒ 番組表などで放送時間を確認します。
「該当するチャンネルはありません。 コード：Ｅ２０４」	放送のないチャンネルを選局した。 ⇒ 番組表などでチャンネルを確認します。
「ＡＣＡＳチップが認識できません。」	ACASチップが破損している。 ⇒ 東芝テレビご相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照）にお問い合わせください。

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。 ⇒ 接続を確認します。
	USBハードディスクの電源が切れている。 ⇒ USBハードディスクの電源を入れます。
	USBハードディスクにエラーが発生した。 ⇒ USBハードディスクの電源を入れ直してみます。

⇦トップにもどる

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「再生できません。」	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。 ⇒ 再生できません。
	再生時にテレビとUSBハードディスクの通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。 ⇒ テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。
「コンテンツ情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。 ⇒ 「録画番組を修復する」≫の操作をしてみます。
「USB端子の電源容量を超えました。 接続機器をはずし、 電源ボタンで、 電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。 ⇒ 以下の手順で復帰させます。 ① 電源を待機にする ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「録画機器の動作により設定できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	レコーダーの動作との競合(なんらかの操作、動作、表示をしている)がある。 ⇒ しばらくしてからやり直すか、または、レコーダーの操作などを中止します。
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	レコーダーの予約数が制限を超えている。 ⇒ レコーダーで予約を取り消します。
「指定した時間では予約を設定できません。」	レコーダーが対応していない形式で時刻を設定した。 ⇒ 指定できる時刻の形式をレコーダーの取扱説明書で確認します。
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	レコーダー側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。 ⇒ レコーダーで予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。
「録画機器の時刻設定が正しくありません。」	レコーダーの時刻設定をしていない。 ⇒ レコーダーの時刻設定をします。
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	レコーダーの電源プラグが抜けている。 ⇒ レコーダーの電源プラグをコンセントに差し込みます。
	レコーダーが正しく接続されていない。 ⇒ 本機とレコーダーを正しく接続します。 HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。

⇦トップにもどる

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「サーバーと通信できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。 ⇒ 接続・設定の状態を確認します。
	回線が混みあっている。 ⇒ しばらくたってから、もう一度操作します。
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。 詳しくは取扱説明書・機能操作ガイドの「エラーメッセージ」をご覧ください。」	本機にルート証明書が設定されていない。 ⇒ ルート証明書番号を確認し、東芝テレビご相談センター（同梱取扱説明書の裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。詳しくは取扱説明書・機能操作ガイドの「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。 ⇒ ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（同梱取扱説明書の裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書・機能操作ガイドの「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書の有効期限が切れている。 ⇒ ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（同梱取扱説明書の裏表紙参照）にお問い合わせください。

⇦トップにもどる

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。詳しくは取扱説明書・機能操作ガイドの「エラーメッセージ」をご覧ください。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。 • サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。 • 接続先の証明書が改ざんされている。 • 認証エラーが発生した。 ⇒ 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません(本機の動作は正常です)。
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。詳しくは取扱説明書・機能操作ガイドの「エラーメッセージ」をご覧ください。」	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書・機能操作ガイドの「エラーメッセージ」をご覧ください。」	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書・機能操作ガイドの「エラーメッセージ」をご覧ください。」	

ボイス機能に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「操作できません。」	ボイス機能が利用できない状態。 ⇒ テレビの状態によってはボイス機能を利用することができません。
「現在この操作はできません。 しばらくしてからやり直してください。」	ボイス機能が一時的に利用できない状態。 ⇒ しばらく待ってからやり直してください。

⇦トップにもどる

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「システム準備中です。 この操作はしばらく待ってから行ってください。」	電源起動直後やネットワークサービスを終了した直後など、一時的に機能が利用できない。 ⇒ しばらく待ってからやり直してください。
「ただいまボイス機能の更新中です。 しばらくお待ちください。」	ボイス機能のソフトウェアを更新している。 ⇒ ソフトウェアの更新が終わるまでしばらく待ってから、操作してください。
「ボイスリモコンとの通信に失敗しました。」	ボイスリモコンとの通信に失敗した。 ⇒ リモコンの電池を交換してください。 ⇒ ボイスリモコンの登録をやり直してください。 ⇒ 電波環境をご確認ください。
「サーバーとの通信に失敗しました。 しばらく待ってからやりなおしてください。」	ボイス機能の処理の途中で、認証に失敗した。 ⇒ しばらく待ってからやり直してください。
「音声認識に失敗しました。 しばらく待ってからやりなおしてください。」	
「ＡＩ処理に失敗しました。 しばらく待ってからやりなおしてください。」	
「サーバーに接続できません。 メンテナンス中です。後ほどお試しください。」	

BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「８Ｋ番組は視聴できません。」	本機は8K放送に対応していません。

⇦トップにもどる

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

■ **それでも解決しない場合のご確認**

下記ホームページをご覧ください。

https://www.regza.com/support

下記二次元バーコードのサポートメニューからよくあるご質問(FAQ)やチャット、メール、LINEでお問い合わせいただけます。

https://v-ivr-cs.regza.com/

※上記アドレスおよび二次元バーコードは予告なく変更される場合があります。

© TVS REGZA CORPORATION 2026